

## 卷末資料 2 液状化被害の程度、道路諸 条件、地盤条件の整理結果

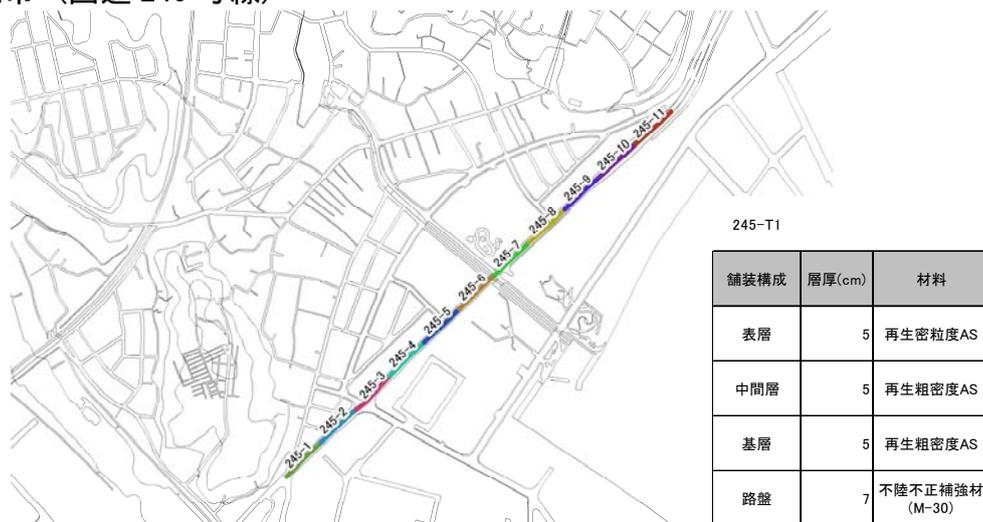


## 卷末資料 2 液状化被害の程度、道路諸条件、地盤条件の整理結果

### 目次

1. 日立市（国道 245 号線）.....	資 2-5
2. 香取市.....	資 2-7
3. 千葉市.....	資 2-51
4. 神栖市.....	資 2-53
5. 浦安市.....	資 2-59

# 1. 日立市（国道 245 号線）



資図 2.1-1 国道 245 号線（日立市）

資表 2.1-1 整理表（国道 245 号線）（上り線）

区間名	245-1	245-2	245-3	245-4	245-5	245-6	245-7	245-8	245-9	245-10	245-11
延長区間	0-100	100-200	200-300	300-400	400-500	500-600	600-700	700-800	800-900	900-1000	1000-1098
延長(m)	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	98
舗装タイプ	245-T1	245-T1	245-T1	245-T1	245-T1	245-T1	245-T1	245-T1	245-T1	245-T1	245-T1
舗装厚	0.22	0.22	0.22	0.22	0.22	0.22	0.22	0.22	0.22	0.22	0.22
路床改良有無	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
液状化被害有無(上り線)	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×
被害数(上り線)	1	1	1	1	0	2	2	2	5	0	0
被害程度(上り線)	亀裂	亀裂	凹凸	陥没		凹凸、亀裂	亀裂、変状	亀裂	亀裂、陥没、変状		
噴砂発生有無(上り線)											
被害ランク(上り線)	大	大	大	大	大	大	大	大	大	大	大
最大水平変位(上り線)(cm)	2	0.5				1	1	2	80		
最大鉛直変位(上り線)(cm)			10	70		12	5.5		16		
液状化層厚(m)	11.25	11.25	11.25	11.00		8.78	5.10	0.95	2.38	3.40	3.40
非液状化層厚(m)	2.59	2.59	2.59	2.79		3.16	3.50	4.03	3.30	2.81	2.81
地下水位(m)	2.60	2.60	2.60	2.89		2.58	2.26	2.13	2.63	2.63	2.63
PL値	48.60	48.60	44.50	42.60		28.60	9.10	10.00	14.30	16.50	19.10
液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	11.25	11.25	11.25	11.00		8.78	3.33	2.13	2.63	3.40	3.40
非液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	2.59	2.59	2.59	2.79		3.16	2.32	4.03	3.30	2.81	2.81
液状化層/非液状化層厚 (舗装構成、地下水位を考慮)	4.34	4.34	4.34	3.94		2.78	1.44	0.53	0.80	1.21	1.21
埋立地	○	○	○	○		○	○	×	×	○	○
埋立造成年(西暦)	1981	1981	1981	1981		1981	1981			1981	1981
下水道直上被害有無	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×
下水道直上被害数											
下水道直上被害の 最大鉛直変位(cm)											

資表 2.1-2 整理表 (国道 245 号線) (下り線)

区間名	245-1	245-2	245-3	245-4	245-5	245-6	245-7	245-8	245-9	245-10	245-11
延長区間	0-100	100-200	200-300	300-400	400-500	500-600	600-700	700-800	800-900	900-1000	1000-1098
延長(m)	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	98
舗装タイプ	245-T1	245-T1	245-T1	245-T1	245-T1	245-T1	245-T1	245-T1	245-T1	245-T1	245-T1
舗装厚	0.22	0.22	0.22	0.22	0.22	0.22	0.22	0.22	0.22	0.22	0.22
路床改良有無	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
液状化被害有無(下り線)	×	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×
被害数(下り線)	0	3	0	1	2	3	1	1	2	0	0
被害程度(下り線)		亀裂		沈下	変状、亀裂	凹凸、変状	変状	変状	亀裂、変状		
噴砂発生有無(下り線)											
被害ランク(下り線)	大	大	大	大	大	大	大	大	大	大	大
最大水平変位(下り線)(cm)		2									
最大鉛直変位(下り線)(cm)				5	5.5	5.5	15	15	7		
液状化層厚(m)	11.25	11.25	11.25	11.00	8.78	5.10	0.95	2.38	3.40	3.40	3.40
非液状化層厚(m)	2.59	2.59	2.59	2.79	3.16	3.50	4.03	3.30	2.81	2.81	2.81
地下水位(m)	2.60	2.60	2.60	2.89	2.58	2.26	2.13	2.63	2.63	2.63	2.63
PL値	48.60	48.60	44.50	42.60	28.60	9.10	10.00	14.30	16.50	19.10	19.10
液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	11.25	11.25	11.25	11.00	8.78	3.33	2.13	2.63	3.40	3.40	3.40
非液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	2.59	2.59	2.59	2.79	3.16	2.32	4.03	3.30	2.81	2.81	2.81
液状化層/非液状化層厚 (舗装構成、地下水位を考慮)	4.34	4.34	4.34	3.94	2.78	1.44	0.53	0.80	1.21	1.21	1.21
埋立地	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○
埋立造成年(西暦)	1981	1981	1981	1981	1981	1981			1981	1981	1981
下水道直上被害有無	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
下水道直上被害数											
下水道直上被害の 最大鉛直変位(cm)											

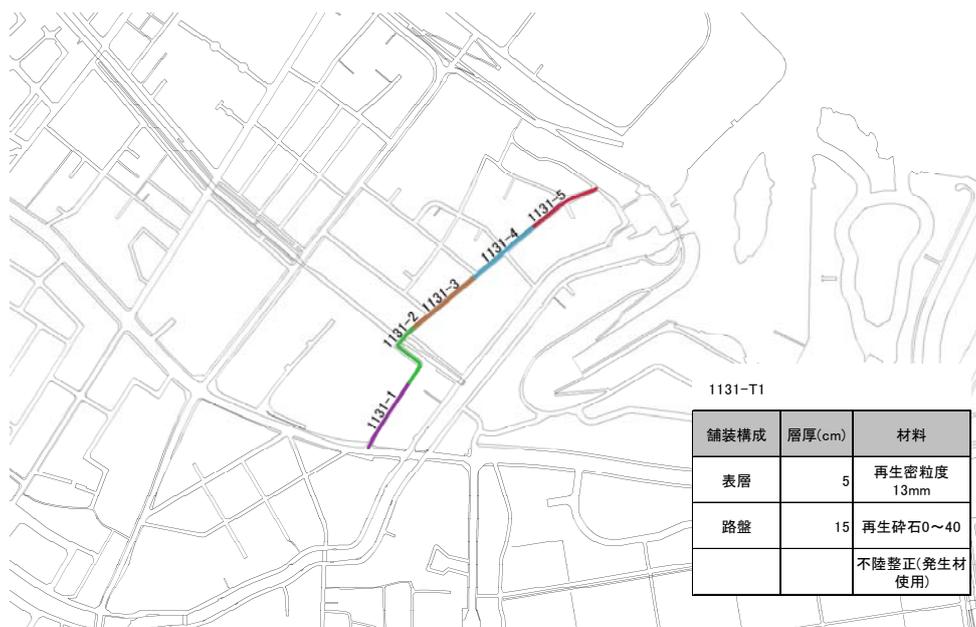
## 2. 香取市



資図 2.2-1 市道 1057 号線

資表 2.2-1 整理表 (市道 1057 号線)

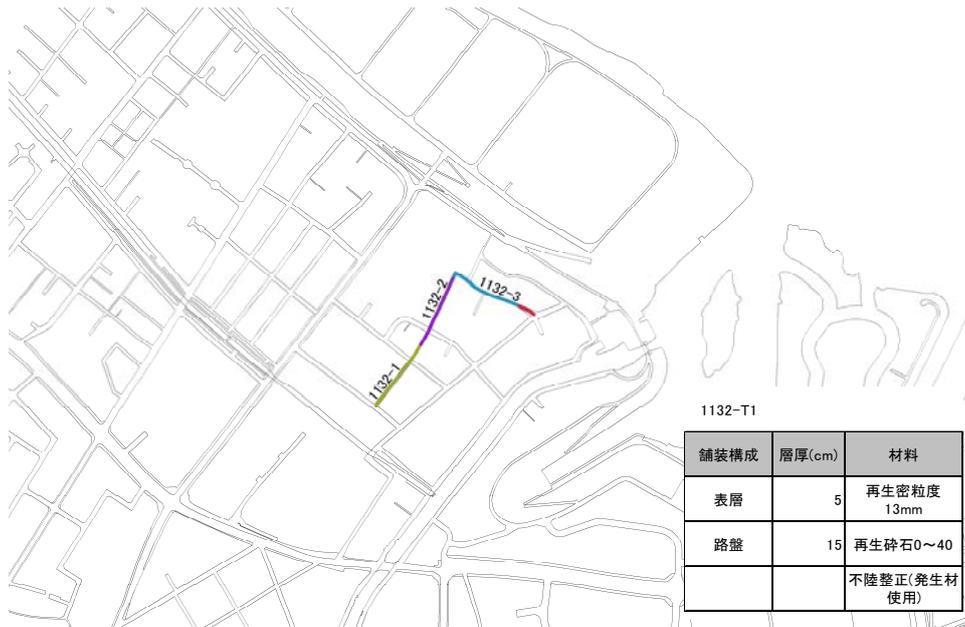
区間名	1057-1	1057-2
延長区間	0-100	100-123
延長(m)	100	23
舗装タイプ	1057-T1	1057-T1
舗装厚(m)	0.2	0.2
路床改良有無	×	×
液状化被害有無	○	○
被害数	8	1
被害程度	クラック、沈下	沈下
噴砂発生有無	×	×
被害ランク	中	中
最大水平変位(cm)	6	
最大鉛直変位(cm)	5	5
液状化層厚(m)	7.0	7.0
非液状化層厚(m)	2.1	2.3
地下水位(m)	2.6	3.0
PL値	30.5	31.0
液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	6.5	6.3
非液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	2.6	3.0
液状化層/非液状化層厚 (舗装構成、地下水位を考慮)	2.50	2.10
埋立地	×	×
埋立造成年(西暦)		
下水道直上被害有無	○	×
下水道直上被害数		2
下水道直上被害の 最大鉛直変位(cm)		5



資図 2.2-2 市道 1131 号線

資表 2.2-2 整理表 (市道 1131 号線)

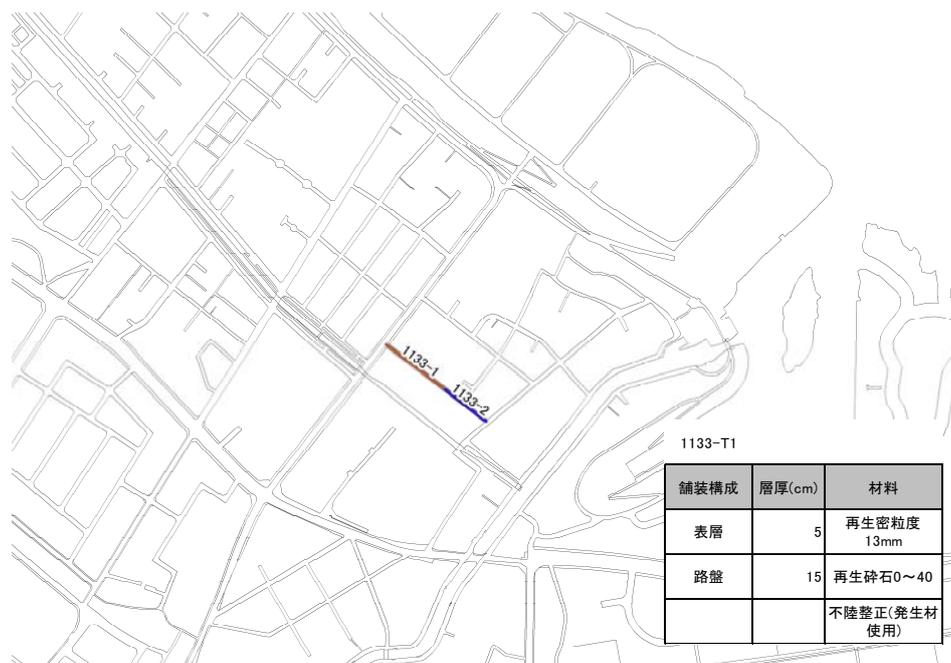
区間名	1131-1	1131-2	1131-3	1131-4	1131-5
延長区間	0-100	100-200	200-300	300-400	400-495
延長(m)	100	100	100	100	95
舗装タイプ	1131-T1	1131-T1	1131-T1	1131-T1	1131-T1
舗装厚(m)	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
路床改良有無	×	×	×	×	×
液状化被害有無	○	○	○	○	○
被害数	28	16	7	7	10
被害程度	クラック、路面破損	クラック、路面破損	クラック、路面破損	クラック、路面破損	クラック、路面破損
噴砂発生有無	○	○	○	○	○
被害ランク	中	中	中	中	中
最大水平変位(cm)	不明	不明	不明	不明	不明
最大鉛直変位(cm)	不明	不明	不明	不明	不明
液状化層厚(m)	7.0	6.4	4.4	1.1	0.0
非液状化層厚(m)	1.7	1.5	1.4	1.9	28.6
地下水位(m)	2.2	1.8	1.5	1.2	0.9
PL値	29.3	26.0	18.6	7.6	0.0
液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	6.5	6.1	4.3	1.1	0.0
非液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	2.2	1.8	1.5	1.9	28.6
液状化層/非液状化層厚 (舗装構成、地下水位を考慮)	2.95	3.39	2.87	0.58	0.00
埋立地	○	×	×	×	○
埋立造成年(西暦)	1906				1906
下水道直上被害有無	○	○	○	×	○
下水道直上被害数	8	4	3		1
下水道直上被害の 最大鉛直変位(cm)	不明	不明	不明		不明



資図 2.2-3 市道 1132 号線

資表 2.2-3 整理表 (市道 1132 号線)

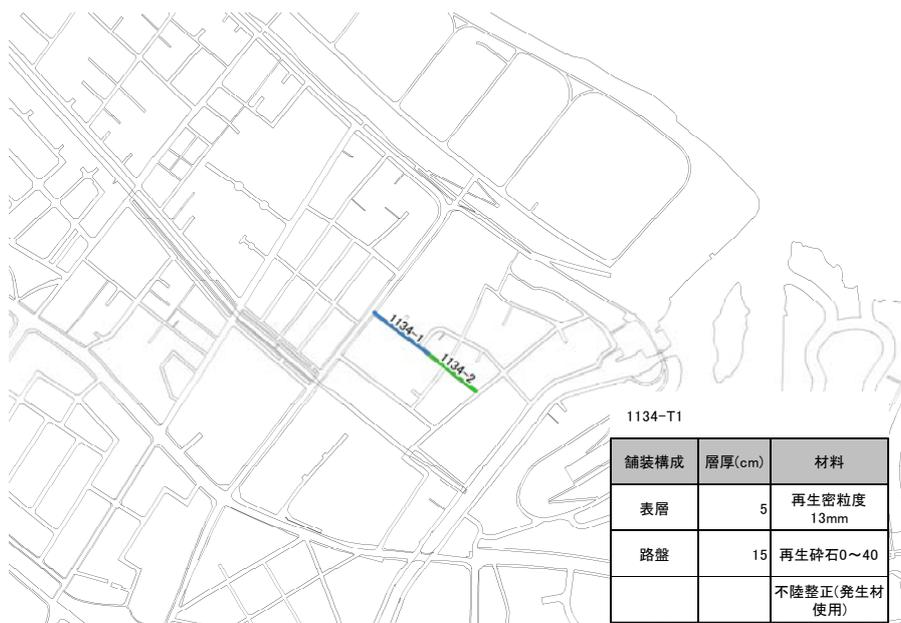
区間名	1132-1	1132-2	1132-3	1132-4
延長区間	0-100	100-200	200-300	300-321
延長(m)	100	100	100	21
舗装タイプ	1132-T1	1132-T1	1132-T1	1132-T1
舗装厚(m)	0.2	0.2	0.2	0.2
路床改良有無	×	×	×	×
液状化被害有無	○	○	○	○
被害数	22	12	7	1
被害程度	クラック、段差、陥没	クラック、段差、陥没、沈下	クラック、破損、段差	クラック
噴砂発生有無	○	○	○	○
被害ランク	中	中	中	中
最大水平変位(cm)	60	80	100	
最大鉛直変位(cm)	不明	不明	不明	
液状化層厚(m)	4.0	0.9	0.0	0.0
非液状化層厚(m)	1.3	1.9	2.7	2.9
地下水位(m)	1.4	1.3	1.2	0.9
PL値	17.1	7.4	0.9	0.0
液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	3.9	0.9	0.0	0.0
非液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	1.4	1.9	2.7	2.9
液状化層/非液状化層厚 (舗装構成、地下水位を考慮)	2.79	0.47	0.00	0.00
埋立地	×	×	○	○
埋立造成年(西暦)			1929	1929
下水道直上被害有無	○	○	○	×
下水道直上被害数	6	5	2	
下水道直上被害の 最大鉛直変位(cm)	不明	不明	不明	



資図 2.2-4 市道 1133 号線

資表 2.2-4 整理表 (市道 1133 号線)

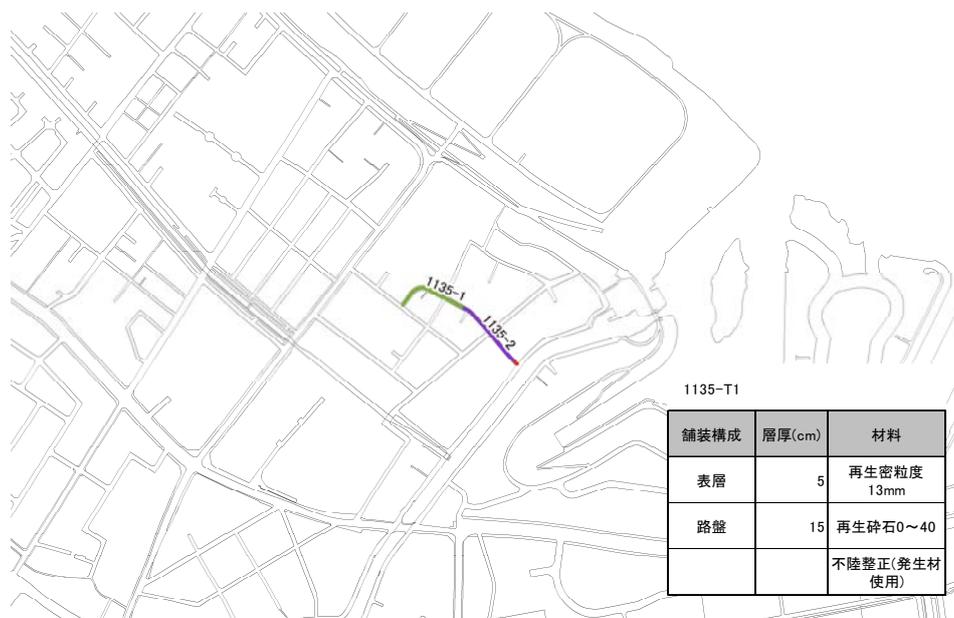
区間名	1133-1	1133-2
延長区間	0-100	100-168
延長(m)	100	68
舗装タイプ	1133-T1	1133-T1
舗装厚(m)	0.2	0.2
路床改良有無	×	×
液状化被害有無	○	○
被害数	11	10
被害程度	クラック、陥没、段差	クラック
噴砂発生有無	○	○
被害ランク	中	中
最大水平変位(cm)	18	7
最大鉛直変位(cm)	不明	
液状化層厚(m)	6.2	5.4
非液状化層厚(m)	1.0	1.2
地下水位(m)	1.4	1.5
PL値	26.0	22.4
液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	5.8	5.1
非液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	1.4	1.5
液状化層/非液状化層厚 (舗装構成、地下水位を考慮)	4.14	3.40
埋立地	×	×
埋立造成年(西暦)		
下水道直上被害有無	○	×
下水道直上被害数	5	
下水道直上被害の 最大鉛直変位(cm)	不明	



資図 2.2-5 市道 1134 号線

資表 2.2-5 整理表 (市道 1134 号線)

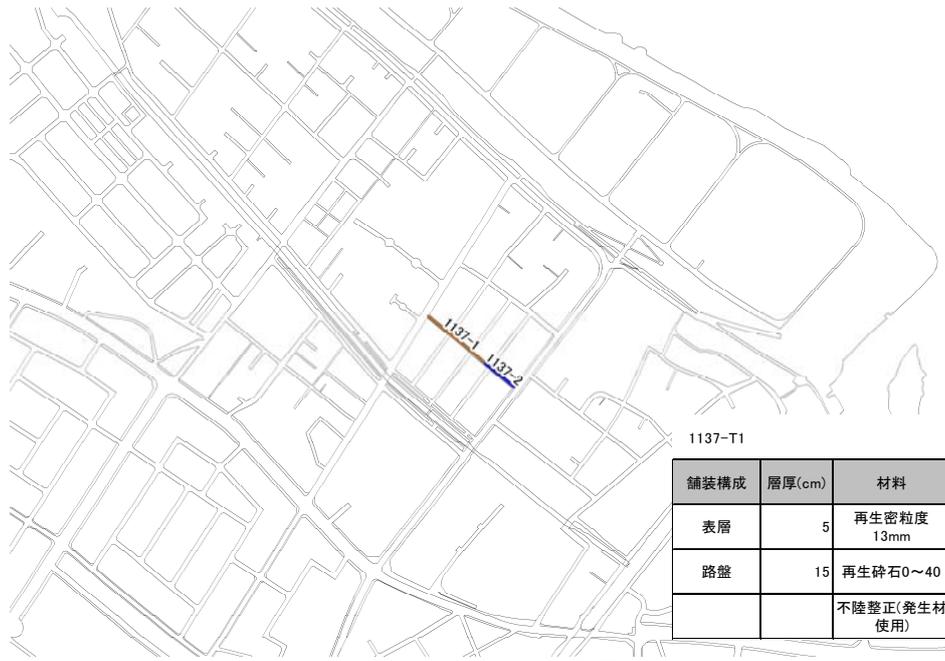
区間名	1134-1	1134-2
延長区間	0-100	100-184
延長(m)	100	84
舗装タイプ	1134-T1	1134-T1
舗装厚(m)	0.2	0.2
路床改良有無	×	×
液状化被害有無	○	○
被害数	21	16
被害程度	クラック、段差、破損	クラック
噴砂発生有無	○	○
被害ランク	中	中
最大水平変位(cm)	10	75
最大鉛直変位(cm)	不明	
液状化層厚(m)	4.2	3.0
非液状化層厚(m)	1.3	1.4
地下水位(m)	1.4	1.3
PL値	18.3	13.9
液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	4.1	3.0
非液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	1.4	1.4
液状化層/非液状化層厚 (舗装構成、地下水位を考慮)	2.93	2.14
埋立地	×	×
埋立造成年(西暦)		
下水道直上被害有無	○	○
下水道直上被害数	12	5
下水道直上被害の 最大鉛直変位(cm)	不明	



資図 2.2-6 市道 1135 号線

資表 2.2-6 整理表 (市道 1135 号線)

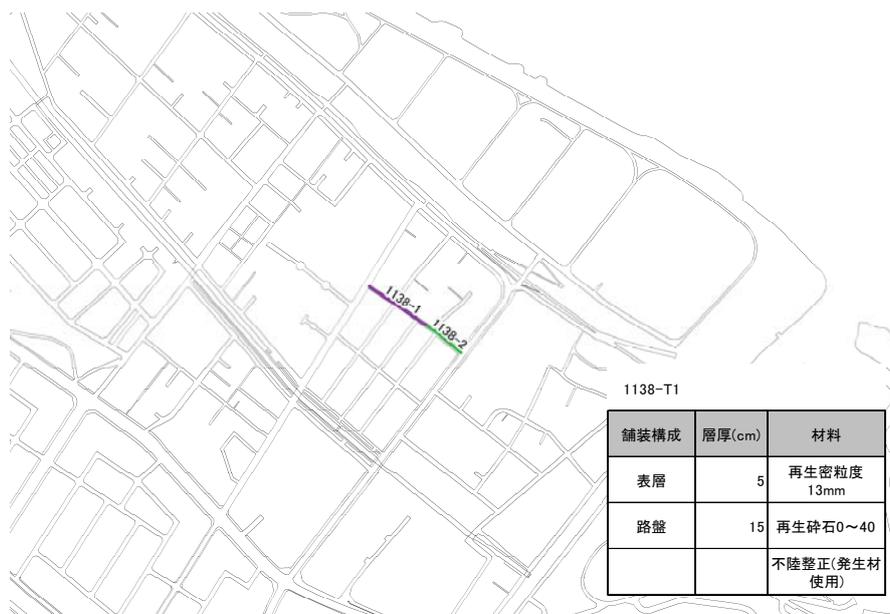
区間名	1135-1	1135-2	1135-3
延長区間	0-100	100-200	200-204
延長(m)	100	100	4
舗装タイプ	1135-T1	1135-T1	1135-T1
舗装厚	0.2	0.2	0.2
路床改良有無	×	×	×
液状化被害有無	○	○	○
被害数	14	20	2
被害程度	クラック、段差、破損	クラック、段差、破損	クラック
噴砂発生有無	×	×	×
被害ランク	中	中	中
最大水平変位(cm)	30	115	98
最大鉛直変位(cm)		不明	
液状化層厚(m)	2.0	1.0	1.0
非液状化層厚(m)	1.5	1.9	2.1
地下水位(m)	1.3	1.2	1.1
PL値	10.9	7.5	7.1
液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	2.0	1.0	1.0
非液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	1.5	1.9	2.1
液状化層/非液状化層厚 (舗装構成、地下水位を考慮)	1.33	0.53	0.48
埋立地	×	×	×
埋立造成年(西暦)			
下水道直上被害有無	○	○	×
下水道直上被害数	1	6	
下水道直上被害の 最大鉛直変位(cm)			



資図 2.2-7 市道 1137 号線

資表 2.2-7 整理表 (市道 1137 号線)

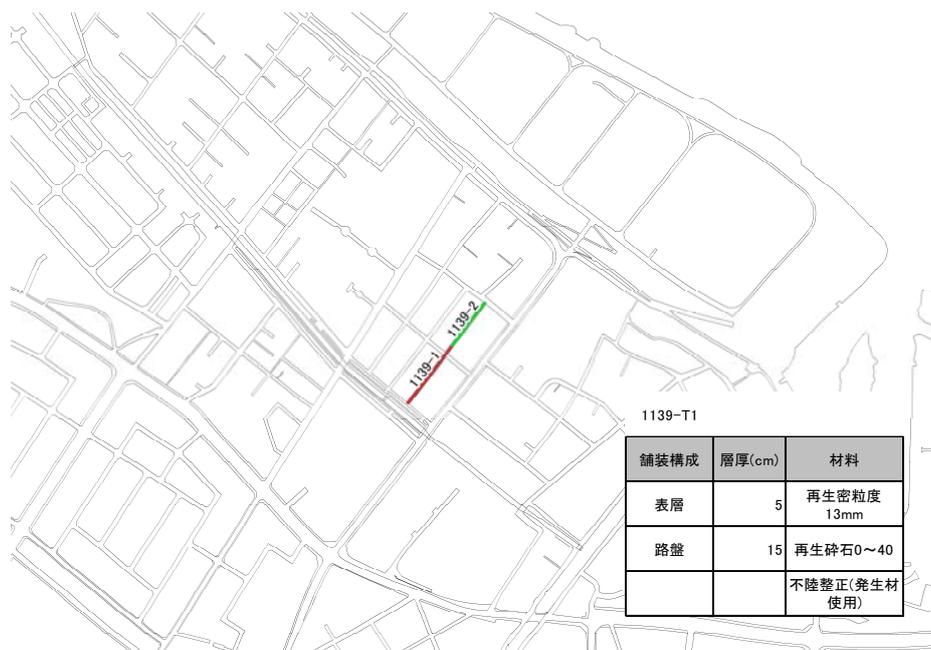
区間名	1137-1	1137-2
延長区間	0-100	100-148
延長(m)	100	48
舗装タイプ	1137-T1	1137-T1
舗装厚	0.2	0.2
路床改良有無	×	×
液状化被害有無	○	○
被害数	8	5
被害程度	クラック	クラック、陥没
噴砂発生有無	○	○
被害ランク	中	中
最大水平変位(cm)	25	20
最大鉛直変位(cm)		
液状化層厚(m)	7.8	7.5
非液状化層厚(m)	1.6	1.4
地下水位(m)	1.4	1.4
PL値	29.7	26.4
液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	7.8	7.5
非液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	1.6	1.4
液状化層/非液状化層厚 (舗装構成、地下水位を考慮)	4.88	5.36
埋立地	○	○
埋立造成年(西暦)	1952	1952
下水道直上被害有無	○	×
下水道直上被害数	2	
下水道直上被害の 最大鉛直変位(cm)		



資図 2.2-8 市道 1138 号線

資表 2.2-8 整理表 (市道 1138 号線)

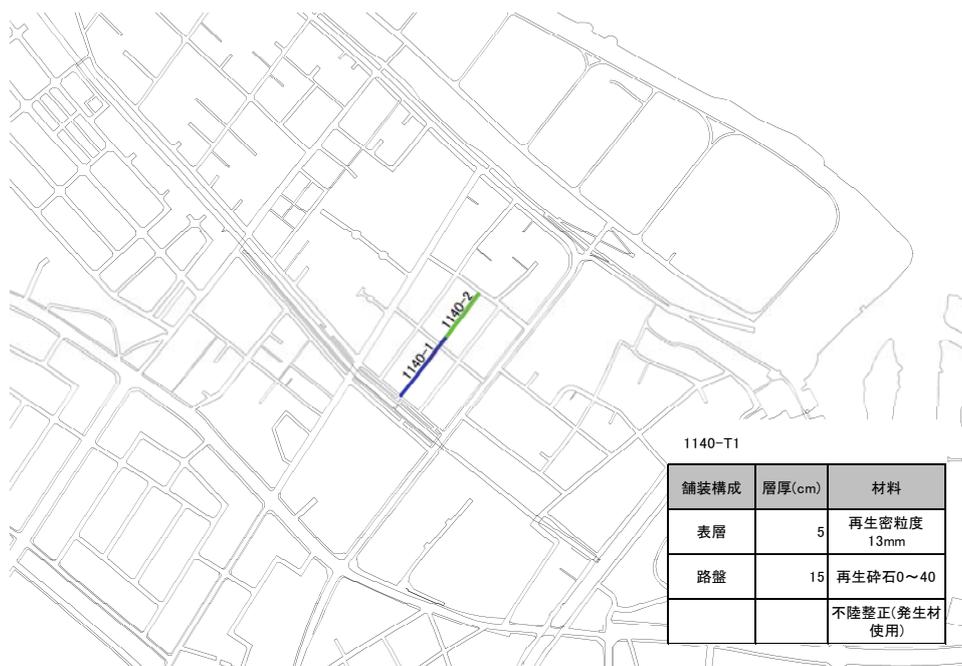
区間名	1138-1	1138-2
延長区間	0-100	100-159
延長(m)	100	59
舗装タイプ	1138-T1	1138-T1
舗装厚	0.2	0.2
路床改良有無	×	×
液状化被害有無	○	○
被害数	8	10
被害程度	陥没、クラック	隆起、陥没、クラック
噴砂発生有無	○	○
被害ランク	中	中
最大水平変位(cm)	不明	10
最大鉛直変位(cm)	不明	不明
液状化層厚(m)	5.6	3.7
非液状化層厚(m)	2.5	2.5
地下水位(m)	1.9	1.9
PL値	21.2	17.0
液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	5.6	3.7
非液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	2.5	2.5
液状化層/非液状化層厚 (舗装構成、地下水位を考慮)	2.24	1.48
埋立地	○	○
埋立造成年(西暦)	1929	1929
下水道直上被害有無	○	○
下水道直上被害数	1	1
下水道直上被害の 最大鉛直変位(cm)		



資図 2.2-9 市道 1139 号線

資表 2.2-9 整理表 (市道 1139 号線)

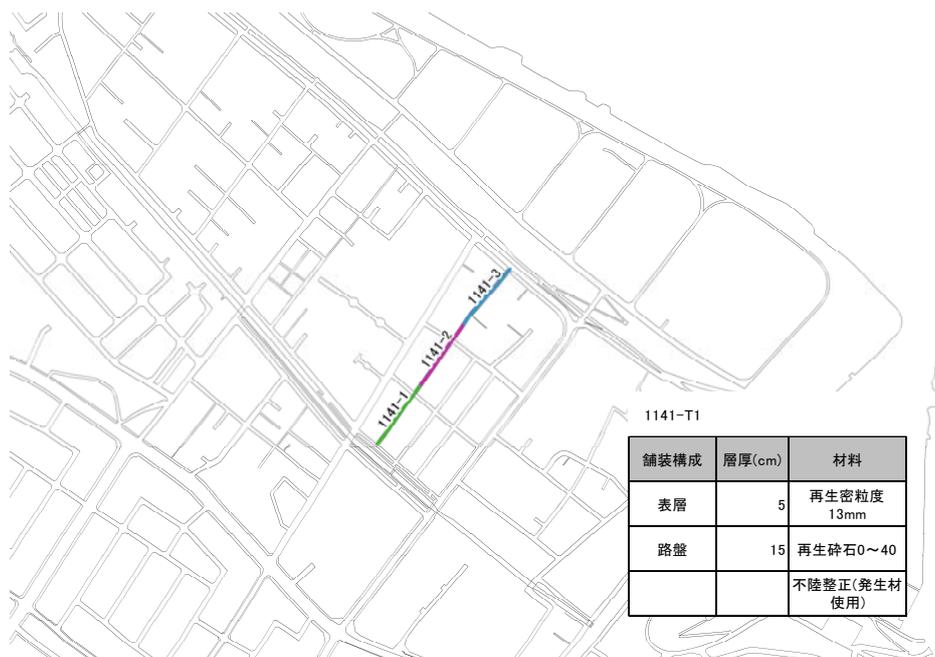
区間名	1139-1	1139-2
延長区間	0-100	100-172
延長(m)	100	72
舗装タイプ	1139-T1	1139-T1
舗装厚	0.2	0.2
路床改良有無	×	×
液状化被害有無	○	○
被害数	15	9
被害程度	クラック	クラック
噴砂発生有無	○	○
被害ランク	中	中
最大水平変位(cm)	3.5	3
最大鉛直変位(cm)		
液状化層厚(m)	7.3	5.5
非液状化層厚(m)	1.3	1.9
地下水位(m)	1.3	1.7
PL値	30.0	22.3
液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	7.3	5.5
非液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	1.3	1.9
液状化層/非液状化層厚 (舗装構成、地下水位を考慮)	5.62	2.89
埋立地	○	○
埋立造成年(西暦)	1952	1952
下水道直上被害有無	○	○
下水道直上被害数	8	2
下水道直上被害の 最大鉛直変位(cm)		



資図 2.2-10 市道 1140 号線

資表 2.2-10 整理表 (市道 1140 号線)

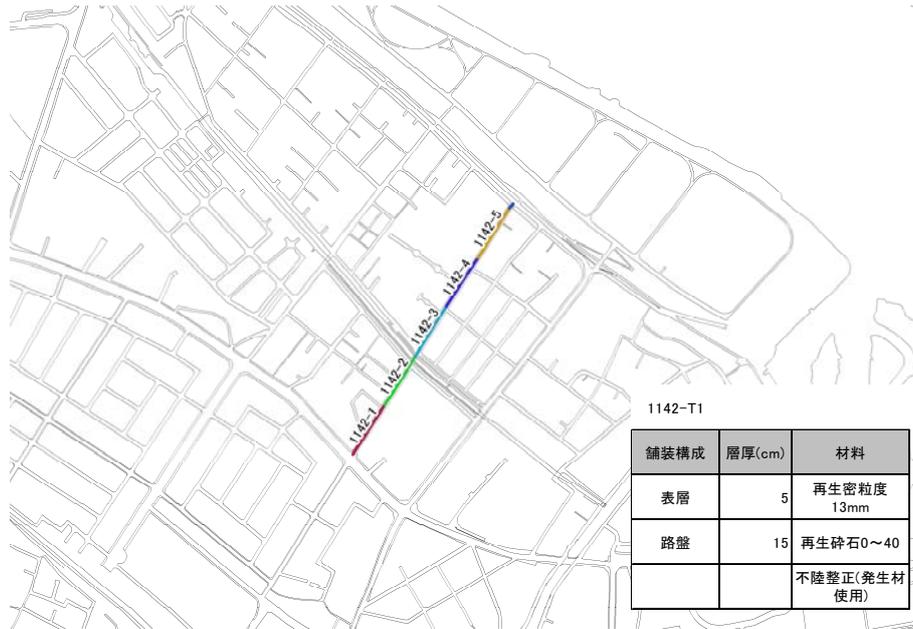
区間名	1140-1	1140-2
延長区間	0-100	100-170
延長(m)	100	70
舗装タイプ	1140-T1	1140-T1
舗装厚	0.2	0.2
路床改良有無	×	×
液状化被害有無	○	○
被害数	25	13
被害程度	クラック	クラック
噴砂発生有無	○	○
被害ランク	中	中
最大水平変位(cm)	10	5
最大鉛直変位(cm)		
液状化層厚(m)	7.7	6.3
非液状化層厚(m)	1.4	2.0
地下水位(m)	1.3	1.7
PL値	31.2	24.1
液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	7.7	6.3
非液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	1.4	2.0
液状化層/非液状化層厚 (舗装構成、地下水位を考慮)	5.50	3.15
埋立地	○	○
埋立造成年(西暦)	1929	1929
下水道直上被害有無	○	○
下水道直上被害数	10	5
下水道直上被害の 最大鉛直変位(cm)		



資図 2.2-11 市道 1141 号線

資表 2.2-11 整理表 (市道 1141 号線)

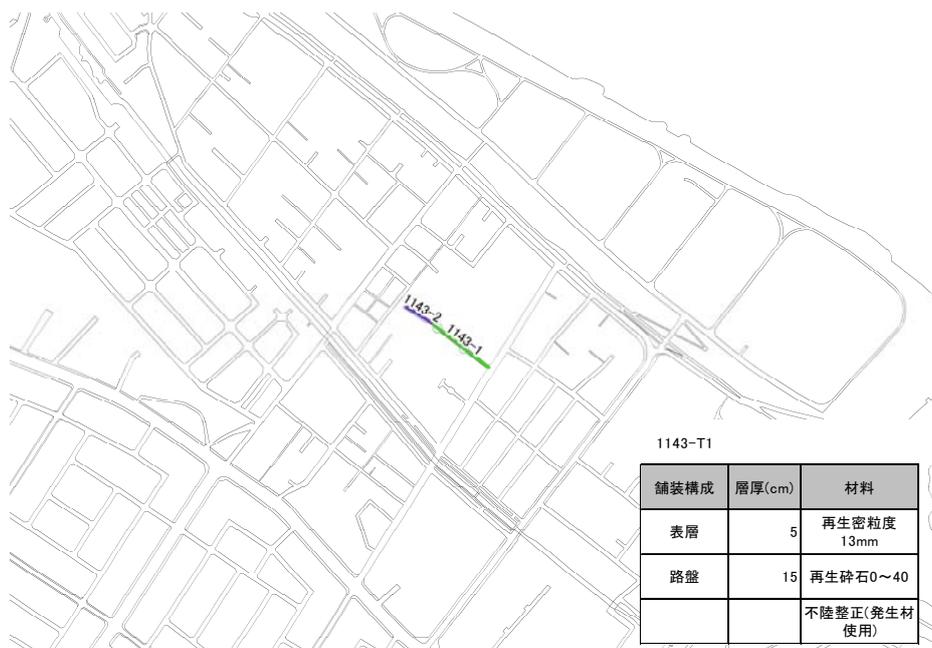
区間名	1141-1	1141-2	1141-3
延長区間	0-100	100-200	200-296
延長(m)	100	100	96
舗装タイプ	1141-T1	1141-T1	1141-T1
舗装厚	0.2	0.2	0.2
路床改良有無	×	×	×
液状化被害有無	○	○	○
被害数	9	12	8
被害程度	陥没、クラック	陥没、クラック	陥没、クラック
噴砂発生有無	○	○	○
被害ランク	中	中	中
最大水平変位(cm)	10	20	20
最大鉛直変位(cm)	不明	不明	不明
液状化層厚(m)	8.0	6.4	3.6
非液状化層厚(m)	1.6	2.2	3.4
地下水位(m)	1.2	1.7	2.2
PL値	21.1	23.7	14.0
液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	8.0	6.4	3.6
非液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	1.6	2.2	3.4
液状化層/非液状化層厚 (舗装構成、地下水位を考慮)	5.00	2.91	1.06
埋立地	○	○	○
埋立造成年(西暦)	1929	1929	1929
下水道直上被害有無	○	○	○
下水道直上被害数	3	3	1
下水道直上被害の 最大鉛直変位(cm)			



資図 2.2-12 市道 1142 号線

資表 2.2-12 整理表 (市道 1142 号線)

区間名	1142-1	1142-2	1142-3	1142-4	1142-5	1142-5
延長区間	0-100	100-200	200-300	300-400	400-500	500-509
延長(m)	100	100	100	100	100	9
舗装タイプ	1142-T1	1142-T1	1142-T1	1142-T1	1142-T1	1142-T1
舗装厚	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
路床改良有無	×	×	×	×	×	×
液状化被害有無	○	○	○	○	○	○
被害数	6	6	12	14	13	3
被害程度	クラック、隆起	クラック、隆起、陥没	クラック、隆起、陥没	クラック、隆起	クラック、破損	クラック、破損
噴砂発生有無	×	×	×	×	×	×
被害ランク	中	中	中	中	中	中
最大水平変位(cm)	4	6	3	9	3	15
最大鉛直変位(cm)	不明	不明	不明	不明	不明	
液状化層厚(m)	5.9	7.2	7.4	6.9	5.3	5.0
非液状化層厚(m)	1.6	1.6	2.0	2.1	2.8	3.3
地下水位(m)	1.1	1.0	1.0	1.6	2.0	2.2
PL値	31.2	34.8	30.5	24.5	17.0	13.9
液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	5.9	7.2	7.4	6.9	5.3	5.0
非液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	1.6	1.6	2.0	2.1	2.8	3.3
液状化層/非液状化層厚 (舗装構成、地下水位を考慮)	3.69	4.50	3.70	3.29	1.89	1.52
埋立地	○	○	○	○	○	○
埋立成年(西暦)	1906	1952	1929	1929	1906	1906
下水道直上被害有無	○	○	○	○	○	×
下水道直上被害数	1	3	2	5	5	
下水道直上被害の 最大鉛直変位(cm)						



資図 2.2-13 市道 1143 号線

資表 2.2-13 整理表 (市道 1143 号線)

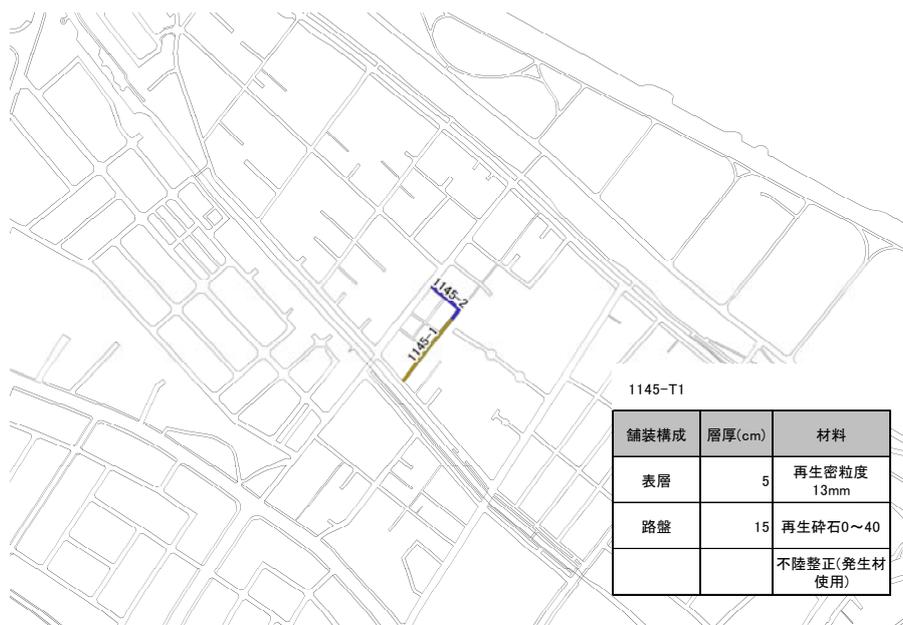
区間名	1143-1	1143-2
延長区間	0-100	100-141
延長(m)	100	41
舗装タイプ	1143-T1	1143-T1
舗装厚	0.2	0.2
路床改良有無	×	×
液状化被害有無	○	○
被害数	16	2
被害程度	クラック、陥 没、沈下	沈下
噴砂発生有無	○	○
被害ランク	中	中
最大水平変位(cm)	6	
最大鉛直変位(cm)	不明	不明
液状化層厚(m)	6.5	6.7
非液状化層厚(m)	2.2	1.8
地下水位(m)	1.4	1.2
PL値	22.3	20.4
液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	6.5	6.7
非液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	2.2	1.8
液状化層/非液状化層厚 (舗装構成、地下水位を考慮)	2.95	3.72
埋立地	○	○
埋立造成年(西暦)	1952	1952
下水道直上被害有無	○	×
下水道直上被害数	2	
下水道直上被害の 最大鉛直変位(cm)	不明	



資図 2.2-14 市道 1144 号線

資表 2.2-14 整理表 (市道 1144 号線)

区間名	1144-1	1144-2
延長区間	0-100	100-172
延長(m)	100	72
舗装タイプ	1144-T1	1144-T1
舗装厚	0.2	0.2
路床改良有無	×	×
液状化被害有無	○	○
被害数	15	8
被害程度	クラック、陥没、沈下	クラック、破損
噴砂発生有無	○	○
被害ランク	中	中
最大水平変位(cm)	3.5	5.9
最大鉛直変位(cm)	15	
液状化層厚(m)	10.0	8.5
非液状化層厚(m)	1.5	2.2
地下水位(m)	1.4	1.7
PL値	22.3	19.5
液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	10.0	8.5
非液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	1.5	2.2
液状化層/非液状化層厚 (舗装構成、地下水位を考慮)	6.67	3.86
埋立地	○	○
埋立造成年(西暦)	1906	1906
下水道直上被害有無	○	×
下水道直上被害数	6	
下水道直上被害の 最大鉛直変位(cm)	15	



資図 2.2-15 市道 1145 号線

資表 2.2-15 整理表 (市道 1145 号線)

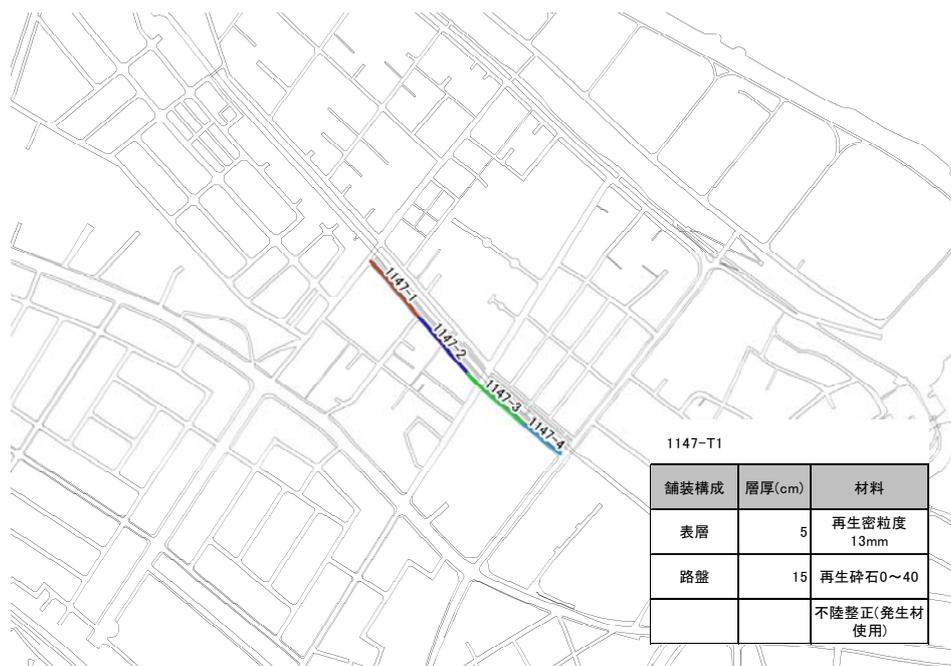
区間名	1145-1	1145-2
延長区間	0-100	100-157
延長(m)	100	57
舗装タイプ	1145-T1	1145-T1
舗装厚	0.2	0.2
路床改良有無	×	×
液状化被害有無	○	○
被害数	5	5
被害程度	破損、陥没、 沈下	破損、陥没
噴砂発生有無	○	○
被害ランク	中	中
最大水平変位(cm)	不明	不明
最大鉛直変位(cm)	不明	不明
液状化層厚(m)	7.4	9.1
非液状化層厚(m)	2.5	1.5
地下水位(m)	1.0	1.1
PL値	20.6	22.4
液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	7.4	9.1
非液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	2.5	1.5
液状化層/非液状化層厚 (舗装構成、地下水位を考慮)	2.96	6.07
埋立地	○	○
埋立造成年(西暦)	1929	1952
下水道直上被害有無	×	○
下水道直上被害数		2
下水道直上被害の 最大鉛直変位(cm)		



資図 2.2-16 市道 1146 号線

資表 2.2-16 整理表 (市道 1146 号線)

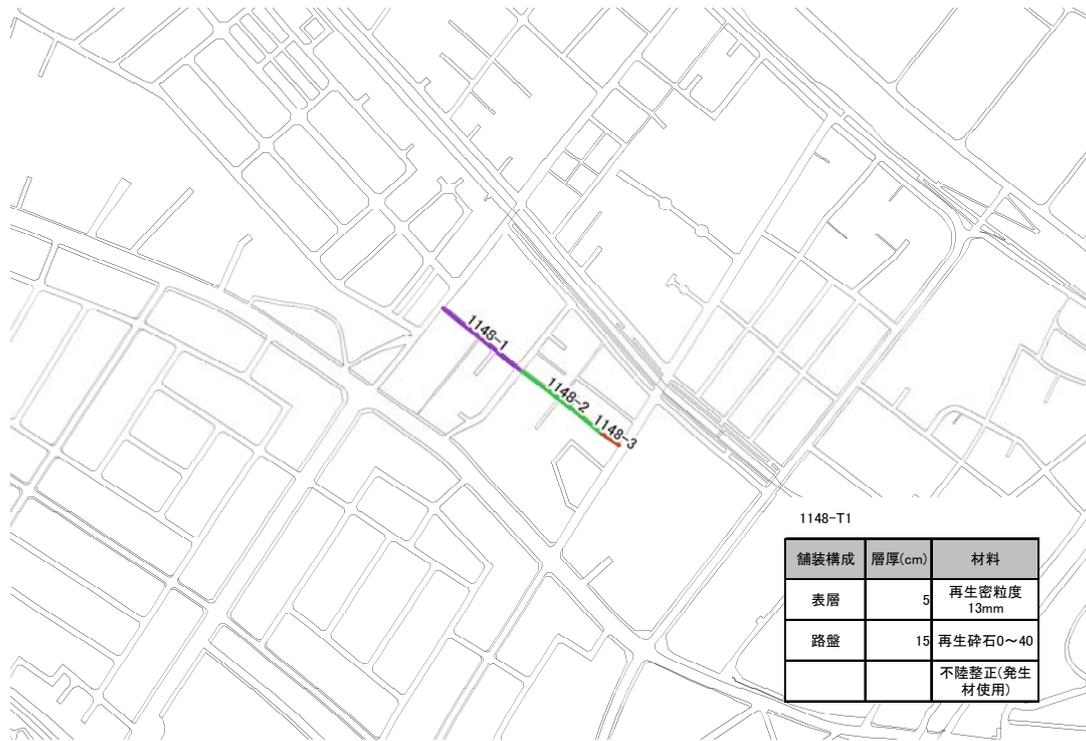
区間名	1146-1	1146-2	1146-3	1146-4
延長区間	0-100	100-200	200-300	300-366
延長(m)	100	100	100	66
舗装タイプ	1146-T1	1146-T1	1146-T1	1146-T1
舗装厚	0.2	0.2	0.2	0.2
路床改良有無	×	×	×	×
液状化被害有無	○	○	○	○
被害数	9	8	20	18
被害程度	クラック、沈下	クラック、破損	クラック、破損	クラック、破損
噴砂発生有無	×	×	×	×
被害ランク	中	中	中	中
最大水平変位(cm)	不明	2	7	5
最大鉛直変位(cm)	不明			
液状化層厚(m)	6.8	5.8	7.7	7.5
非液状化層厚(m)	3.5	3.0	1.6	1.2
地下水位(m)	0.9	1.0	1.0	1.2
PL値	21.0	25.9	33.5	32.4
液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	6.8	5.8	7.7	7.5
非液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	3.5	3.0	1.6	1.2
液状化層/非液状化層厚 (舗装構成、地下水位を考慮)	1.94	1.93	4.81	6.25
埋立地	○	○	○	○
埋立造成年(西暦)	1929	1929	1929	1929
下水道直上被害有無	○	×	×	○
下水道直上被害数	3			3
下水道直上被害の 最大鉛直変位(cm)				



資図 2.2-17 市道 1147 号線

資表 2.2-17 整理表 (市道 1147 号線)

区間名	1147-1	1147-2	1147-3	1147-4
延長区間	0-100	100-200	200-300	300-364
延長(m)	100	100	100	64
舗装タイプ	1147-T1	1147-T1	1147-T1	1147-T1
舗装厚	0.2	0.2	0.2	0.2
路床改良有無	×	×	×	×
液状化被害有無	○	×	○	○
被害数	8	1	16	20
被害程度	クラック	クラック	クラック、破 損	クラック、破 損
噴砂発生有無	×	×	×	×
被害ランク	中	中	中	中
最大水平変位(cm)	19		1.5	9
最大鉛直変位(cm)	不明			
液状化層厚(m)	7.2	6.1	7.5	7.5
非液状化層厚(m)	3.5	2.8	1.5	1.1
地下水位(m)	0.9	0.9	1.0	1.2
PL値	22.9	28.5	34.3	33.3
液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	7.2	6.1	7.5	7.4
非液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	3.5	2.8	1.5	1.2
液状化層/非液状化層厚 (舗装構成、地下水位を考慮)	2.06	2.18	5.00	6.17
埋立地	○	○	○	○
埋立造成年(西暦)	1929	1929	1929	1929
下水道直上被害有無	○	×	○	○
下水道直上被害数	2		1	6
下水道直上被害の 最大鉛直変位(cm)				



資図 2.2-18 市道 1148 号線

資表 2.2-18 整理表 (市道 1148 号線)

区間名	1148-1	1148-2	1148-3
延長区間	0-100	100-200	200-221
延長(m)	100	100	21
舗装タイプ	1148-T1	1148-T1	1148-T1
舗装厚(m)	0.20	0.20	0.20
路床改良有無	×	×	×
液状化被害有無	○	○	○
被害数	22	19	3
被害程度	クラック、沈下、破損	クラック、破損	クラック、破損
噴砂発生有無	○	○	○
被害ランク	中	中	中
最大水平変位(cm)	5.0	8.0	8.0
最大鉛直変位(cm)			
液状化層厚(m)	8.9	6.9	6.9
非液状化層厚(m)	2.7	2.0	1.6
地下水位(m)	0.8	0.9	1.0
PL 値	29.7	34.1	35.0
液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	8.9	6.9	6.9
非液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	2.7	2.0	1.6
液状化層/非液状化層厚 (舗装構成、地下水位を考慮)	3.3	3.5	4.3
埋立地	○	○	○
埋立造成年(西暦)	1952	1952	1952
下水道直上被害有無	○	○	×
下水道直上被害数	8	8	
下水道直上被害の 最大鉛直変位(cm)			



資図 2.2-19 市道 1149 号線

資表 2.2-19 整理表 (市道 1149 号線)

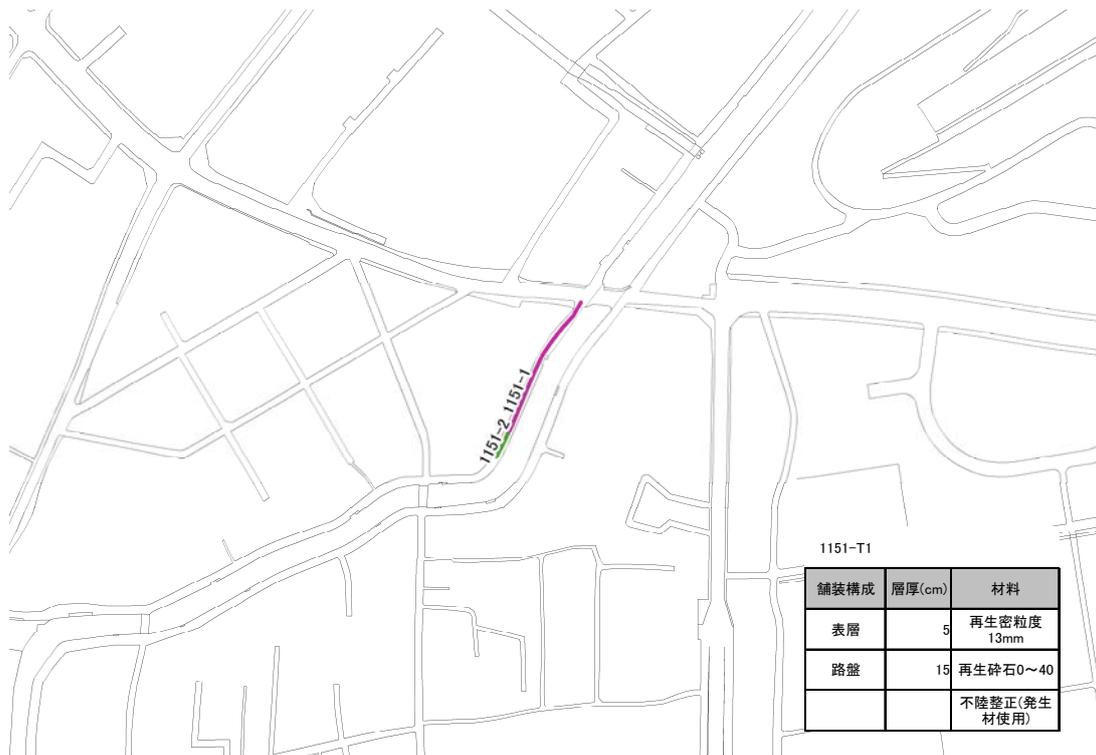
区間名	1149-1	1149-2
延長区間	0-100	100-179
延長(m)	100	79
舗装タイプ	1149-T1	1149-T1
舗装厚(m)	0.20	0.20
路床改良有無	×	×
液状化被害有無	○	○
被害数	13	6
被害程度	クラック、破損	クラック、破損
噴砂発生有無	○	○
被害ランク	中	中
最大水平変位(cm)	10.0	19.0
最大鉛直変位(cm)		
液状化層厚(m)	7.3	6.9
非液状化層厚(m)	2.2	3.0
地下水位(m)	1.0	0.9
PL 値	30.0	28.6
液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	7.3	6.9
非液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	2.2	3.0
液状化層/非液状化層厚 (舗装構成、地下水位を考慮)	3.3	2.3
埋立地	×	○
埋立造成年(西暦)		1906
下水道直上被害有無	○	○
下水道直上被害数	5	1
下水道直上被害の 最大鉛直変位(cm)		



資図 2.2-20 市道 1150 号線

資表 2.2-20 整理表 (市道 1150 号線)

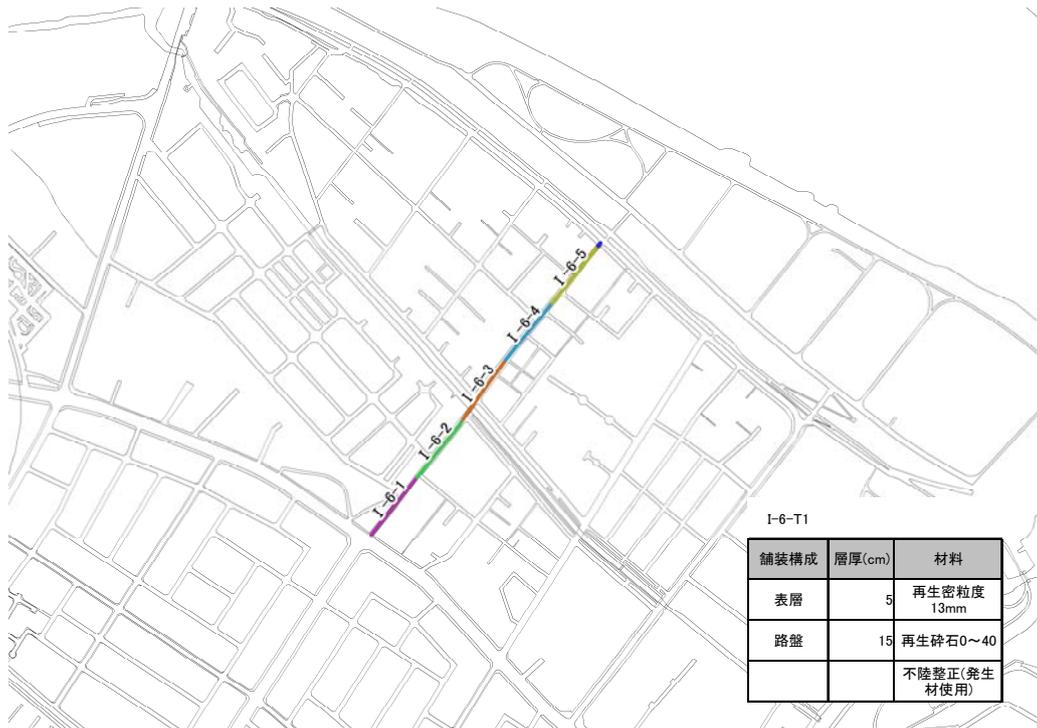
区間名	1150-1	1150-2
延長区間	0-100	100-122
延長(m)	100	22
舗装タイプ	1150-T1	1150-T1
舗装厚(m)	0.20	0.20
路床改良有無	×	×
液状化被害有無	○	○
被害数	7	3
被害程度	クラック	クラック、 破損
噴砂発生有無	○	○
被害ランク	中	中
最大水平変位(cm)	不明	不明
最大鉛直変位(cm)		
液状化層厚(m)	6.2	6.6
非液状化層厚(m)	1.7	1.5
地下水位(m)	1.0	1.0
PL 値	32.6	34.3
液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	6.2	6.6
非液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	1.7	1.5
液状化層/非液状化層厚 (舗装構成、地下水位を考慮)	3.6	4.4
埋立地	○	○
埋立成年(西暦)	1906	1906
下水道直上被害有無	×	○
下水道直上被害数		1
下水道直上被害の 最大鉛直変位(cm)		



資図 2.2-21 市道 1151 号線

資表 2.2-21 整理表 (市道 1151 号線)

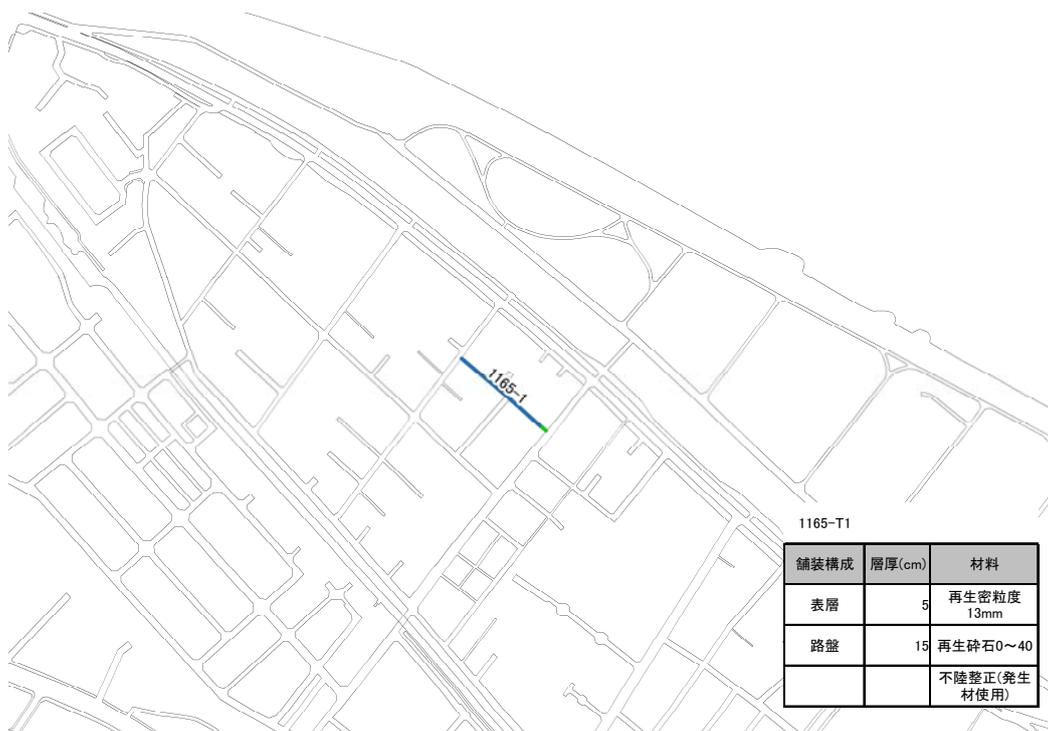
区間名	1151-1	1151-2
延長区間	0-100	100-116
延長(m)	100	16
舗装タイプ	1151-T1	1151-T1
舗装厚(m)	0.20	0.20
路床改良有無	×	×
液状化被害有無	○	○
被害数	11	2
被害程度	クラック、 沈下、破損	クラック、 沈下
噴砂発生有無	×	×
被害ランク	中	中
最大水平変位(cm)	6.0	4.0
最大鉛直変位(cm)	10.0	10.0
液状化層厚(m)	8.0	8.0
非液状化層厚(m)	2.0	2.2
地下水位(m)	2.7	3.0
PL 値	30.8	31.0
液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	7.3	7.2
非液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	2.7	3.0
液状化層/非液状化層厚 (舗装構成、地下水位を考慮)	2.7	2.4
埋立地	×	×
埋立造成年(西暦)		
下水道直上被害有無	○	×
下水道直上被害数	7	
下水道直上被害の 最大鉛直変位(cm)	10	



資図 2.2-22 市道 I-6 号線

資表 2.2-22 整理表 (市道 I-6 号線)

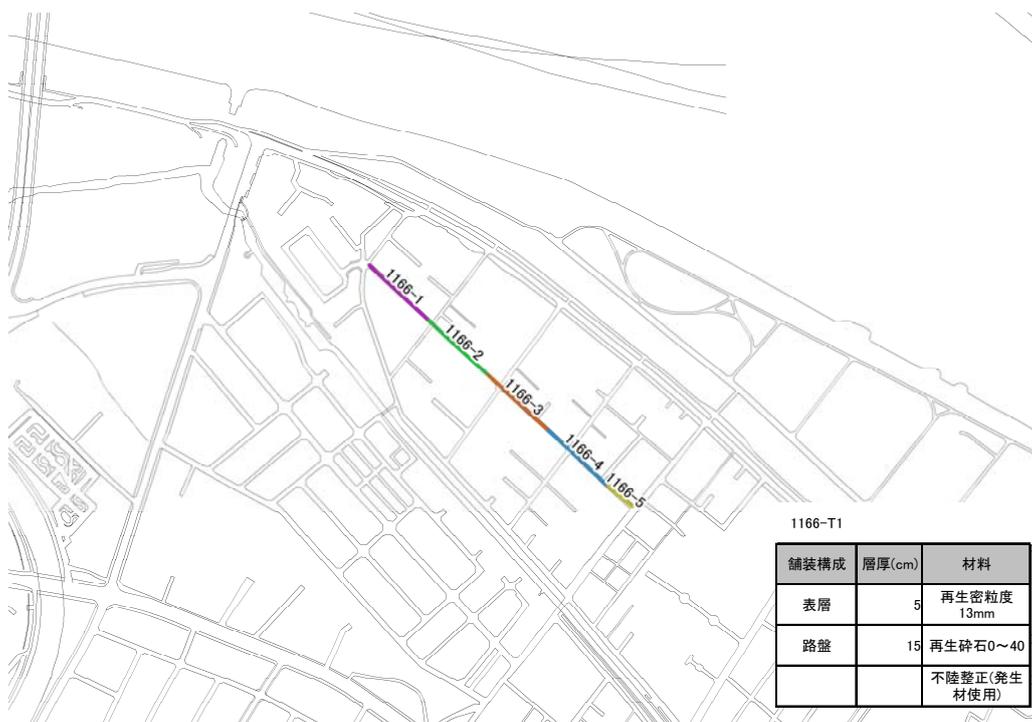
区間名	I-6-1	I-6-2	I-6-3	I-6-4	I-6-5	I-6-6
延長区間	0-100	100-200	200-300	300-400	400-500	500-505
延長(m)	100	100	100	100	100	5
舗装タイプ	I-6-T1	I-6-T1	I-6-T1	I-6-T1	I-6-T1	I-6-T1
舗装厚(m)	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
路床改良有無	×	×	×	×	×	×
液状化被害有無	○	○	○	○	○	×
被害数	6	3	4	4	7	1
被害程度	クラック、 破損、沈下	クラック、 破損、隆起	隆起	クラック、 破損、隆起	沈下、破損	破損
噴砂発生有無	○	○	○	○	○	○
被害ランク	中	中	中	中	中	中
最大水平変位(cm)	1.5	1.6		2.0		
最大鉛直変位(cm)	不明	不明	不明		不明	
液状化層厚(m)	10.5	11.3	10.2	11.4	13.4	13.9
非液状化層厚(m)	2.4	2.9	2.7	1.5	2.0	2.6
地下水位(m)	1.0	0.8	0.9	1.1	1.3	1.5
PL 値	29.0	29.3	24.3	24.6	25.2	24.2
液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	10.5	11.3	10.2	11.4	13.4	13.9
非液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	2.40	2.90	2.70	1.50	2.00	2.60
液状化層/非液状化層厚 (舗装構成、地下水位を考慮)	4.38	3.90	3.78	7.60	6.70	5.35
埋立地	×	○	○	○	×	×
埋立造成年(西暦)		1906	1929	1929		
下水道直上被害有無	○	○	×	×	×	×
下水道直上被害数	2	2				
下水道直上被害の 最大鉛直変位(cm)						



資図 2.2-23 市道 1165 号線

資表 2.2-23 整理表 (市道 1165 号線)

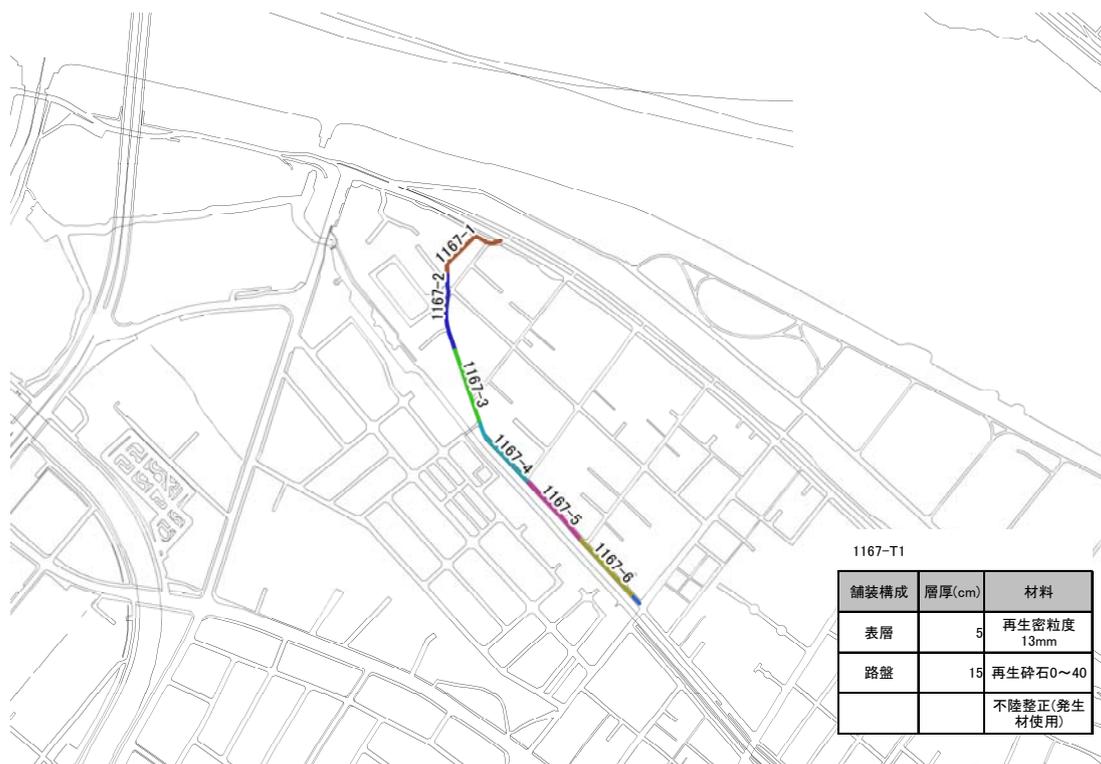
区間名	1165-1	1165-2
延長区間	0-100	100-105
延長(m)	100	5
舗装タイプ	1165-T1	1165-T1
舗装厚(m)	0.20	0.20
路床改良有無	×	×
液状化被害有無	○	○
被害数	10	1
被害程度	クラック、 破損、段差	破損
噴砂発生有無	○	○
被害ランク	中	中
最大水平変位(cm)	2	不明
最大鉛直変位(cm)	2.5	
液状化層厚(m)	16.5	13.8
非液状化層厚(m)	2.6	2.0
地下水位(m)	1.2	1.3
PL 値	28.2	25.6
液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	16.5	13.8
非液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	2.6	2.0
液状化層/非液状化層厚 (舗装構成、地下水位を考慮)	6.3	6.9
埋立地	○	×
埋立造成年(西暦)	1906	
下水道直上被害有無	○	×
下水道直上被害数	6	
下水道直上被害の 最大鉛直変位(cm)		



資図 2.2-24 市道 1166 号線

資表 2.2-24 整理表 (市道 1166 号線)

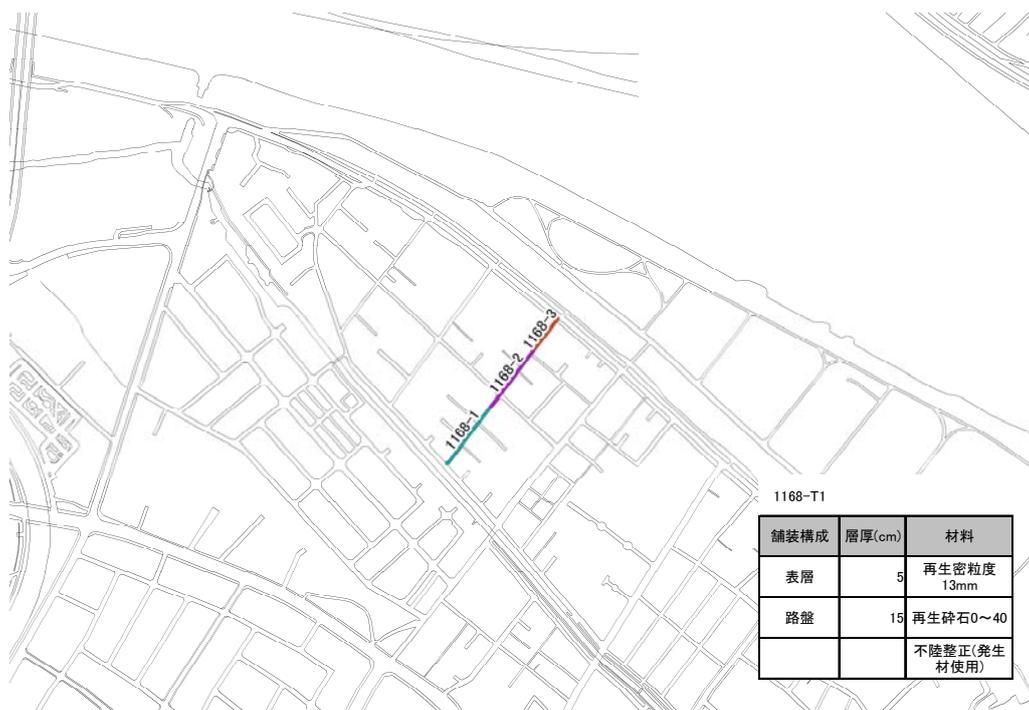
区間名	1166-1	1166-2	1166-3	1166-4	1166-5
延長区間	0-100	100-200	200-300	300-400	400-439
延長(m)	100	100	100	100	39
舗装タイプ	1166-T1	1166-T1	1166-T1	1166-T1	1166-T1
舗装厚(m)	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
路床改良有無	×	×	×	×	×
液状化被害有無	○	○	○	○	○
被害数	26	14	9	4	10
被害程度	クラック、段差、 破損、隆起	クラック、破損、 段差	クラック、段差	クラック	クラック、段差
噴砂発生有無	○	○	○	○	○
被害ランク	中	中	中	中	中
最大水平変位(cm)	13.0	15.0	9.5	1.0	6.0
最大鉛直変位(cm)	8.0	10.0	5.0		13.0
液状化層厚(m)	10.4	11.1	14.2	16.7	13.6
非液状化層厚(m)	1.6	2.6	3.1	2.8	1.8
地下水位(m)	1.2	1.8	1.7	1.2	1.1
PL 値	25.8	22.5	24.7	29.0	26.5
液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	10.4	11.1	14.2	16.7	13.6
非液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	1.6	2.6	3.1	2.8	1.8
液状化層/非液状化層厚 (舗装構成、地下水位を考慮)	6.5	4.3	4.6	6.0	7.6
埋立地	○	○	○	○	○
埋立造成年(西暦)	1969	1969	1929	1929	1929
下水道直上被害有無	○	○	○	○	○
下水道直上被害数	5	4	4	2	2
下水道直上被害の 最大鉛直変位(cm)	7		3.5		4



資図 2.2-25 市道 1167 号線

資表 2.2-25 整理表 (市道 1167 号線)

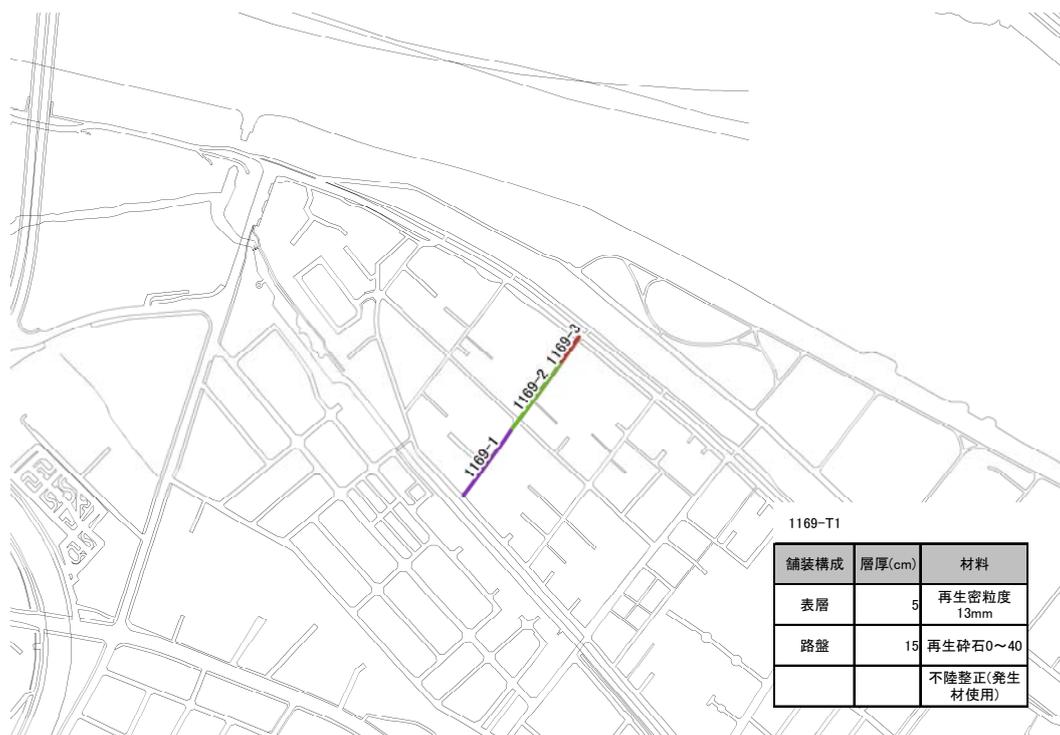
区間名	1167-1	1167-2	1167-3	1167-4	1167-5	1167-6	1167-7
延長区間	0-100	100-200	200-300	300-400	400-500	500-600	600-611
延長(m)	100	100	100	100	100	100	11
舗装タイプ	1167-T1	1167-T1	1167-T1	1167-T1	1167-T1	1167-T1	1167-T1
舗装厚(m)	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
路床改良有無	×	×	×	×	×	×	×
液状化被害有無	○	○	○	○	○	○	○
被害数	7	10	22	15	1	8	3
被害程度	クラック、 破損、沈下	クラック、 破損	クラック、 破損	クラック、 破損	クラック	クラック、 段差、破損	クラック
噴砂発生有無	○	○	○	○	○	○	○
被害ランク	中	中	中	中	中	中	中
最大水平変位(cm)	4.0	2.0	15.0	6.0	2.0	5.0	7.0
最大鉛直変位(cm)	不明	不明				不明	
液状化層厚(m)	11.4	8.8	6.9	6.9	13.3	14.1	11.1
非液状化層厚(m)	1.0	1.3	2.1	2.7	2.6	2.4	2.7
地下水位(m)	0.7	0.9	1.6	2.0	1.6	1.0	0.9
PL 値	29.9	25.6	20.1	17.0	26.2	29.0	25.7
液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	11.4	8.8	6.9	6.9	13.3	14.1	11.1
非液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	1.0	1.3	2.1	2.7	2.6	2.4	2.7
液状化層/非液状化層厚 (舗装構成、地下水位を考慮)	11.4	6.8	3.3	2.6	5.1	5.9	4.1
埋立地	○	○	○	○	○	○	○
埋立造成年(西暦)	1929	1906	1969	1969	1969	1929	1929
下水道直上被害有無	×	×	○	○	×	○	×
下水道直上被害数			7	3		4	
下水道直上被害の 最大鉛直変位(cm)							



資図 2.2-26 市道 1168 号線

資表 2.2-26 整理表 (市道 1168 号線)

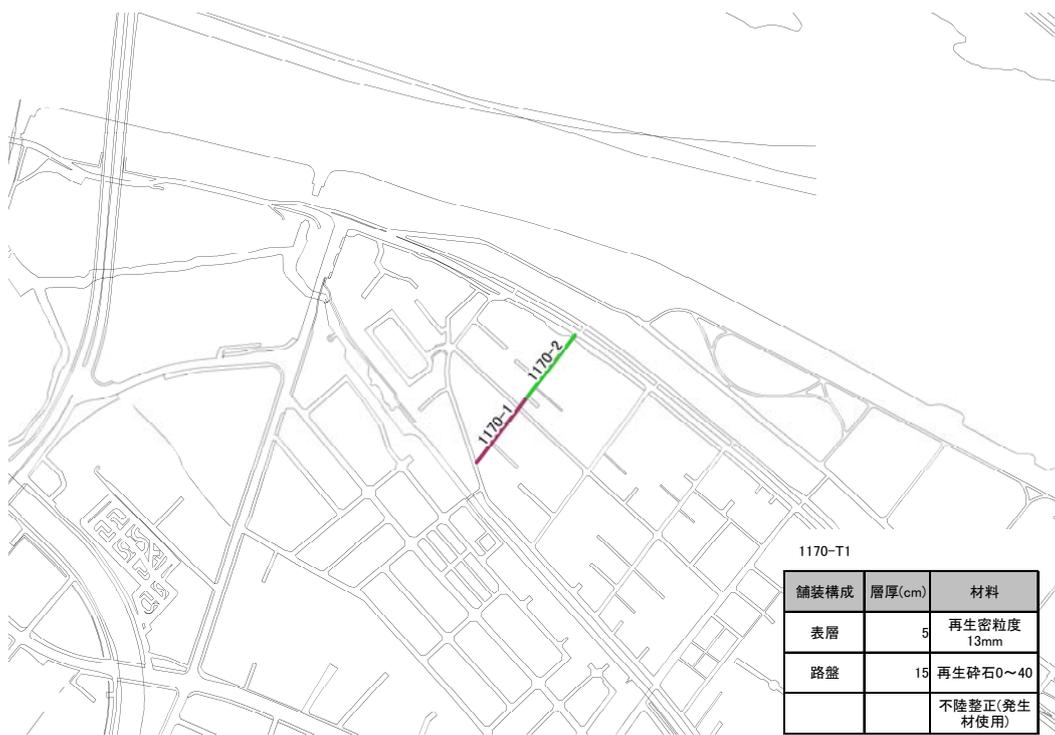
区間名	1168-1	1168-2	1168-3
延長区間	0-100	100-200	200-253
延長(m)	100	100	53
舗装タイプ	1168-T1	1168-T1	1168-T1
舗装厚(m)	0.20	0.20	0.20
路床改良有無	×	×	×
液状化被害有無	○	○	○
被害数	23	12	7
被害程度	クラック、 段差、破損	クラック、 段差、破損	クラック、 段差、破損
噴砂発生有無	×	×	×
被害ランク	中	中	中
最大水平変位(cm)	4.0	7.0	7.5
最大鉛直変位(cm)	7.0	4.5	5.0
液状化層厚(m)	14.9	17.2	17.9
非液状化層厚(m)	2.7	3.0	3.1
地下水位(m)	1.3	1.3	1.3
PL 値	27.7	29.0	28.7
液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	14.9	17.2	17.9
非液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	2.7	3.0	3.1
液状化層/非液状化層厚 (舗装構成、地下水位を考慮)	5.5	5.7	5.8
埋立地	○	○	○
埋立造成年(西暦)	1929	1929	1906
下水道直上被害有無	○	×	○
下水道直上被害数	3		2
下水道直上被害の 最大鉛直変位(cm)	7		5



資図 2.2-27 市道 1169 号線

資表 2.2-27 整理表 (市道 1169 号線)

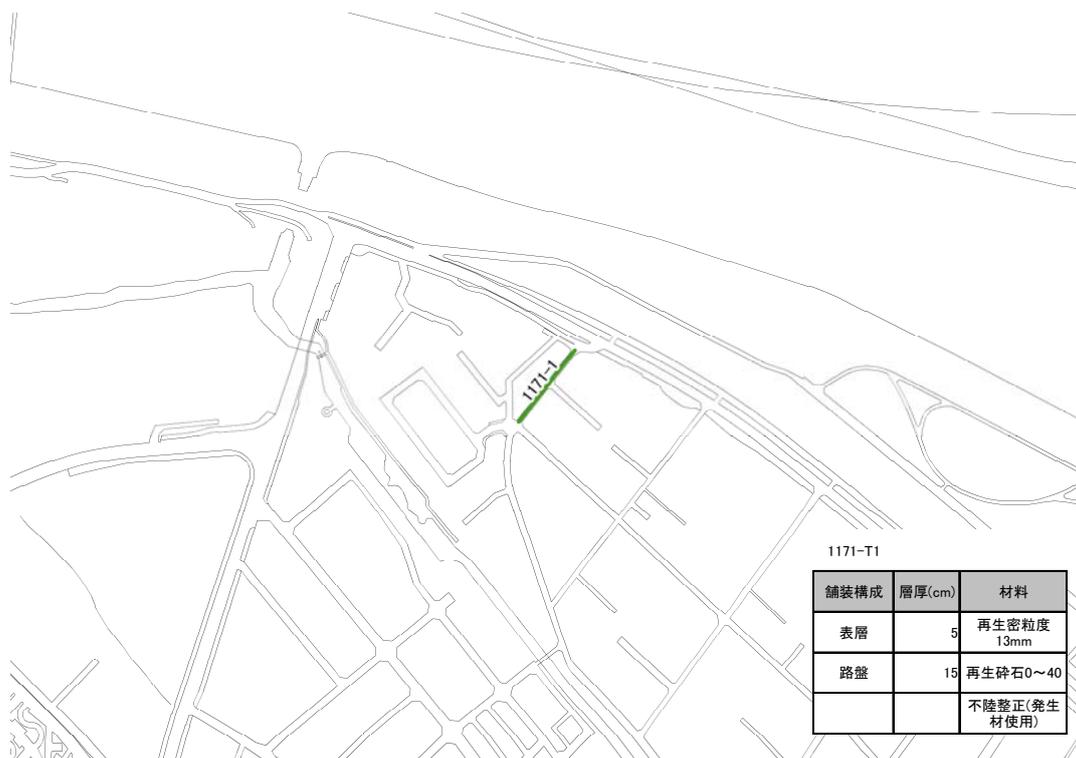
区間名	1169-1	1169-2	1169-3
延長区間	0-100	100-200	200-235
延長(m)	100	100	35
舗装タイプ	1169-T1	1169-T1	1169-T1
舗装厚(m)	0.20	0.20	0.20
路床改良有無	×	×	×
液状化被害有無	○	○	○
被害数	25	25	16
被害程度	クラック、 破損	クラック、 破損	クラック
噴砂発生有無	○	○	○
被害ランク	中	中	中
最大水平変位(cm)	3.0	14.0	47.0
最大鉛直変位(cm)	不明		
液状化層厚(m)	10.3	14.7	17.2
非液状化層厚(m)	3.0	3.1	3.1
地下水位(m)	2.0	1.7	1.5
PL 値	20.2	25.3	28.1
液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	10.3	14.7	17.2
非液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	3.0	3.1	3.1
液状化層/非液状化層厚 (舗装構成、地下水位を考慮)	3.4	4.7	5.5
埋立地	○	○	○
埋立造成年(西暦)	1969	1929	1929
下水道直上被害有無	○	○	○
下水道直上被害数	8	9	2
下水道直上被害の 最大鉛直変位(cm)			



資図 2.2-28 市道 1170 号線

資表 2.2-28 整理表 (市道 1170 号線)

区間名	1170-1	1170-2
延長区間	0-100	100-195
延長(m)	100	95
舗装タイプ	1170-T1	1170-T1
舗装厚(m)	0.20	0.20
路床改良有無	×	×
液状化被害有無	○	○
被害数	16	20
被害程度	クラック、 破損	クラック、 破損
噴砂発生有無	○	○
被害ランク	中	中
最大水平変位(cm)	2.0	2.0
最大鉛直変位(cm)		
液状化層厚(m)	9.0	13.9
非液状化層厚(m)	2.2	2.2
地下水位(m)	1.6	1.3
PL 値	21.6	27.1
液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	9.0	13.9
非液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	2.2	2.2
液状化層/非液状化層厚 (舗装構成、地下水位を考慮)	4.1	6.3
埋立地	○	○
埋立造成年(西暦)	1969	1952
下水道直上被害有無	○	○
下水道直上被害数	2	7
下水道直上被害の 最大鉛直変位(cm)		



資図 2.2-29 市道 1171 号線

資表 2.2-29 整理表 (市道 1171 号線)

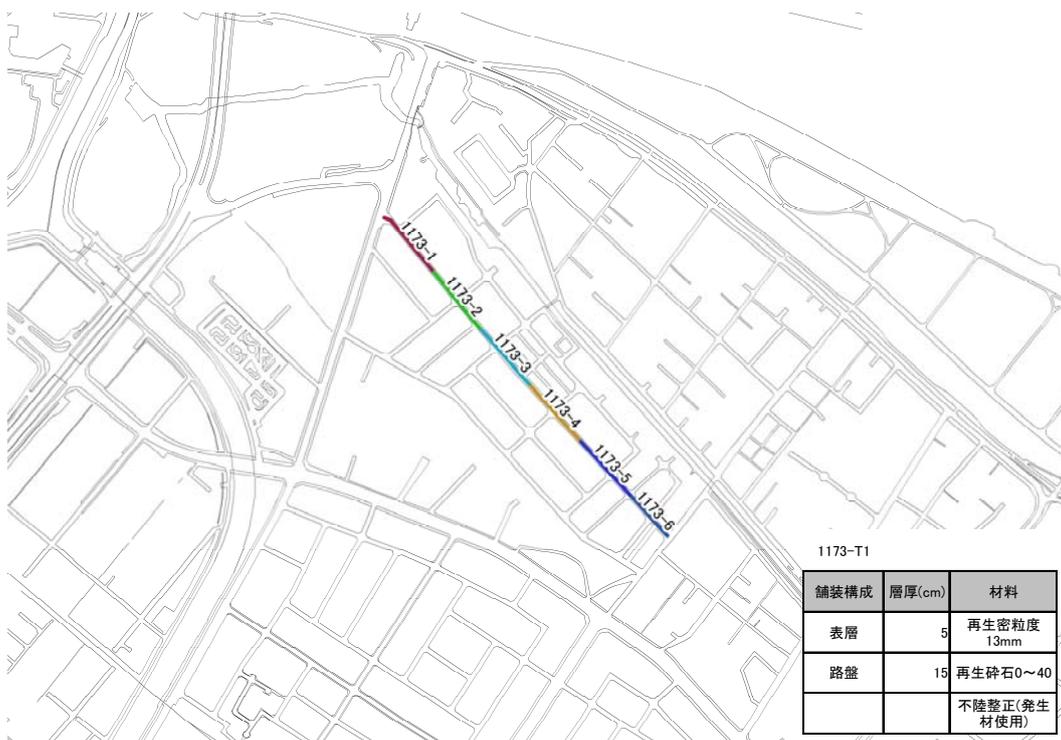
区間名	1171
延長区間	0-71
延長(m)	71
舗装タイプ	1171-T1
舗装厚(m)	0.20
路床改良有無	×
液状化被害有無	○
被害数	12
被害程度	クラック、 段差
噴砂発生有無	○
被害ランク	中
最大水平変位(cm)	7.5
最大鉛直変位(cm)	不明
液状化層厚(m)	11.5
非液状化層厚(m)	1.2
地下水位(m)	0.8
PL 値	28.9
液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	11.5
非液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	1.2
液状化層/非液状化層厚 (舗装構成、地下水位を考慮)	9.6
埋立地	○
埋立造成年(西暦)	1929
下水道直上被害有無	○
下水道直上被害数	3
下水道直上被害の 最大鉛直変位(cm)	



資図 2.2-30 市道 1172 号線

資表 2.2-30 整理表 (市道 1172 号線)

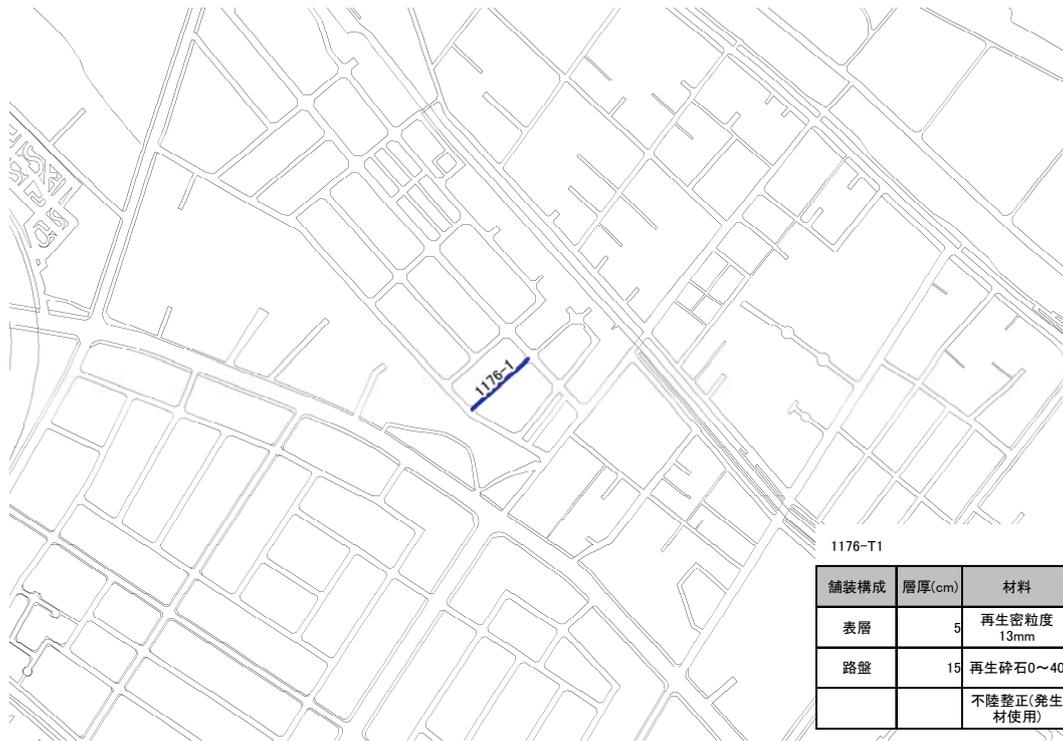
区間名	1172-1	1172-2
延長区間	0-100	100-134
延長(m)	100	34
舗装タイプ	1172-T1	1172-T1
舗装厚(m)	0.20	0.20
路床改良有無	×	×
液状化被害有無	○	○
被害数	13	2
被害程度	クラック	クラック
噴砂発生有無	○	○
被害ランク	中	中
最大水平変位(cm)	6.0	5.0
最大鉛直変位(cm)		
液状化層厚(m)	7.8	6.7
非液状化層厚(m)	1.2	0.8
地下水位(m)	0.8	0.5
PL 値	25.4	26.2
液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	7.8	6.7
非液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	1.2	0.8
液状化層/非液状化層厚 (舗装構成、地下水位を考慮)	6.5	8.4
埋立地	○	○
埋立造成年(西暦)	1906	1906
下水道直上被害有無	○	○
下水道直上被害数	2	2
下水道直上被害の 最大鉛直変位(cm)		



資図 2.2-31 市道 1173 号線

資表 2.2-31 整理表 (市道 1173 号線)

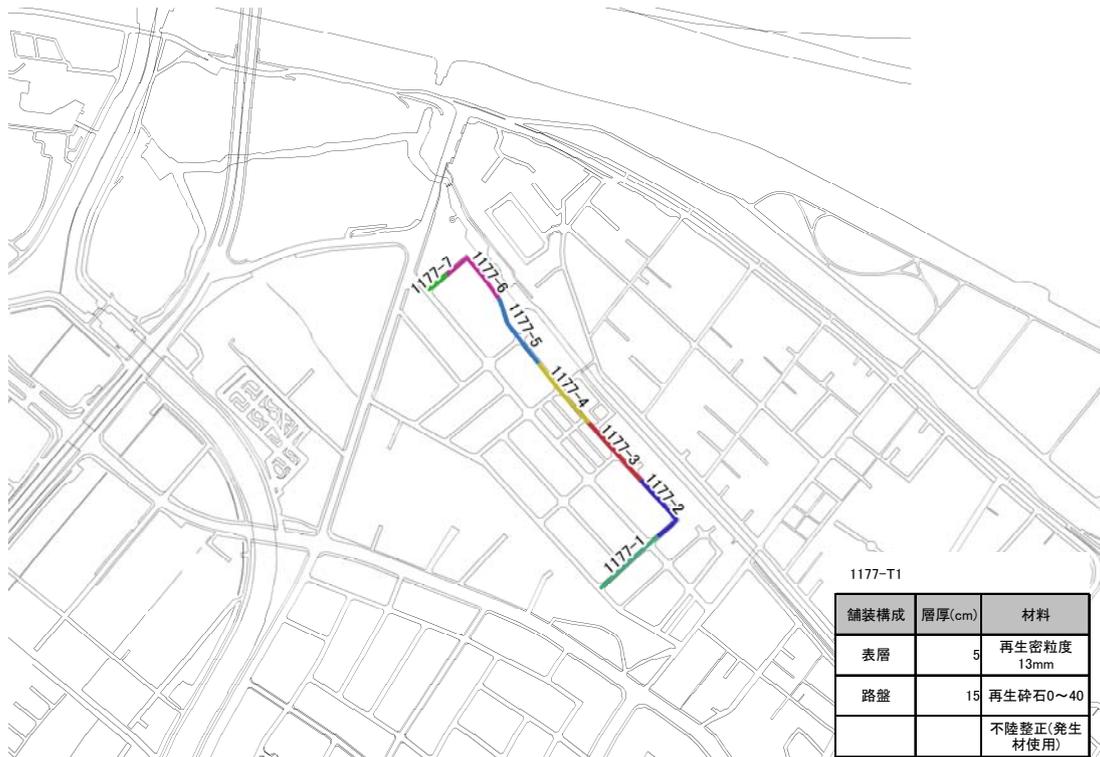
区間名	1173-1	1173-2
延長区間	400-500	500-571
延長(m)	100	71
舗装タイプ	1173-T1	1173-T1
舗装厚(m)	0.20	0.20
路床改良有無	×	×
液状化被害有無	○	○
被害数	6	3
被害程度	クラック、隆起、破損	クラック、隆起
噴砂発生有無	×	×
被害ランク	中	中
最大水平変位(cm)	0.7	1.0
最大鉛直変位(cm)	不明	
液状化層厚(m)	17.8	13.9
非液状化層厚(m)	2.0	2.5
地下水位(m)	0.8	0.8
PL 値	36.9	32.5
液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	17.8	13.9
非液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	2.0	2.5
液状化層/非液状化層厚 (舗装構成、地下水位を考慮)	8.9	5.6
埋立地	○	○
埋立造成年(西暦)	1906	1906
下水道直上被害有無	○	×
下水道直上被害数	1	
下水道直上被害の 最大鉛直変位(cm)		



資図 2.2-32 市道 1176 号線

資表 2.2-32 整理表 (市道 1176 号線)

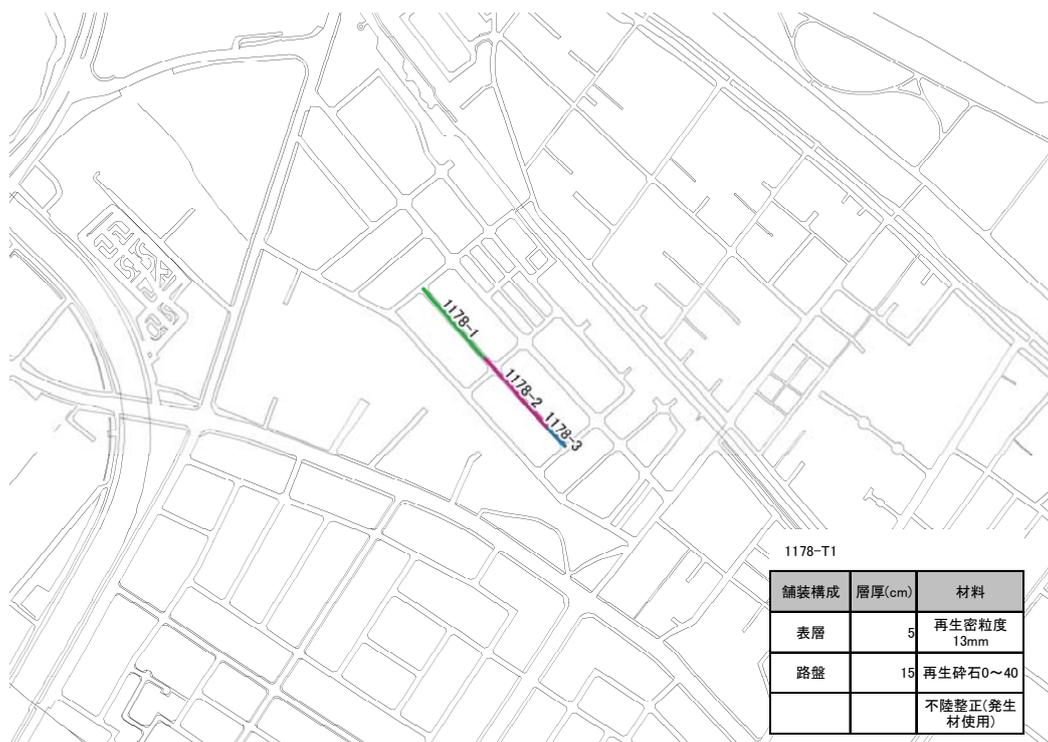
区間名	1176
延長区間	0-77
延長(m)	77
舗装タイプ	1176-T1
舗装厚(m)	0.20
路床改良有無	×
液状化被害有無	○
被害数	6
被害程度	クラック、 破損
噴砂発生有無	○
被害ランク	中
最大水平変位(cm)	3.0
最大鉛直変位(cm)	
液状化層厚(m)	15.9
非液状化層厚(m)	2.9
地下水位(m)	0.7
PL 値	35.0
液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	15.9
非液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	2.9
液状化層/非液状化層厚 (舗装構成、地下水位を考慮)	5.5
埋立地	○
埋立造成年(西暦)	1952
下水道直上被害有無	○
下水道直上被害数	4
下水道直上被害の 最大鉛直変位(cm)	



資図 2.2-33 市道 1177 号線

資表 2.2-33 整理表 (市道 1177 号線)

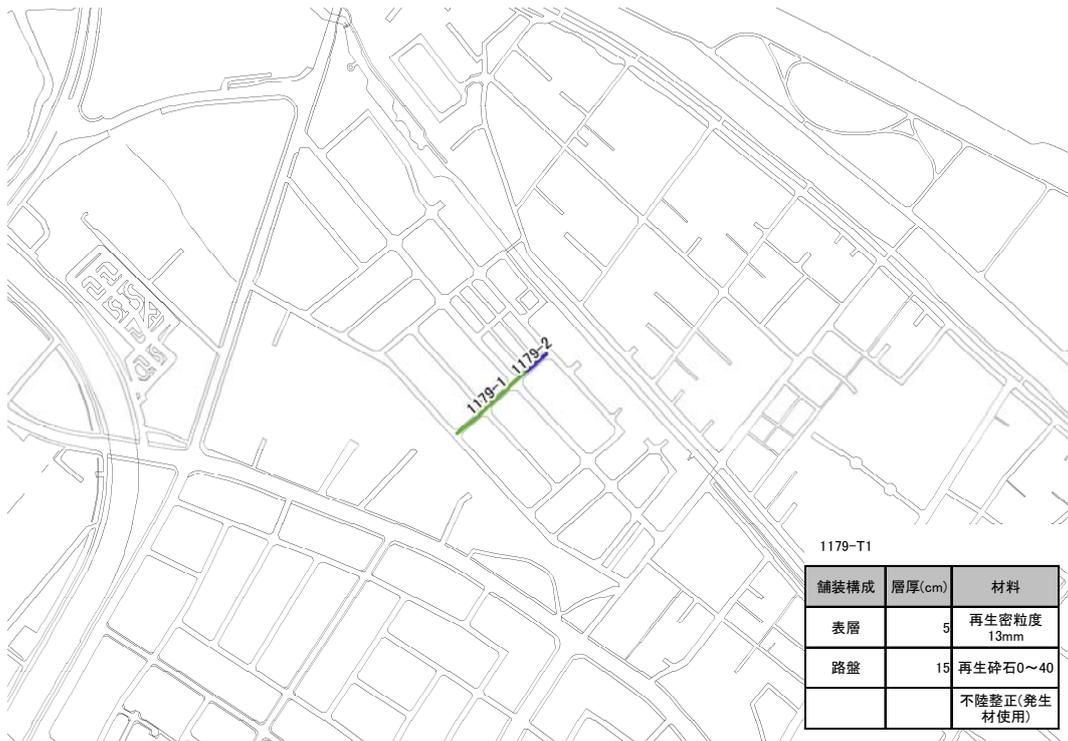
区間名	1177-1	1177-2	1177-3	1177-4	1177-5	1177-6	1177-7
延長区間	0-100	100-200	200-300	300-400	400-500	500-600	600-628
延長(m)	100	100	100	100	100	100	28
舗装タイプ	1177-T1	1177-T1	1177-T1	1177-T1	1177-T1	1177-T1	1177-T1
舗装厚(m)	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
路床改良有無	×	×	×	×	×	×	×
液状化被害有無	○	○	○	○	○	○	○
被害数	10	11	11	15	8	9	4
被害程度	クラック、破損、 隆起、沈下	クラック、破損、 沈下	クラック、破損、 沈下	クラック、破損、 沈下	クラック、破損、 隆起、沈下	クラック、破損	クラック、破損
噴砂発生有無	○	○	○	○	○	○	○
被害ランク	中	中	中	中	中	中	中
最大水平変位(cm)	4.0	3.0	3.0	2.5	5.0	7.0	17.0
最大鉛直変位(cm)	不明	4.0	不明	不明	10.0		
液状化層厚(m)	17.3	16.6	11.2	6.2	5.1	4.8	3.3
非液状化層厚(m)	2.0	2.2	2.4	2.2	1.6	0.8	0.8
地下水位(m)	0.7	1.0	1.6	1.6	1.0	0.4	0.2
PL 値	36.7	33.4	25.0	19.7	21.8	24.7	24.5
液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	17.3	16.6	11.2	6.2	5.1	4.8	3.3
非液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	2.0	2.2	2.4	2.2	1.6	0.8	0.8
液状化層/非液状化層厚 (舗装構成、地下水位を考慮)	8.7	7.5	4.7	2.8	3.2	6.0	4.1
埋立地	○	○	○	○	○	○	○
埋立造成年(西暦)	1952	1906	1906	1969	1906	1906	1906
下水道直上被害有無	○	○	○	○	○	○	×
下水道直上被害数	4	1	2	2	2	1	
下水道直上被害の 最大鉛直変位(cm)	3.5						



資図 2.2-34 市道 1178 号線

資表 2.2-34 整理表 (市道 1178 号線)

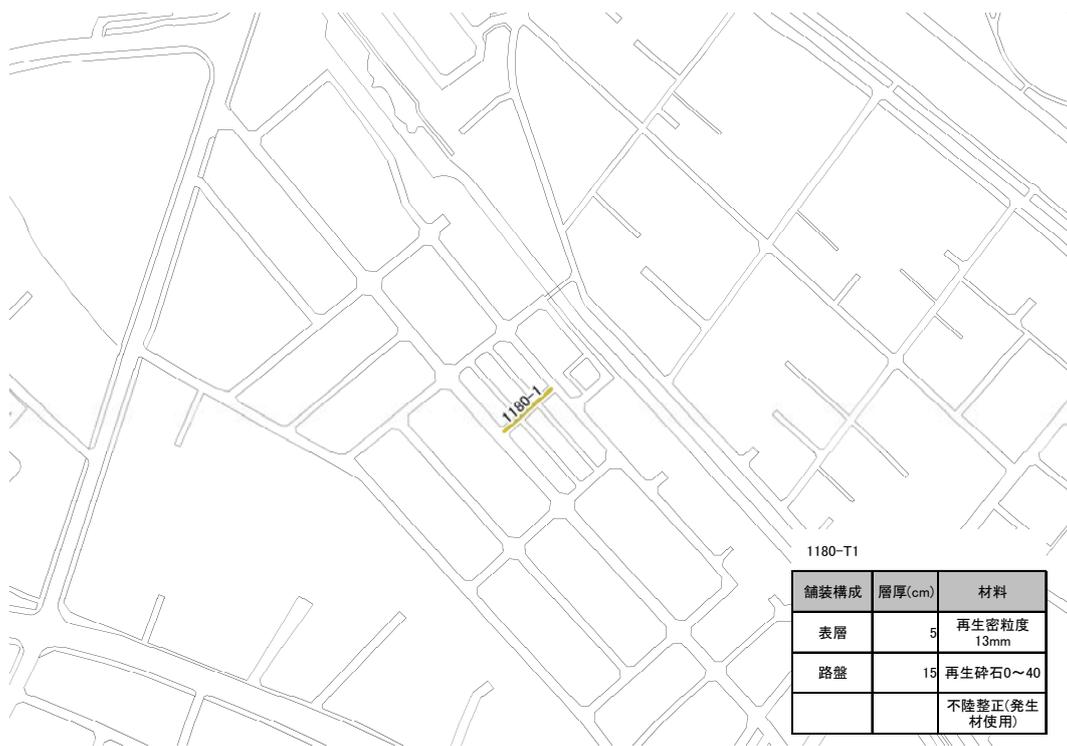
区間名	1178-1	1178-2	1178-3
延長区間	0-100	100-200	200-226
延長(m)	100	100	26
舗装タイプ	1178-T1	1178-T1	1178-T1
舗装厚(m)	0.20	0.20	0.20
路床改良有無	×	×	×
液状化被害有無	○	○	○
被害数	11	8	3
被害程度	クラック、 破損、沈下	クラック、 破損、隆起	クラック、 破損、隆起
噴砂発生有無	○	○	○
被害ランク	中	中	中
最大水平変位(cm)	6.0	4.0	不明
最大鉛直変位(cm)	不明	不明	
液状化層厚(m)	9.2	15.3	17.2
非液状化層厚(m)	1.9	1.9	1.9
地下水位(m)	1.0	1.0	0.7
PL 値	26.6	33.8	36.5
液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	9.2	15.3	17.2
非液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	1.9	1.9	1.9
液状化層/非液状化層厚 (舗装構成、地下水位を考慮)	4.8	8.1	9.1
埋立地	○	○	○
埋立造成年(西暦)	1906	1906	1906
下水道直上被害有無	○	○	×
下水道直上被害数	2	2	
下水道直上被害の 最大鉛直変位(cm)			



資図 2.2-35 市道 1179 号線

資表 2.2-35 整理表 (市道 1179 号線)

区間名	1179-1	1179-2
延長区間	0-100	100-127
延長(m)	100	27
舗装タイプ	1179-T1	1179-T1
舗装厚(m)	0.2	0.2
路床改良有無	×	×
液状化被害有無	○	○
被害数	9	5
被害程度	クラック、 破損、隆起	破損
噴砂発生有無	○	○
被害ランク	中	中
最大水平変位(cm)	10	
最大鉛直変位(cm)		
液状化層厚(m)	13.1	12.2
非液状化層厚(m)	1.9	2.2
地下水位(m)	1.2	1.5
PL 値	30.7	27.2
液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	13.1	12.2
非液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	1.9	2.2
液状化層/非液状化層厚 (舗装構成、地下水位を考慮)	6.89	5.55
埋立地	○	○
埋立造成年(西暦)	1906	1906
下水道直上被害有無	○	×
下水道直上被害数	3	
下水道直上被害の 最大鉛直変位(cm)		



資図 2.2-36 市道 1180 号線

資表 2.2-36 整理表 (市道 1180 号線)

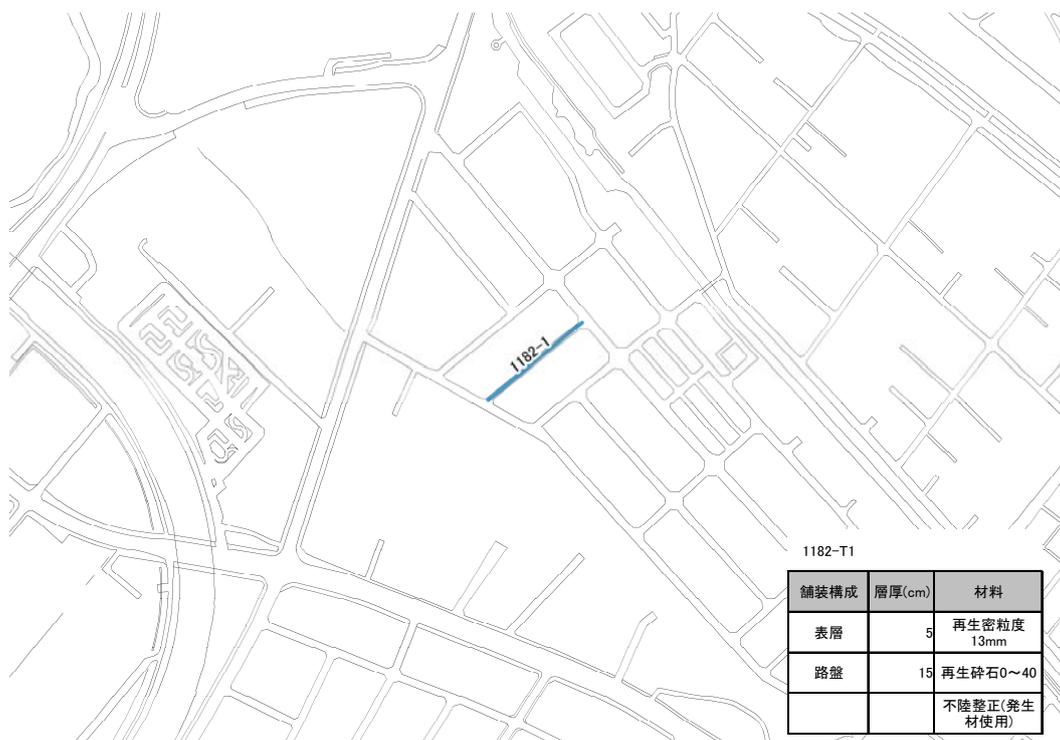
区間名	1180-1
延長区間	0-42
延長(m)	42
舗装タイプ	1180-T1
舗装厚(m)	0.20
路床改良有無	×
液状化被害有無	○
被害数	2
被害程度	クラック
噴砂発生有無	×
被害ランク	中
最大水平変位(cm)	1.0
最大鉛直変位(cm)	不明
液状化層厚(m)	8.3
非液状化層厚(m)	2.2
地下水位(m)	1.5
PL 値	22.6
液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	8.3
非液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	2.2
液状化層/非液状化層厚 (舗装構成、地下水位を考慮)	3.8
埋立地	○
埋立造成年(西暦)	1969
下水道直上被害有無	×
下水道直上被害数	
下水道直上被害の 最大鉛直変位(cm)	



資図 2.2-37 市道 1181 号線

資表 2.2-37 整理表 (市道 1181 号線)

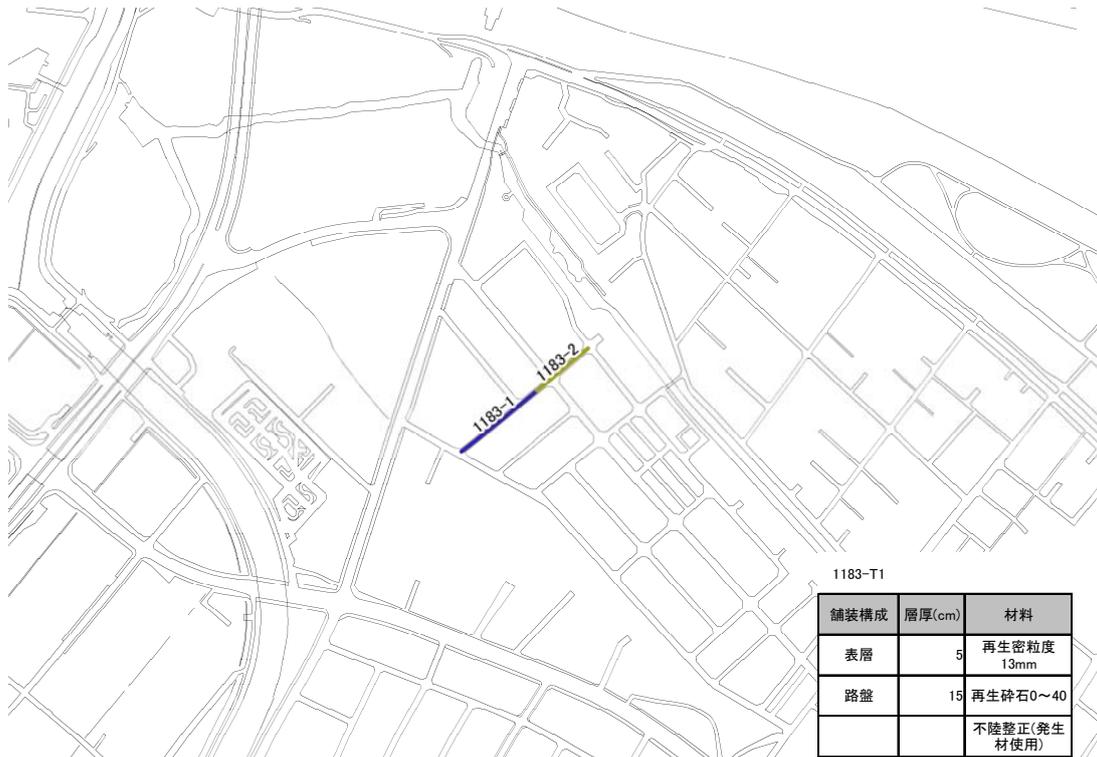
区間名	1181-1	1181-2
延長区間	0-100	100-131
延長(m)	100	31
舗装タイプ	1181-T1	1181-T1
舗装厚(m)	0.20	0.20
路床改良有無	×	×
液状化被害有無	○	○
被害数	7	5
被害程度	クラック、 破損	クラック、 破損
噴砂発生有無	○	○
被害ランク	中	中
最大水平変位(cm)	4.5	
最大鉛直変位(cm)		
液状化層厚(m)	6.8	6.2
非液状化層厚(m)	1.8	2.1
地下水位(m)	0.9	1.4
PL 値	24.2	20.9
液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	6.8	6.2
非液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	1.8	2.1
液状化層/非液状化層厚 (舗装構成、地下水位を考慮)	3.8	3.0
埋立地	○	○
埋立造成年(西暦)	1969	1969
下水道直上被害有無	×	×
下水道直上被害数		
下水道直上被害の 最大鉛直変位(cm)		



資図 2.2-38 市道 1182 号線

資表 2.2-38 整理表 (市道 1182 号線)

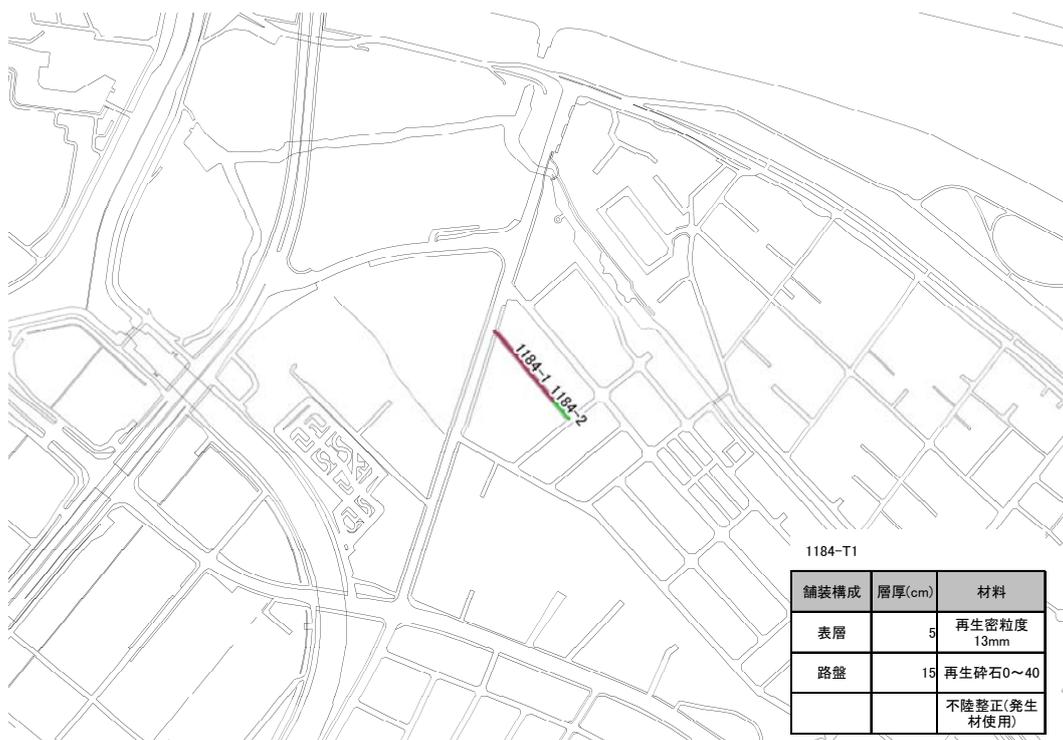
区間名	1182-1
延長区間	0-98
延長(m)	98
舗装タイプ	1182-T1
舗装厚(m)	0.20
路床改良有無	×
液状化被害有無	○
被害数	9
被害程度	クラック、破損、 隆起、沈下
噴砂発生有無	○
被害ランク	中
最大水平変位(cm)	2.2
最大鉛直変位(cm)	9.0
液状化層厚(m)	5.3
非液状化層厚(m)	1.7
地下水位(m)	0.7
PL 値	23.7
液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	5.3
非液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	1.7
液状化層/非液状化層厚 (舗装構成、地下水位を考慮)	3.1
埋立地	○
埋立造成年(西暦)	1906
下水道直上被害有無	○
下水道直上被害数	1
下水道直上被害の 最大鉛直変位(cm)	



資図 2.2-39 市道 1183 号線

資表 2.2-39 整理表 (市道 1183 号線)

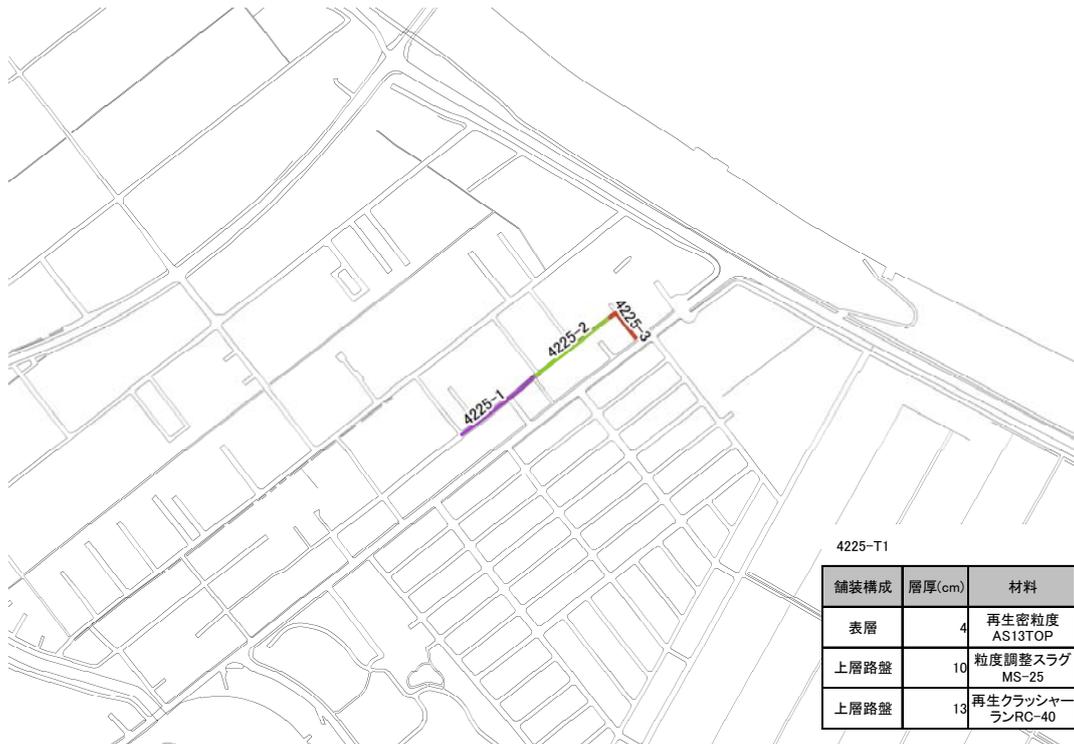
区間名	1183-1	1183-2
延長区間	0-100	100-168
延長(m)	100	68
舗装タイプ	1183-T1	1183-T1
舗装厚(m)	0.20	0.20
路床改良有無	×	×
液状化被害有無	○	○
被害数	5	18
被害程度	破損、沈下	クラック、破損、沈下
噴砂発生有無	○	○
被害ランク	中	中
最大水平変位(cm)		10.0
最大鉛直変位(cm)		6.0
液状化層厚(m)	3.9	4.7
非液状化層厚(m)	1.4	1.6
地下水位(m)	0.5	0.9
PL 値	23.4	22.1
液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	3.9	4.7
非液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	1.4	1.6
液状化層/非液状化層厚 (舗装構成、地下水位を考慮)	2.8	2.9
埋立地	○	○
埋立造成年(西暦)	1906	1906
下水道直上被害有無	○	○
下水道直上被害数	2	4
下水道直上被害の 最大鉛直変位(cm)		



資図 2.2-40 市道 1184 号線

資表 2.2-40 整理表 (市道 1184 号線)

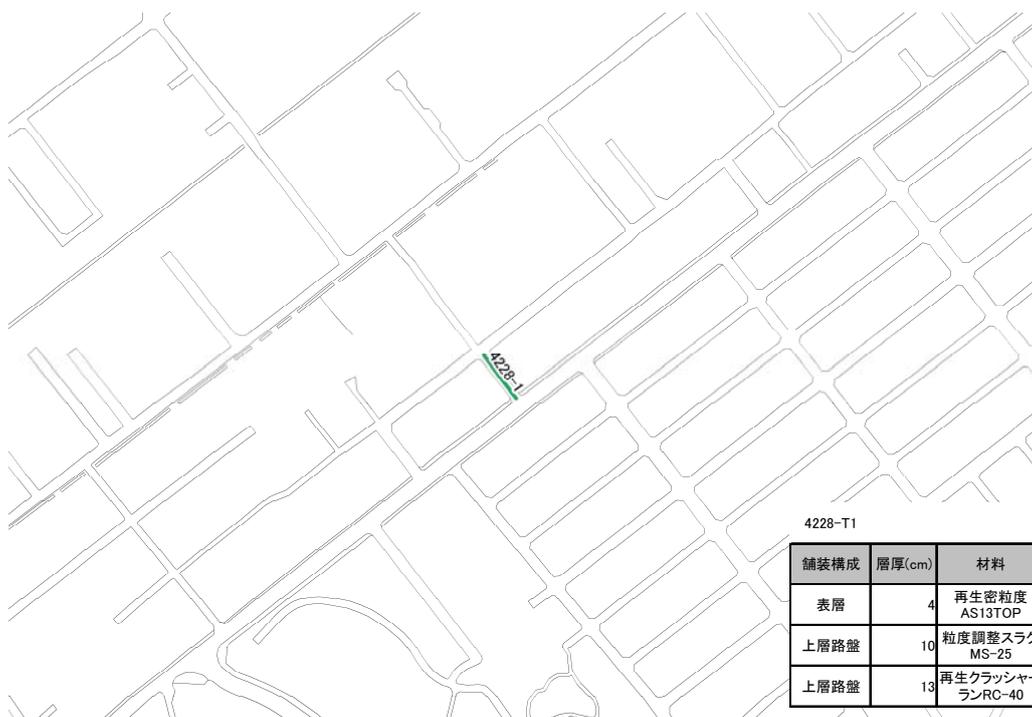
区間名	1184-1	1184-2
延長区間	0-100	100-122
延長(m)	100	22
舗装タイプ	1184-T1	1184-T1
舗装厚(m)	0.20	0.20
路床改良有無	×	×
液状化被害有無	○	○
被害数	5	5
被害程度	クラック、 破損	クラック、 破損
噴砂発生有無	○	○
被害ランク	中	中
最大水平変位(cm)	3.5	1.5
最大鉛直変位(cm)		
液状化層厚(m)	2.7	3.9
非液状化層厚(m)	1.1	1.4
地下水位(m)	0.3	0.5
PL 値	23.2	22.9
液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	2.7	3.9
非液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	1.1	1.4
液状化層/非液状化層厚 (舗装構成、地下水位を考慮)	2.5	2.8
埋立地	○	○
埋立造成年(西暦)	1906	1906
下水道直上被害有無	×	×
下水道直上被害数		
下水道直上被害の 最大鉛直変位(cm)		



資図 2.2-41 市道 4225 号線

資表 2.2-41 整理表 (市道 4225 号線)

区間名	4225-1	4225-2	4225-3
延長区間	0-100	100-200	200-241
延長(m)	100	100	41
舗装タイプ	4225-T1	4225-T1	4225-T1
舗装厚(m)	0.27	0.27	0.27
路床改良有無	×	×	×
液状化被害有無	○	○	○
被害数	5	2	5
被害程度	クラック	クラック、 崩壊	クラック
噴砂発生有無			
被害ランク	中	中	中
最大水平変位(cm)	2.0	2.0	2.0
最大鉛直変位(cm)	不明		
液状化層厚(m)	8.4	4.9	3.4
非液状化層厚(m)	1.8	0.0	0.0
地下水位(m)	0.9	0.7	0.7
PL 値	13.0	9.4	8.0
液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	8.4	4.2	2.7
非液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	1.8	0.7	0.7
液状化層/非液状化層厚 (舗装構成、地下水位を考慮)	4.7	6.0	3.9
埋立地	○	○	○
埋立造成年(西暦)	1952	1952	1952
下水道直上被害有無	資料無し	資料無し	資料無し
下水道直上被害数			
下水道直上被害の 最大鉛直変位(cm)			



4228-T1

舗装構成	層厚(cm)	材料
表層	4	再生密粒度 AS13TOP
上層路盤	10	粒度調整スラグ MS-25
上層路盤	13	再生クラッシュヤ ランRC-40

資図 2.2-42 市道 4228 号線

資表 2.2-42 整理表 (市道 4228 号線)

区間名	4228-1
延長区間	0-29
延長(m)	29
舗装タイプ	4228-T1
舗装厚(m)	0.27
路床改良有無	×
液状化被害有無	○
被害数	1
被害程度	沈下
噴砂発生有無	
被害ランク	中
最大水平変位(cm)	
最大鉛直変位(cm)	不明
液状化層厚(m)	13.4
非液状化層厚(m)	2.0
地下水位(m)	1.3
PL 値	20.2
液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	13.4
非液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	2.0
液状化層/非液状化層厚 (舗装構成、地下水位を考慮)	6.7
埋立地	○
埋立造成年(西暦)	1952
下水道直上被害有無	資料無し
下水道直上被害数	
下水道直上被害の 最大鉛直変位(cm)	



資図 2.2-43 市道 4230 号線

資表 2.2-43 整理表 (市道 4230 号線)

区間名	4230-1	4230-2	4230-3
延長区間	0-100	100-200	200-207
延長(m)	100	100	7
舗装タイプ	4230-T1	4230-T1	4230-T1
舗装厚(m)	0.27	0.27	0.27
路床改良有無	×	×	×
液状化被害有無	○	○	○
被害数	4	7	1
被害程度	クラック	クラック、うねり	うねり
噴砂発生有無			
被害ランク	中	中	中
最大水平変位(cm)	30.0	2.0	
最大鉛直変位(cm)			
液状化層厚(m)	13.7	12.3	10.4
非液状化層厚(m)	2.0	2.3	2.4
地下水位(m)	1.4	1.2	1.0
PL 値	21.0	18.1	15.5
液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	13.7	12.3	10.4
非液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	2.0	2.3	2.4
液状化層/非液状化層厚 (舗装構成、地下水位を考慮)	6.9	5.3	4.3
埋立地	○	○	○
埋立造成年(西暦)	1952	1952	1952
下水道直上被害有無	資料無し	資料無し	資料無し
下水道直上被害数			
下水道直上被害の 最大鉛直変位(cm)			

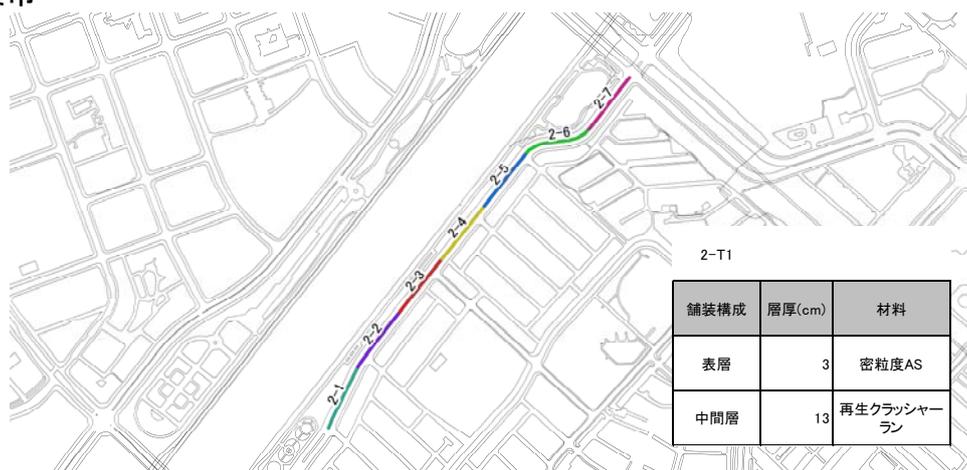


資図 2.2-44 市道 I-46 号線

資表 2.2-44 整理表 (市道 I-46 号線)

区間名	I-46-1	I-46-2	I-46-3	I-46-4	I-46-5
延長区間	0-100	100-200	200-300	300-400	400-500
延長(m)	100	100	100	100	100
舗装タイプ	I-46-T1	I-46-T1	I-46-T1	I-46-T1	I-46-T1
舗装厚(m)	0.27	0.27	0.27	0.27	0.27
路床改良有無	×	×	×	×	×
液化化被害有無	○	○	○	○	○
被害数	4	4	4	8	8
被害程度	クラック	クラック	クラック	クラック	クラック
噴砂発生有無					
被害ランク	中	中	中	中	中
最大水平変位(cm)	4.0	8.0	10.0	4.0	5.0
最大鉛直変位(cm)	不明		不明	不明	
液化化層厚(m)	13.7	12.0	8.3	4.8	2.3
非液化化層厚(m)	2.1	2.6	2.1	0.1	0.0
地下水位(m)	1.4	1.2	0.9	0.8	0.8
PL 値	21.0	18.0	13.3	9.7	7.5
液化化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	13.7	12.0	8.3	4.1	1.5
非液化化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	2.1	2.6	2.1	0.8	0.8
液化化層/非液化化層厚 (舗装構成、地下水位を考慮)	6.5	4.6	4.0	5.1	1.9
埋立地	○	○	○	○	○
埋立造成年(西暦)	1952	1952	1952	1952	1952
下水道直上被害有無	資料無し	資料無し	資料無し	資料無し	資料無し
下水道直上被害数					
下水道直上被害の 最大鉛直変位(cm)					

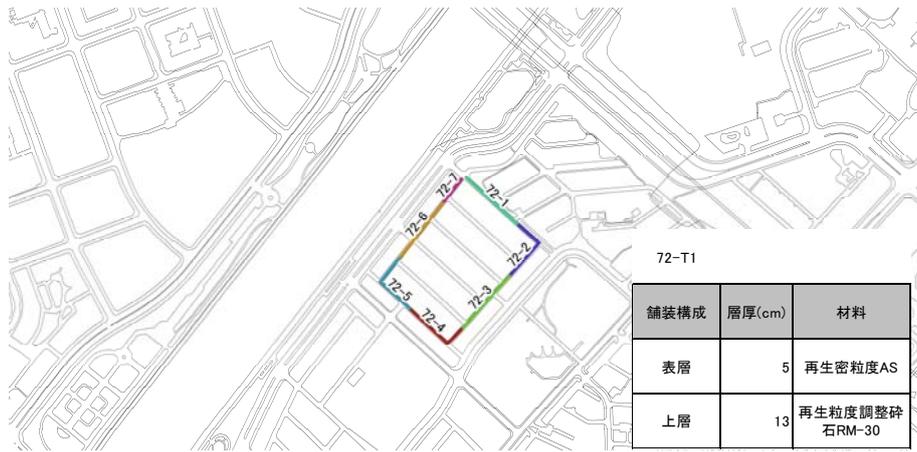
### 3. 千葉市



資図 2.3-1 真砂2号線

資表 2.3-1 整理表 (真砂2号線)

区間名	2-1	2-2	2-3	2-4	2-5	2-6	2-7
延長区間	0-100	100-200	200-300	300-400	400-500	500-600	600-695
延長(m)	100	100	100	100	100	100	95
舗装タイプ	2-T1	2-T1	2-T1	2-T1	2-T1	2-T1	2-T1
舗装厚	0.16	0.16	0.16	0.16	0.16	0.16	0.16
路床改良有無	×	×	×	×	×	×	×
液状化被害有無						○	○
被害数						6	1
被害程度						段差、舗装開き	舗装開き
噴砂発生有無	○	○	○	○	○	○	○
被害ランク						中	中
最大水平変位(cm)						2	
最大鉛直変位(cm)						37	不明
液状化層厚(m)	9.33	4.30	1.37	6.68	14.00	18.00	16.00
非液状化層厚(m)	2.90	2.83	2.90	2.78	2.57	2.89	2.41
地下水位(m)	2.75	2.86	3.15	3.04	2.76	2.43	2.92
PL値	30.10	28.90	26.80	28.20	30.10	29.30	25.30
液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	9.33	4.27	1.12	6.42	13.81	18.00	15.49
非液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	2.9	2.86	3.15	3.04	2.76	2.89	2.92
液状化層/非液状化層厚 (舗装構成、地下水位を考慮)	3.22	1.49	0.36	2.11	5.00	6.23	5.30
埋立地	○	○	○	○	○	○	○
埋立造成年(西暦)	1975	1975	1975	1975	1975	1975	1975
下水道直上被害有無							
下水道直上被害数							
下水道直上被害の 最大鉛直変位(cm)							



資図 2.3-2 磯辺 72 号線

資表 2.3-2 整理表（磯辺 72 号線）

区間名	72-1	72-2	72-3	72-4	72-5	72-6	72-7
延長区間	0-100	100-200	200-300	300-400	400-500	500-600	600-632
延長(m)	100	100	100	100	100	100	32
舗装タイプ	72-T1						
舗装厚	0.18	0.18	0.18	0.18	0.18	0.18	0.18
路床改良有無	×	×	×	×	×	×	×
液状化被害有無	○		○				
被害数	2		1				
被害程度	舗装浮き上がり		クラック				
噴砂発生有無	○	○	○	○	○	○	○
被害ランク	中		中				
最大水平変位(cm)			不明				
最大鉛直変位(cm)	2						
液状化層厚(m)	16.30	15.60	13.50	10.00	5.20	11.00	15.70
非液状化層厚(m)	2.17	1.96	1.75	1.73	2.37	2.43	2.38
地下水位(m)	2.25	1.97	1.83	1.77	2.14	2.63	2.50
PL値	32.00	34.00	37.00	38.00	30.80	31.00	31.20
液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	16.22	15.59	13.42	9.96	5.20	10.80	15.58
非液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	2.25	1.97	1.83	1.77	2.37	2.63	2.5
液状化層/非液状化層厚 (舗装構成、地下水位を考慮)	7.2	7.9	7.3	5.6	2.2	4.1	6.2
埋立地	○	○	○	○	○	○	○
埋立造成年(西暦)	1975	1975	1975	1975	1975	1975	1975
下水道直上被害有無							
下水道直上被害数							
下水道直上被害の 最大鉛直変位(cm)							

#### 4. 神栖市



8-1747-T1

舗装構成	層厚(cm)	材料
表層	5	再生密粒度アスコン
上層路盤	10	鈇滓MS-25
下層路盤	30	鈇滓CS-40

資図 2.4-1 市道 8-1747 号線

資表 2.4-1 整理表(市道 8-1747 号線)

区間名	8-1747-1	8-1747-2	8-1747-3	8-1747-4	8-1747-5	8-1747-6	8-1747-7	8-1747-8	8-1747-9	8-1747-10	8-1747-11
延長区間	0-100	100-200	200-300	300-400	400-500	500-600	600-700	700-800	800-900	900-1000	1000-1095
延長(m)	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	95
舗装タイプ	8-1747-T1	8-1747-T1	8-1747-T1	8-1747-T1	8-1747-T1	8-1747-T1	8-1747-T1	8-1747-T1	8-1747-T1	8-1747-T1	8-1747-T1
舗装厚(m)	0.45	0.45	0.45	0.45	0.45	0.45	0.45	0.45	0.45	0.45	0.45
路床改良有無	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
液状化被害有無(車道部)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
被害数	2	2	5	5	5	4	2	3	3	5	5
被害程度	隆起、波打起伏	亀裂、段差	段差、波打沈下、亀裂	亀裂、沈下、段差	亀裂、段差	沈下、隆起、波打沈下	亀裂、隆起	隆起、波打沈下	隆起、亀裂、段差	隆起、段差、亀裂	亀裂、傾斜
噴砂発生有無											
被害ランク	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中
最大水平変位(cm)		1		1	1				3		30
最大鉛直変位(cm)		10	10	8	25	20	10	20	20	48	
液状化層厚(m)	9.00	9.20	9.50	9.70	9.80	9.90	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00
非液状化層厚(m)	0.50	0.60	0.60	0.70	0.90	1.00	1.30	1.60	1.80	2.10	2.50
地下水位(m)	1.10	1.10	1.10	1.20	1.30	1.30	1.40	1.50	1.60	1.70	1.70
PL 値	32.60	32.80	32.70	32.50	32.20	31.80	31.30	30.90	30.50	30.10	29.60
液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	8.40	8.70	9.00	9.20	9.40	9.60	9.90	10.00	10.00	10.00	10.00
非液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	1.1	1.1	1.1	1.2	1.3	1.3	1.4	1.6	1.8	2.1	2.5
液状化層/非液状化層厚 (舗装構成、地下水位を考慮)	7.64	7.91	8.18	7.67	7.23	7.38	7.07	6.25	5.56	4.76	4.00
埋立地											
埋立造成年(西暦)											
下水道直上被害有無											
下水道直上被害数											
下水道直上被害の 最大鉛直変位(cm)											
道路周辺状況											



8-1748-T1

舗装構成	層厚(cm)	材料
表層	5	再生密粒度アスコン
上層路盤	10	鈹滓MS-25
下層路盤	30	鈹滓CS-40

資図 2.4-2 市道 8-1748 号線

資表 2.4-2 整理表(市道 8-1748 号線)

区間名	8-1748-1	8-1748-2	8-1748-3
延長区間	0-100	100-200	200-217
延長(m)	100	100	17
舗装タイプ	8-1748-T1	8-1748-T1	8-1748-T1
舗装厚(m)	0.45	0.45	0.45
路床改良有無	×	×	×
液状化被害有無(車道部)	○	○	○
被害数	1	2	1
被害程度	波打、亀裂	波打、亀裂	段差
噴砂発生有無			
被害ランク	中	中	中
最大水平変位(cm)		5	
最大鉛直変位(cm)			56
液状化層厚(m)	9.60	9.80	9.90
非液状化層厚(m)	1.40	1.40	1.40
地下水位(m)	1.70	1.60	1.50
PL 値	30.80	31.00	31.00
液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	9.30	9.60	9.80
非液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	1.7	1.6	1.5
液状化層/非液状化層厚 (舗装構成、地下水位を考慮)	5.47	6.00	6.53
埋立地			
埋立造成年(西暦)			
下水道直上被害有無			
下水道直上被害数			
下水道直上被害の 最大鉛直変位(cm)			
道路周辺状況			



8-1749-T1

舗装構成	層厚(cm)	材料
表層	5	再生密粒度アスコン
上層路盤	10	鈹滓MS-25
下層路盤	30	鈹滓CS-40

資図 2.4-3 市道 8-1749 号線

資表 2.4-3 整理表(市道 8-1749 号線)

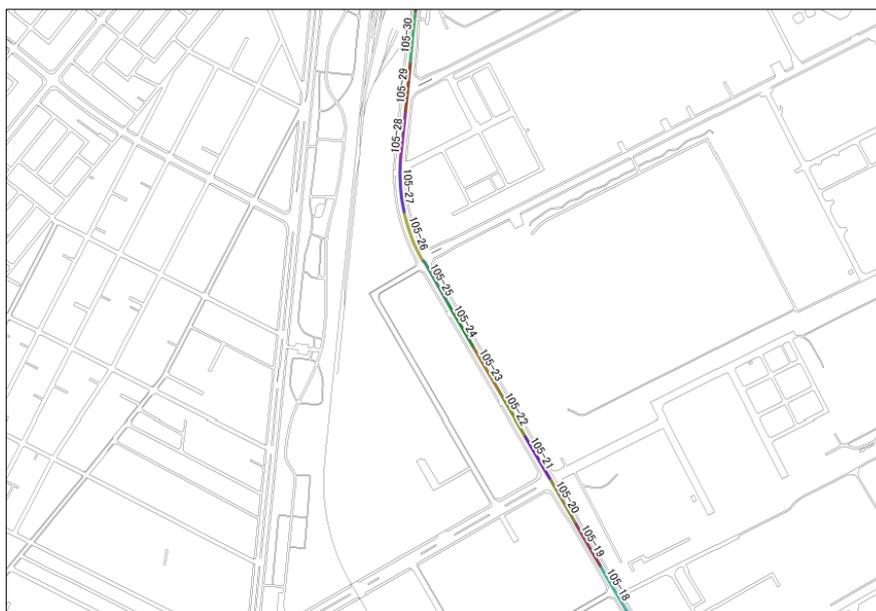
区間名	8-1749-1	8-1749-2	8-1749-3	8-1749-4	8-1749-5	8-1749-6	8-1749-7	8-1749-8
延長区間	0-100	100-200	200-300	300-400	400-500	500-600	600-700	700-795
延長(m)	100	100	100	100	100	100	100	95
舗装タイプ	8-1749-T1							
舗装厚(m)	0.45	0.45	0.45	0.45	0.45	0.45	0.45	0.45
路床改良有無	×	×	×	×	×	×	×	×
液化化被害有無(車道部)	○	○	○	○	×	○	×	○
被害数	3	2	3	1	0	2	0	1
被害程度	亀裂、波打起伏	亀裂、波打沈下	亀裂、波打沈下	波打沈下、亀裂		亀裂、波打沈下		亀裂
噴砂発生有無								
被害ランク	中	中	中	中		中		中
最大水平変位(cm)	31	6						
最大鉛直変位(cm)								
液化化層厚(m)	10.10	10.30	10.50	10.60	10.60	10.40	10.30	10.10
非液化化層厚(m)	1.60	1.70	1.70	1.60	1.50	1.30	1.20	1.10
地下水位(m)	1.40	1.30	1.10	1.00	0.90	0.90	1.00	1.20
PL 値	30.90	31.00	31.20	31.40	31.60	31.70	31.80	31.80
液化化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	10.10	10.30	10.50	10.60	10.60	10.40	10.30	10.00
非液化化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	1.6	1.7	1.7	1.6	1.5	1.3	1.2	1.2
液化化層/非液化化層厚 (舗装構成、地下水位を考慮)	6.31	6.06	6.18	6.63	7.07	8.00	8.58	8.33
埋立地								
埋立造成年(西暦)								
下水道直上被害有無								
下水道直上被害数								
下水道直上被害の 最大鉛直変位(cm)								
道路周辺状況								



資図 2.4-4 市道 8-105 号線 (その 1)

資表 2.4-4 市道 8-105 号線 (その 1)

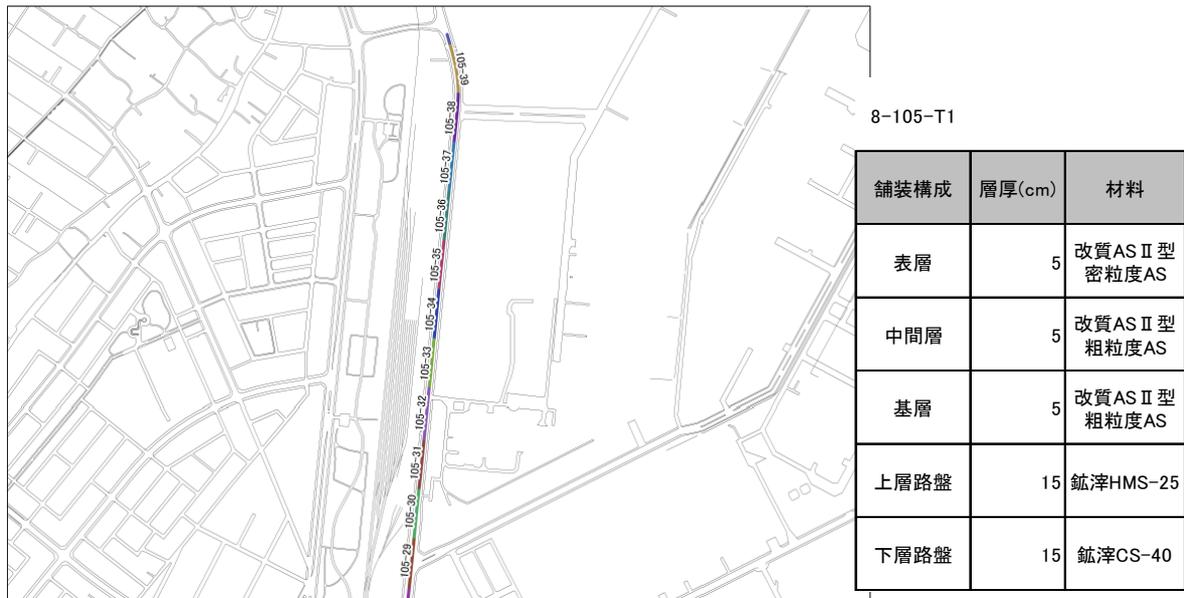
区間名	8-105-1	8-105-2	8-105-3	8-105-4	8-105-5	8-105-6	8-105-7	8-105-8	8-105-9	8-105-10
延長区間	0-100	100-200	200-300	300-400	400-500	500-600	600-700	700-800	800-900	900-1000
延長(m)	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
舗装タイプ	8-105-T1									
舗装厚(m)	0.45	0.45	0.45	0.45	0.45	0.45	0.45	0.45	0.45	0.45
路床改良有無	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
液化化被害有無(車道部)	○	○	○	○	×	○	×	○	○	×
被害数	2	2	1	3	0	2	0	3	1	0
被害程度	亀裂、凹み	凹み、亀裂	沈下、波打	亀裂、沈下		亀裂		亀裂、段差	沈下、波打	
噴砂発生有無										
被害ランク	中	中	中	中		中		中	中	
最大水平変位(cm)	15	3		13		4		1.5		
最大鉛直変位(cm)	18	18		13				3		
液化化層厚(m)	11.20	11.00	10.80	10.60	10.40	10.20	10.00	9.80	9.60	9.40
非液化化層厚(m)	3.90	3.70	3.40	3.20	3.00	2.70	2.50	2.30	2.00	1.80
地下水位(m)	0.00	0.00	0.00	0.10	0.20	0.20	0.30	0.40	0.40	0.50
PL 値	30.10	30.10	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00	30.10	30.20	30.30
液化化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考)	11.20	11.00	10.80	10.60	10.40	10.20	10.00	9.80	9.60	9.40
非液化化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考)	3.9	3.7	3.4	3.2	3	2.7	2.5	2.3	2	1.8
液化化層/非液化化層厚 (舗装構成、地下水位を考)	2.87	2.97	3.18	3.31	3.47	3.78	4.00	4.26	4.80	5.22
埋立地										
埋立造成年(西暦)										
下水道直上被害有無										
下水道直上被害数										
下水道直上被害の 最大鉛直変位(cm)										
道路周辺状況										



資図 2.4-5 市道 8-105 号線 (その 2)

資表 2.4-5 市道 8-105 号線 (その 2)

区間名	8-105-11	8-105-12	8-105-13	8-105-14	8-105-15	8-105-16	8-105-17	8-105-18	8-105-19	8-105-20
延長区間	1000-1100	1100-1200	1200-1300	1300-1400	1400-1500	1500-1600	1600-1700	1700-1800	1800-1900	1900-2000
延長(m)	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
舗装タイプ	8-105-T1	8-105-T1	8-105-T1	8-105-T1	8-105-T1	8-105-T1	8-105-T1	8-105-T1	8-105-T1	8-105-T1
舗装厚(m)	0.45	0.45	0.45	0.45	0.45	0.45	0.45	0.45	0.45	0.45
路床改良有無	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
液状化被害有無(車道部)	○	○	○	○	○	○	別資料の工区であるため未整理	別資料の工区であるため未整理	別資料の工区であるため未整理	別資料の工区であるため未整理
被害数	1	1	1	4	2	1	0	0	0	0
被害程度	凹み	波打	隆起	波打、凹み	隆起、凹み、亀裂、段差	亀裂				
噴砂発生有無										
被害ランク	中	中	中	中	中	中				
最大水平変位(cm)						3				
最大鉛直変位(cm)	6		37	6	12					
液状化層厚(m)	9.30	9.20	9.10	9.00	8.80	8.60	8.30	8.10	7.90	7.70
非液状化層厚(m)	1.60	1.30	1.10	0.80	0.60	0.40	0.20	0.00	0.00	0.00
地下水位(m)	0.60	0.70	0.80	0.90	1.00	1.30	1.50	1.70	1.90	2.20
PL 値	30.60	31.00	31.50	32.00	32.40	32.90	33.30	33.60	34.00	34.40
液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	9.30	9.20	9.10	8.90	8.40	7.70	7.00	6.40	6.00	5.50
非液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	1.6	1.3	1.1	0.9	1	1.3	1.5	1.7	1.9	2.2
液状化層/非液状化層厚 (舗装構成、地下水位を考慮)	5.81	7.08	8.27	9.89	8.40	5.92	4.67	3.76	3.16	2.50
埋立地										
埋立造成年(西暦)										
下水道直上被害有無										
下水道直上被害数										
下水道直上被害の最大鉛直変位(cm)										
道路周辺状況										



資図 2.4-6 市道 8-105 号線 (その 3)

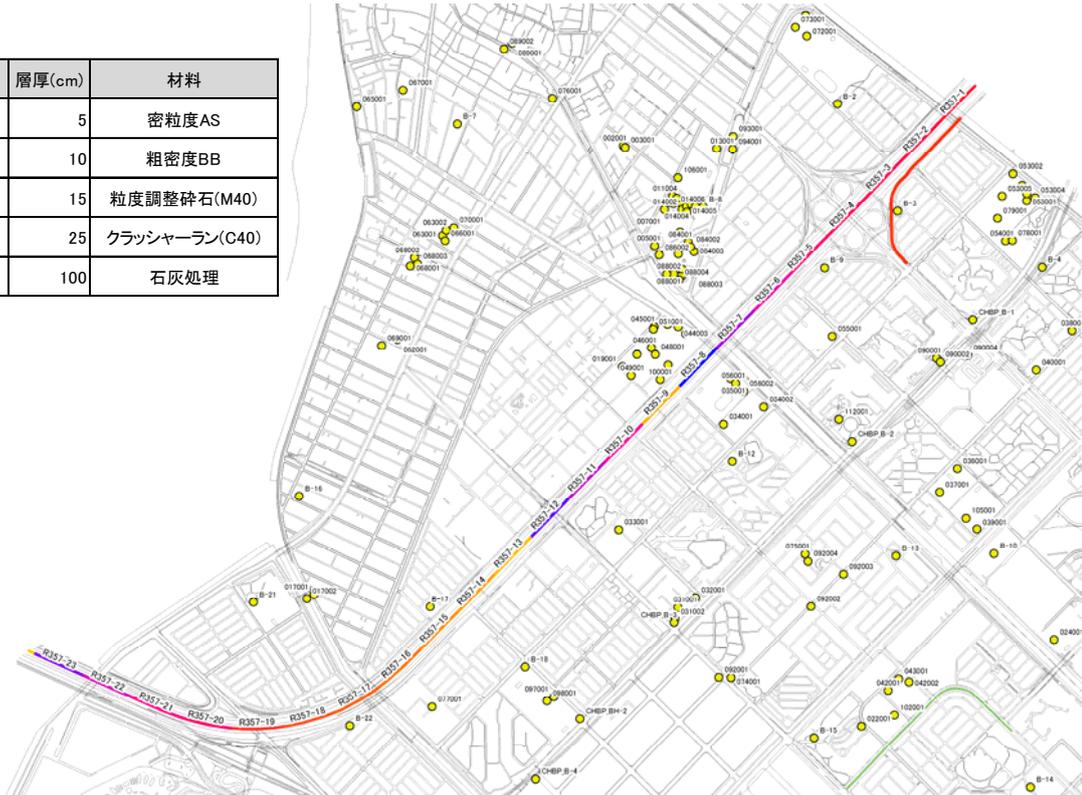
資表 2.4-6 市道 8-105 号線 (その 3)

区間名	8-105-21	8-105-22	8-105-23	8-105-24	8-105-25	8-105-26	8-105-27	8-105-28	8-105-29	8-105-30
延長区間	2000-2100	2100-2200	2200-2300	2300-2400	2400-2500	2500-2600	2600-2700	2700-2800	2800-2900	2900-3000
延長(m)	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
舗装タイプ	8-105-T1	8-105-T1	8-105-T1	8-105-T1	8-105-T1	8-105-T1	8-105-T1	8-105-T1	8-105-T1	8-105-T1
舗装厚(m)	0.45	0.45	0.45	0.45	0.45	0.45	0.45	0.45	0.45	0.45
路床改良有無	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
液状化被害有無(車道部)	別資料の工区であるため未整理	別資料の工区であるため未整理	別資料の工区であるため未整理	○	○	○	○	○	○	○
被害数	0	0	0	5	4	2	5	1	1	7
被害程度				亀裂、凹み	亀裂、凹み、段差	亀裂	段差、亀裂	亀裂	亀裂	亀裂
噴砂発生有無										
被害ランク				中	中	中	中	中	中	中
最大水平変位(cm)				1	10	2	2	1.5	1	2
最大鉛直変位(cm)					15		7			
液状化層厚(m)	7.60	7.50	7.40	7.40	7.50	7.70	8.00	8.30	8.50	8.40
非液状化層厚(m)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.10	0.60	1.10
地下水位(m)	2.40	2.60	2.80	2.90	3.10	3.20	3.30	3.30	3.30	3.30
PL 値	34.70	34.90	35.00	35.10	35.10	34.90	34.20	33.10	31.60	29.80
液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	5.20	4.90	4.60	4.50	4.40	4.50	4.70	5.10	5.80	6.20
非液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	2.4	2.6	2.8	2.9	3.1	3.2	3.3	3.3	3.3	3.3
液状化層/非液状化層厚 (舗装構成、地下水位を考慮)	2.17	1.88	1.64	1.55	1.42	1.41	1.42	1.55	1.76	1.88
埋立地										
埋立造成年(西暦)										
下水道直上被害有無										
下水道直上被害数										
下水道直上被害の最大鉛直変位(cm)										
道路周辺状況										

## 5. 浦安市

R357-type1

舗装構成	層厚(cm)	材料
表層	5	密粒度AS
基礎	10	粗粒度BB
上層路盤	15	粒度調整碎石(M40)
下層路盤	25	クラッシャーラン(C40)
路床	100	石灰処理



資図 2.5-1 国道 357 号線

資表 2.5-1 整理表 (国道 357 号線) (その 1)

区間名	R357-1	R357-2	R357-3	R357-4	R357-5	R357-6	R357-7	R357-8	R357-9	R357-10	R357-11	R357-12
延長区間	0-200	200-400	400-600	600-800	800-1000	1000-1200	1200-1400	1400-1600	1600-1800	1800-2000	2000-2200	2200-2400
延長(m)	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200
舗装タイプ	R357-type1											
舗装厚(m)	1.55	1.55	1.55	1.55	1.55	1.55	1.55	1.55	1.55	1.55	1.55	1.55
路床改良有無	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
液状化被害有無	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
被害数												
被害程度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
噴砂発生有無	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
被害ランク	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
最大水平変位(cm)												
最大鉛直変位(cm)												
液状化層厚(m) (FL値)	2.3	4.1	3.9	4.0	2.5	1.8	1.2	0.0	0.0	1.2	2.4	1.4
非液状化層厚(m) (FL値)	8.0	6.1	4.7	4.8	4.8	4.4	4.0	3.8	4.3	5.6	7.2	8.7
地下水位(m)	3.5	2.4	1.8	1.4	1.5	2.4	2.9	2.0	0.6	1.5	2.3	2.8
PL値	0.00	0.00	7.40	9.70	7.50	6.40	0.60	0.30	10.30	12.40	12.10	7.50
液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	2.33	4.05	3.85	4.00	2.45	1.78	1.23	0.00	0.00	1.23	2.37	1.36
非液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	8	6.14	4.7	4.81	4.75	4.44	4	3.76	4.34	5.55	7.16	8.66
液状化層/非液状化層厚 (舗装構成、地下水位を考慮)	0.3	0.7	0.8	0.8	0.5	0.4	0.3	0.0	0.0	0.2	0.3	0.2
埋立地	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
埋立造成年(西暦)	1970	1970	1970	1970	1970	1970	1970	1967	1967	1967	1967	1967
下水道直上被害有無												
下水道直上被害数												
下水道直上被害の 最大鉛直変位(cm)												

資表 2.5-2 整理表（国道357号線）（その2）

区間名	R357-13	R357-14	R357-15	R357-16	R357-17	R357-18	R357-19	R357-20	R357-21	R357-22	R357-23	R357-24
延長区間	2400-2600	2600-2800	2800-3000	3000-3200	3200-3400	3400-3600	3600-3800	3800-4000	4000-4200	4200-4400	4400-4600	4600-4618
延長(m)	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	18
舗装タイプ	R357-type1											
舗装厚(m)	1.55	1.55	1.55	1.55	1.55	1.55	1.55	1.55	1.55	1.55	1.55	1.55
路床改良有無	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
液状化被害有無	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
被害数												
被害程度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
噴砂発生有無	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
被害ランク	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
最大水平変位(cm)												
最大鉛直変位(cm)												
液状化層厚(m) (FL値)	0.0	0.0	1.8	4.8	6.7	8.1	9.4	10.6	10.4	8.7	5.9	1.00
非液状化層厚(m) (FL値)	9.7	9.9	9.3	8.1	6.5	3.7	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	3.50
地下水位(m)	3.2	3.3	2.5	1.4	1.6	2.2	2.8	3.4	3.7	3.2	2.4	1.7
PL値	0.60	0.00	5.30	13.30	8.50	2.90	0.30	0.00	0.00	1.00	5.60	8.70
液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	0.00	0.00	1.82	4.76	6.72	8.05	7.06	7.19	6.71	5.45	3.47	1.00
非液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	9.7	9.88	9.29	8.1	6.5	3.67	2.76	3.39	3.66	3.2	2.43	3.5
液状化層/非液状化層厚 (舗装構成、地下水位を考慮)	0.0	0.0	0.2	0.6	1.0	2.2	2.6	2.1	1.8	1.7	1.4	0.3
埋立地	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
埋立造成年(西暦)	1967	1967	1967	1967	1970	1975	1975	1975	1975	1970	1970	1970
下水道直上被害有無												
下水道直上被害数												
下水道直上被害の 最大鉛直変位(cm)												



P6-type1

舗装構成	層厚(cm)	材料
表層	5	密粒度AS
基礎	10(15)	粗粒度BB
上層路盤	15	再生粒度調整碎石
下層路盤	60(80)	再生クラッシュヤーン
路床		

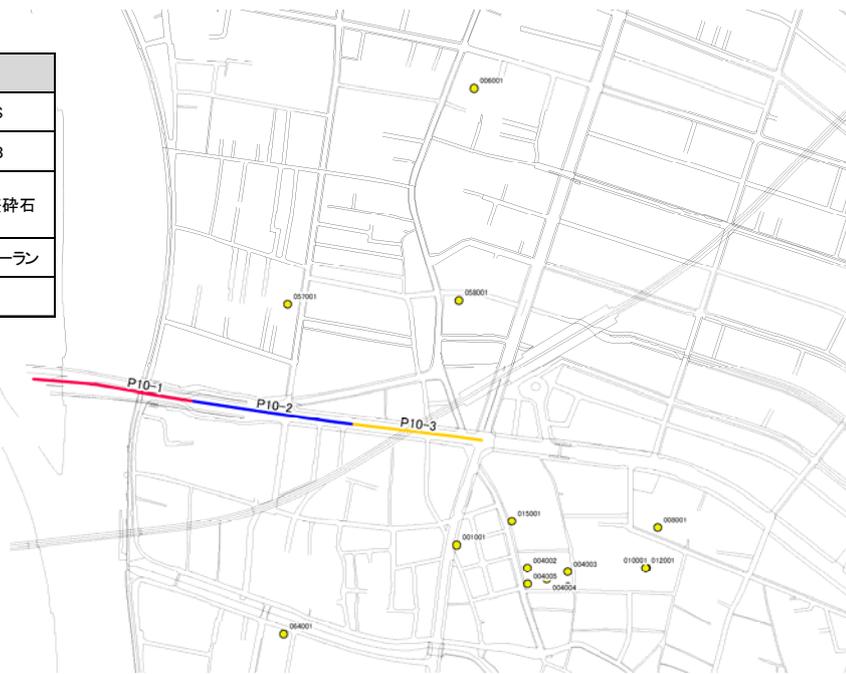
資図 2.5-2 県道 6 号線

資表 2.5-3 整理表 (県道 6 号線)

区間名	P6-1	P6-2	P6-3	P6-4
延長区間	0-200	200-400	400-600	600-795
延長(m)	200	200	200	195
舗装タイプ	P6-type1	P6-type1	P6-type1	P6-type1
舗装厚(m)	1	1	1	1
路床改良有無	×	×	×	×
液化化被害有無	×	×	×	×
被害数				
被害程度	—	—	—	—
噴砂発生有無	×	×	×	×
被害ランク	—	—	—	—
最大水平変位(cm)				
最大鉛直変位(cm)				
液化化層厚(m) (FL値)	0.00	0.00	0.00	0.00
非液化化層厚(m) (FL値)	2.5	3.6	4.8	5.6
地下水位(m)	1.2	1.2	0.9	0.8
PL値	2.40	0.00	0.00	1.10
液化化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	0.00	0.00	0.00	0.00
非液化化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	2.53	3.56	4.77	5.6
液化化層 / 非液化化層厚 (舗装構成、地下水位を考慮)	0.0	0.0	0.0	0.0
埋立地	×	×	×	×
埋立造成年(西暦)				
下水道直上被害有無				
下水道直上被害数				
下水道直上被害の 最大鉛直変位(cm)				

P10-type1

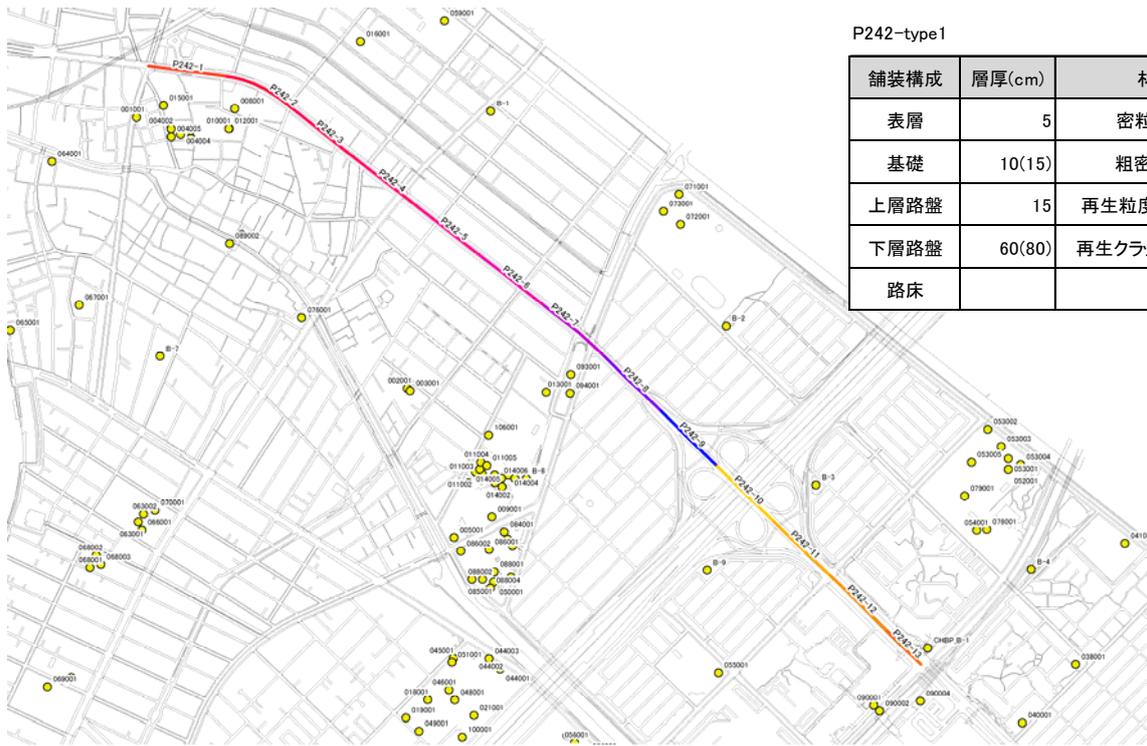
舗装構成	層厚(cm)	材料
表層	5	密粒度AS
基礎	10(15)	粗密度BB
上層路盤	15	再生粒度調整碎石
下層路盤	60(80)	再生クラッシャーラン
路床		



資図 2.5-3 県道 10 号線

資表 2.5-4 整理表 (県道 10 号線)

区間名	P10-1	P10-2	P10-3
延長区間	0-200	200-400	400-559
延長(m)	200	200	159
舗装タイプ	P10-type1	P10-type1	P10-type1
舗装厚(m)	0.9	0.9	0.9
路床改良有無	×	×	×
液状化被害有無	×	×	×
被害数			
被害程度	—	—	—
噴砂発生有無			
被害ランク	—	—	—
最大水平変位(cm)			
最大鉛直変位(cm)			
液状化層厚(m) (FL値)	0.00	0.00	0.00
非液状化層厚(m) (FL値)	0.3	1.1	1.7
地下水位(m)	2.0	2.0	1.4
PL値	6.20	3.10	3.00
液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	0.00	0.00	0.00
非液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	2	2	1.65
液状化層/非液状化層厚 (舗装構成、地下水位を考慮)	0.0	0.0	0.0
埋立地	×	×	×
埋立造成年(西暦)			
下水道直上被害有無			
下水道直上被害数			
下水道直上被害の 最大鉛直変位(cm)			



P242-type1

舗装構成	層厚(cm)	材料
表層	5	密粒度AS
基礎	10(15)	粗粒度BB
上層路盤	15	再生粒度調整砕石
下層路盤	60(80)	再生クラッシャーラン
路床		

資図 2.5-4 県道 242 号線

資表 2.5-5 整理表（県道 242 号線）（その 1）

区間名	P242-1	P242-2	P242-3	P242-4	P242-5	P242-6	P242-7	P242-8	P242-9	P242-10	P242-11	P242-12
延長区間	0-200	200-400	400-600	600-800	800-1000	1000-1200	1200-1400	1400-1600	1600-1800	1800-2000	2000-2200	2200-2400
延長(m)	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200
舗装タイプ	P242-type1											
舗装厚(m)	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9
路床改良有無	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
液状化被害有無	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
被害数												
被害程度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
噴砂発生有無												
被害ランク	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
最大水平変位(cm)												
最大鉛直変位(cm)												
液状化層厚(m) (FL値)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	1.9	4.1	3.6	0.9
非液状化層厚(m) (FL値)	2.4	2.4	2.0	2.0	2.0	2.0	3.1	4.3	5.0	4.6	3.1	1.1
地下水位(m)	0.9	2.1	2.4	2.5	2.4	1.7	2.0	2.0	1.4	1.4	1.9	2.0
PL値	4.50	0.00	1.90	1.30	2.50	7.30	14.50	11.20	8.60	10.00	10.20	10.30
液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.34	1.87	4.08	3.55	0.01
非液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	2.4	2.39	2.37	2.5	2.37	2	3.11	4.26	4.99	4.6	3.12	2
液状化層/非液状化層厚 (舗装構成、地下水位を考慮)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.4	0.9	1.1	0.0
埋立地	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○
埋立造成年(西暦)							1970	1970	1970	1970	1970	1970
下水道直上被害有無												
下水道直上被害数												
下水道直上被害の 最大鉛直変位(cm)												

資表 2.5-6 整理表（県道 242 号線）（その 2）

区間名	P242-13
延長区間	2400-2521
延長(m)	121
舗装タイプ	P242-type1
舗装厚(m)	0.9
路床改良有無	×
液状化被害有無	×
被害数	
被害程度	—
噴砂発生有無	
被害ランク	—
最大水平変位(cm)	
最大鉛直変位(cm)	
液状化層厚(m) (FL値)	0.5
非液状化層厚(m) (FL値)	0.0
地下水位(m)	1.6
PL値	11.60
液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	0.00
非液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	1.61
液状化層/非液状化層厚 (舗装構成、地下水位を考慮)	0.0
埋立地	○
埋立造成年(西暦)	1970
下水道直上被害有無	
下水道直上被害数	
下水道直上被害の 最大鉛直変位(cm)	

P276-type1

舗装構成	層厚(cm)	材料
表層	5	密粒度AS
基礎	5	粗密度BB
上層路盤	15	粒調スラグ
下層路盤	46	鉱滓クラッシャーラン
路床		

P276-type2

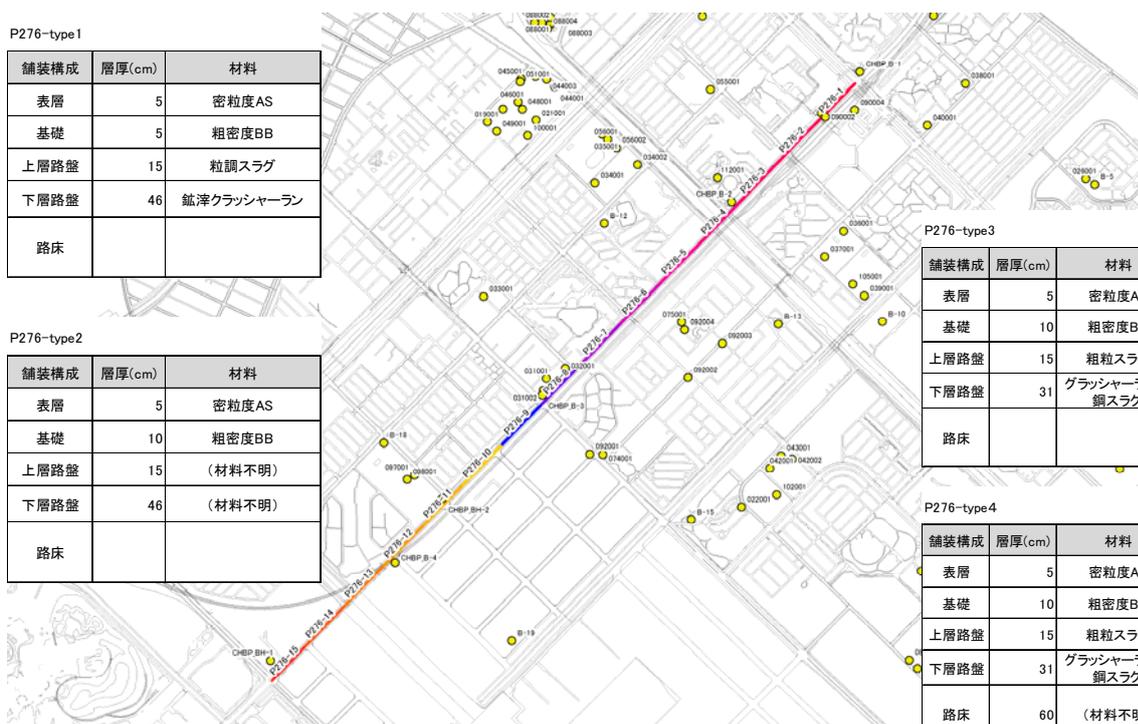
舗装構成	層厚(cm)	材料
表層	5	密粒度AS
基礎	10	粗密度BB
上層路盤	15	(材料不明)
下層路盤	46	(材料不明)
路床		

P276-type3

舗装構成	層厚(cm)	材料
表層	5	密粒度AS
基礎	10	粗密度BB
上層路盤	15	粗粒スラグ
下層路盤	31	グラッサシャーラン鉄鋼スラグ
路床		

P276-type4

舗装構成	層厚(cm)	材料
表層	5	密粒度AS
基礎	10	粗密度BB
上層路盤	15	粗粒スラグ
下層路盤	31	グラッサシャーラン鉄鋼スラグ
路床	60	(材料不明)



資図 2.5-5 県道 276 号線

資表 2.5-7 整理表 (県道 276 号線) (その 1)

区間名	P276-1	P276-2	P276-3	P276-4	P276-5	P276-6	P276-7	P276-8	P276-9	P276-10	P276-11
延長区間	0-200	200-400	400-600	600-800	800-1000	1000-1200	1200-1400	1400-1600	1600-1800	1800-2000	2000-2200
延長(m)	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200
舗装タイプ	P276-type1	P276-type1	P276-type2	P276-type3	P276-type2	P276-type2	P276-type2	P276-type4	P276-type4	P276-type4	P276-type4
舗装厚(m)	0.71	0.71	0.76	0.61	0.76	0.76	0.76	1.21	1.21	1.21	1.21
路床改良有無	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○
液状化被害有無	○	×	×	○	×	○	×	○	×	○	×
被害数											
被害程度	噴砂(道路全面、通行可)	-	-	隆起	-	噴砂(片側1車線、通行可)	-	ひび割れ	-	隆起(マンホール浮き上がり)	-
噴砂発生有無	○					○					
被害ランク	小	-	-	小	-	小	-	小	-	小	-
最大水平変位(cm)											
最大鉛直変位(cm)											
液状化層厚(m)(FL値)	4.5	7.0	2.7	0.1	3.0	5.2	4.7	3.6	0.0	0.0	0.4
非液状化層厚(m)(FL値)	0.2	1.5	2.7	2.3	0.9	1.5	2.7	3.4	4.0	4.0	4.0
地下水位(m)	2.2	3.0	3.0	3.0	2.1	1.8	1.5	1.4	1.5	1.1	1.3
PL値	6.30	5.40	8.20	2.10	0.00	0.00	2.60	6.10	4.50	4.40	7.40
液状化層厚(m)(舗装構成、地下水位を考慮)	2.57	5.50	2.36	0.00	1.83	4.88	4.66	3.57	0.00	0.00	0.35
非液状化層厚(m)(舗装構成、地下水位を考慮)	2.15	3	3	3	2.09	1.76	2.71	3.36	4	4	4
液状化層/非液状化層厚(舗装構成、地下水位を考慮)	1.2	1.8	0.8	0.0	0.9	2.8	1.7	1.1	0.0	0.0	0.1
埋立地	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
埋立造成年(西暦)	1970	1970	1970	1967	1967	1967	1967	1967	1967	1967	1967
下水道直上被害有無											
下水道直上被害数											
下水道直上被害の最大鉛直変位(cm)											

資表 2.5-8 整理表（県道 276 号線）（その 2）

区間名	P276-12	P276-13	P276-14	P276-15
延長区間	2200-2400	2400-2600	2600-2800	2800-2961
延長(m)	200	200	200	161
舗装タイプ	P276-type2	P276-type3	P276-type3	P276-type3
舗装厚(m)	0.76	0.61	0.61	0.61
路床改良有無	×	×	×	×
液状化被害有無	○	×	×	○
被害数				
被害程度	噴砂(幅1m程度)	—	—	噴砂(片側1車線噴砂。通行可)・バス停傾き
噴砂発生有無	○			○
被害ランク	小	—	—	小
最大水平変位(cm)				
最大鉛直変位(cm)				
液状化層厚(m) (FL値)	1.6	0.0	0.0	0.0
非液状化層厚(m) (FL値)	4.0	2.7	1.5	0.5
地下水位(m)	1.9	1.7	1.2	1.3
PL値	5.20	4.30	6.10	6.50
液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	1.56	0.00	0.00	0.00
非液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	4	2.7	1.52	1.27
液状化層/非液状化層厚 (舗装構成、地下水位を考慮)	0.4	0.0	0.0	0.0
埋立地	○	○	○	○
埋立造成年(西暦)	1967	1967	1967	1967
下水道直上被害有無				
下水道直上被害数				
下水道直上被害の 最大鉛直変位(cm)				

H1-type1

舗装構成	層厚(cm)	材料
表層	5	密粒度AS
基礎	10	粗粒度BB
上層路盤	15	再生粒度調整碎石
下層路盤	60	再生クラッシャーラン
路床		



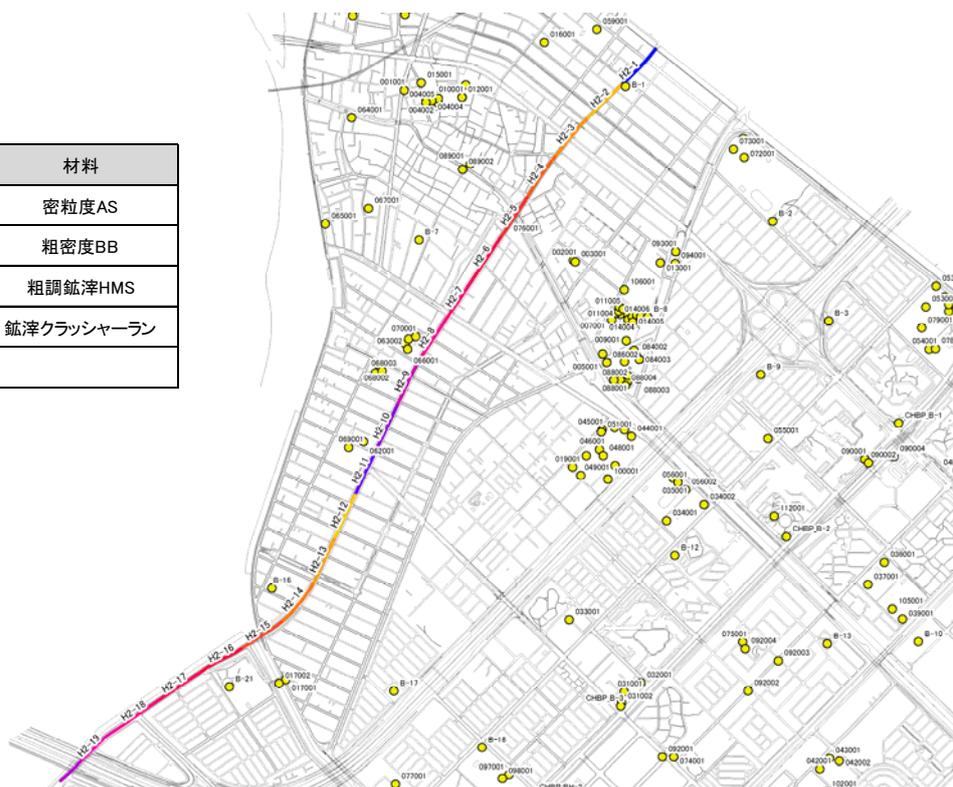
資図 2.5-6 幹線1号線

資表 2.5-9 整理表 (幹線1号線)

区間名	H1-1	H1-2	H1-3	H1-4	H1-5
延長区間	0-200	200-400	400-600	600-800	800-851
延長(m)	200	200	200	200	51
舗装タイプ	H1-type1	H1-type1	H1-type1	H1-type1	H1-type1
舗装厚(m)	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9
路床改良有無	×	×	×	×	×
液状化被害有無	×	×	×	×	×
被害数					
被害程度	—	—	—	—	—
噴砂発生有無	×	×	×	×	×
被害ランク	—	—	—	—	—
最大水平変位(cm)					
最大鉛直変位(cm)					
液状化層厚(m) (FL値)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非液状化層厚(m) (FL値)	2.0	1.5	2.0	3.2	4.3
地下水位(m)	1.1	1.9	2.0	1.9	1.8
PL値	1.80	2.70	5.20	3.60	0.70
液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
非液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	2	1.88	2	3.15	4.32
液状化層/非液状化層厚 (舗装構成、地下水位を考慮)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
埋立地	×	×	×	×	×
埋立造成年(西暦)					
下水道直上被害有無					
下水道直上被害数					
下水道直上被害の 最大鉛直変位(cm)					

H2-type1

舗装構成	層厚(cm)	材料
表層	5	密粒度AS
基礎	5	粗密度BB
上層路盤	15	粗調鉱滓HMS
下層路盤	20	鉱滓クラッシャーラン
路床		



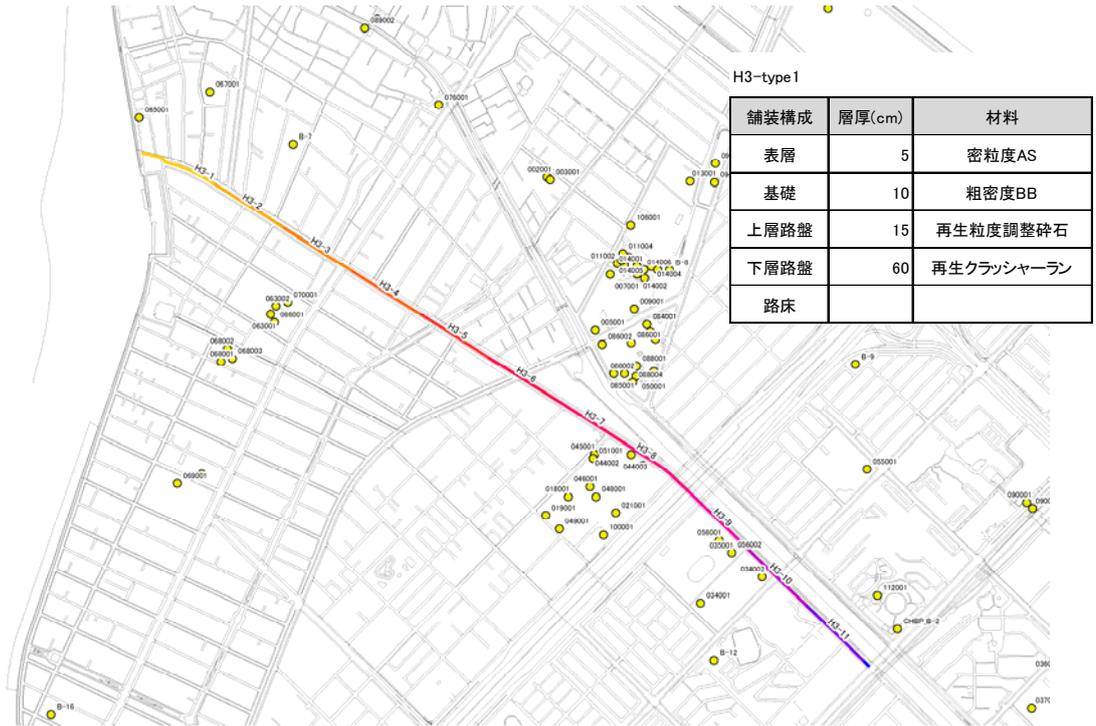
資図 2.5-7 幹線 2 号線

資表 2.5-10 整理表 (幹線 2 号線) (その 1)

区間名	H2-1	H2-2	H2-3	H2-4	H2-5	H2-6	H2-7	H2-8	H2-9	H2-10	H2-11	H2-12
延長区間	0-200	200-400	400-600	600-800	800-1000	1000-1200	1200-1400	1400-1600	1600-1800	1800-2000	2000-2200	2200-2400
延長(m)	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200
舗装タイプ	H2-type1	H2-type1	H2-type1	H2-type1	H2-type1	H2-type1	H2-type1	H2-type1	H2-type1	H2-type1	H2-type1	H2-type1
舗装厚(m)	0.45	0.45	0.45	0.45	0.45	0.45	0.45	0.45	0.45	0.45	0.45	0.45
路床改良有無	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
液状化被害有無	○(ただし、被災箇所的位置は不明)											
被害数												
被害程度	ひび割れ、段差(最大1cm) (1箇所)											
噴砂発生有無												
被害ランク	小											
最大水平変位(cm)												
最大鉛直変位(cm)												
液状化層厚(m) (FL値)	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0
非液状化層厚(m) (FL値)	3.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	3.8	6.7	9.8	12.7	15.7	18.0
地下水位(m)	2.3	2.5	2.5	2.5	1.9	1.5	1.3	1.4	1.9	1.7	1.4	1.8
PL値	0.00	1.30	1.30	0.00	0.00	8.70	18.50	20.10	8.20	0.80	0.10	0.00
液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	0.37	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.08	0.00
非液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	3.54	2.5	2.5	2.5	2	2	3.78	6.68	9.75	12.67	15.73	18
液状化層/非液状化層厚 (舗装構成、地下水位を考慮)	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
埋立地	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
埋立造成年(西暦)												
下水道直上被害有無												
下水道直上被害数												
下水道直上被害の 最大鉛直変位(cm)												

資表 2.5-11 整理表（幹線 2 号線）（その 2）

区間名	H2-13	H2-14	H2-15	H2-16	H2-17	H2-18	H2-19	H2-20
延長区間	2400-2600	2600-2800	2800-3000	3000-3200	3200-3400	3400-3600	3600-3800	3800-3911
延長(m)	200	200	200	200	200	200	200	111
舗装タイプ	H2-type1	H2-type1	H2-type1	H2-type1	H2-type1	H2-type1	H2-type1	H2-type1
舗装厚(m)	0.45	0.45	0.45	0.45	0.45	0.45	0.45	0.45
路床改良有無	×	×	×	×	×	×	×	×
液状化被害有無	○(ただし、被災箇所の位置は不明)							
被害数								
被害程度	ひび割れ、段差(最大1cm) (1箇所)							
噴砂発生有無								
被害ランク	小							
最大水平変位(cm)								
最大鉛直変位(cm)								
液状化層厚(m) (FL値)	0.3	1.2	1.6	3.3	5.8	7.2	7.9	8.2
非液状化層厚(m) (FL値)	18.0	17.1	12.1	5.8	1.4	0.0	0.0	0.0
地下水位(m)	2.6	3.2	2.2	2.0	2.7	3.0	3.1	3.1
PL値	0.00	0.00	2.10	1.60	0.00	0.00	0.50	3.10
液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	0.30	1.19	1.62	3.25	4.57	4.22	4.85	5.11
非液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	18	17.13	12.13	5.79	2.66	3	3.09	3.07
液状化層/非液状化層厚 (舗装構成、地下水位を考慮)	0.0	0.1	0.1	0.6	1.7	1.4	1.6	1.7
埋立地	×	×	×	×	×	×	×	×
埋立造成年(西暦)								
下水道直上被害有無								
下水道直上被害数								
下水道直上被害の 最大鉛直変位(cm)								



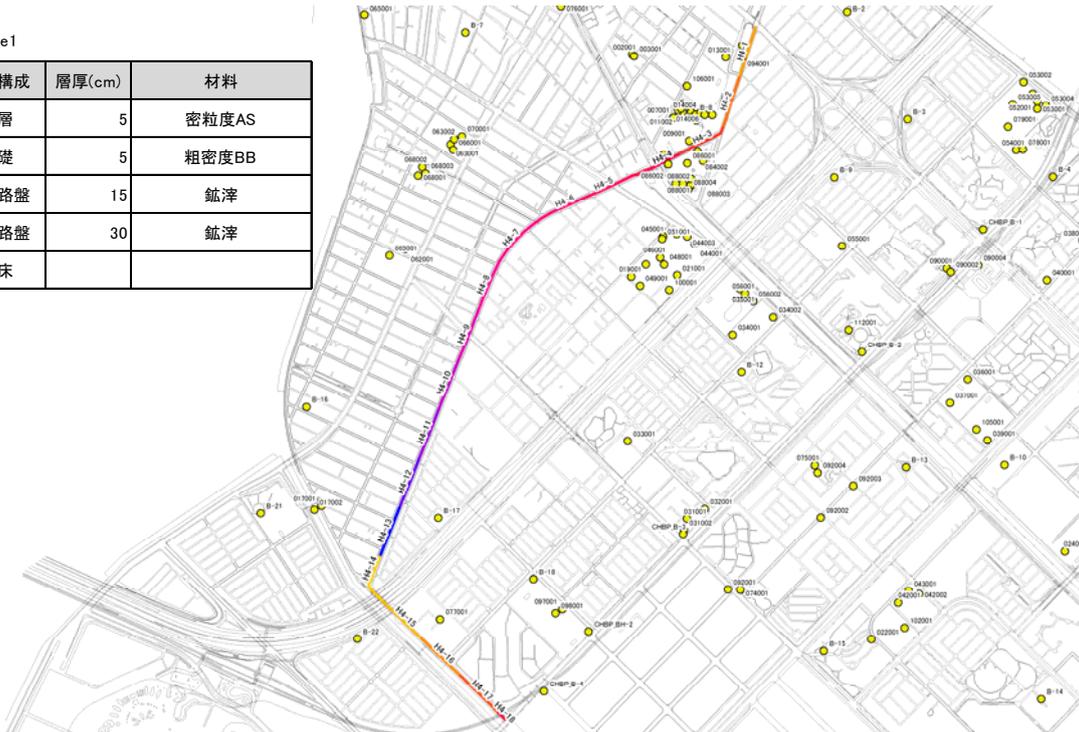
資図 2.5-8 幹線 3 号線

資表 2.5-12 整理表 (幹線 3 号線)

区間名	H3-1	H3-2	H3-3	H3-4	H3-5	H3-6	H3-7	H3-8	H3-9	H3-10	H3-11	H3-12
延長区間	0-200	200-400	400-600	600-800	800-1000	1000-1200	1200-1400	1400-1600	1600-1800	1800-2000	2000-2200	2200-2213
延長(m)	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	13
舗装タイプ	H3-type1	H3-type1	H3-type1	H3-type1	H3-type1	H3-type1	H3-type1	H3-type1	H3-type1	H3-type1	H3-type1	H3-type1
舗装厚(m)	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9
路床改良有無	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
液状化被害有無	○(ただし、被災箇所的位置は不明)											
被害数												
被害程度	ひび割れ(1~1.5cm)、沈下(変位量不明)、側溝の沈下 (4箇所)											
噴砂発生有無												
被害ランク	-											
最大水平変位(cm)												
最大鉛直変位(cm)												
液状化層厚(m) (FL値)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	1.3	2.4	2.0	1.0	1.0
非液状化層厚(m) (FL値)	5.0	4.8	4.7	4.7	4.4	4.3	4.3	4.1	3.3	2.5	2.4	2.2
地下水位(m)												
PL値	0.00	1.20	16.00	22.00	16.40	12.60	6.40	0.00	4.60	10.80	8.20	2.30
液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.92	1.31	2.37	2.00	1.00	1.00
非液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	5.02	4.83	4.73	4.69	4.43	4.32	4.31	4.14	3.25	2.48	2.36	2.2
液状化層/非液状化層厚 (舗装構成、地下水位を考慮)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.3	0.7	0.8	0.4	0.5
埋立地	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○
埋立造成年(西暦)							1967	1967	1967	1967	1967	1967
下水道直上被害有無												
下水道直上被害数												
下水道直上被害の 最大鉛直変位(cm)												

H4-type1

舗装構成	層厚(cm)	材料
表層	5	密粒度AS
基礎	5	粗密度BB
上層路盤	15	鈣滓
下層路盤	30	鈣滓
路床		



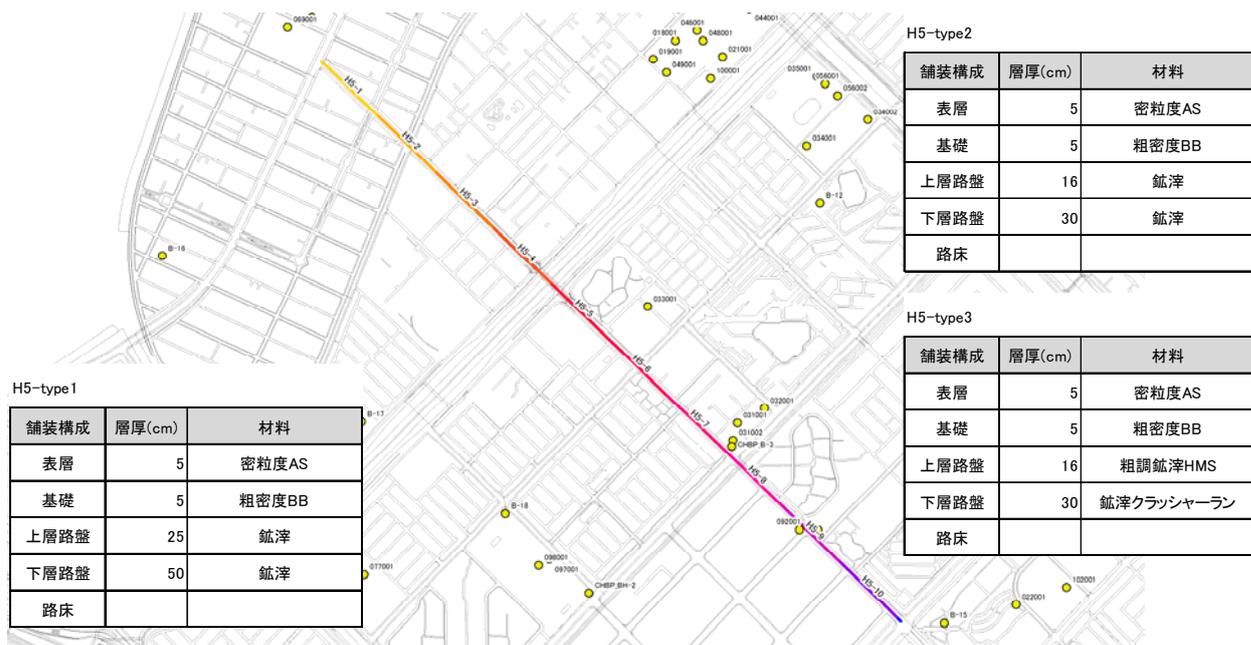
資図 2.5-9 幹線4号線

資表 2.5-13 整理表 (幹線4号線) (その1)

区間名	H4-1	H4-2	H4-3	H4-4	H4-5	H4-6	H4-7	H4-8	H4-9	H4-10	H4-11	H4-12
延長区間	0-200	200-400	400-600	600-800	800-1000	1000-1200	1200-1400	1400-1600	1600-1800	1800-2000	2000-2200	2200-2400
延長(m)	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200
舗装タイプ	H4-type1	H4-type1	H4-type1	H4-type1	H4-type1	H4-type1	H4-type1	H4-type1	H4-type1	H4-type1	H4-type1	H4-type1
舗装厚(m)	0.55	0.55	0.55	0.55	0.55	0.55	0.55	0.55	0.55	0.55	0.55	0.55
路床改良有無	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
液状化被害有無	○(ただし、被災箇所的位置は不明)											
被害数												
被害程度	側溝の沈下 (2箇所)											
噴砂発生有無												
被害ランク	-											
最大水平変位(cm)												
最大鉛直変位(cm)												
液状化層厚(m) (FL値)	0.1	0.4	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.5	0.5	1.3	2.5
非液状化層厚(m) (FL値)	3.1	2.9	2.8	3.2	4.5	6.5	9.4	12.0	14.0	15.1	14.6	12.7
地下水位(m)	2.0	1.0	1.3	1.4	1.3	2.2	2.8	3.1	3.4	3.8	4.4	4.5
PL値	9.40	7.80	4.20	13.30	12.30	10.50	5.40	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	0.12	0.37	0.07	0.00	0.00	0.00	0.00	0.17	0.49	0.49	1.26	2.47
非液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	3.11	2.86	2.76	3.17	4.46	6.54	9.38	12	14	15.11	14.61	12.74
液状化層/非液状化層厚 (舗装構成、地下水位を考慮)	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2
埋立地	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
埋立造成年(西暦)												
下水道直上被害有無												
下水道直上被害数												
下水道直上被害の 最大鉛直変位(cm)												

資表 2.5-14 整理表 (幹線 4 号線) (その 2)

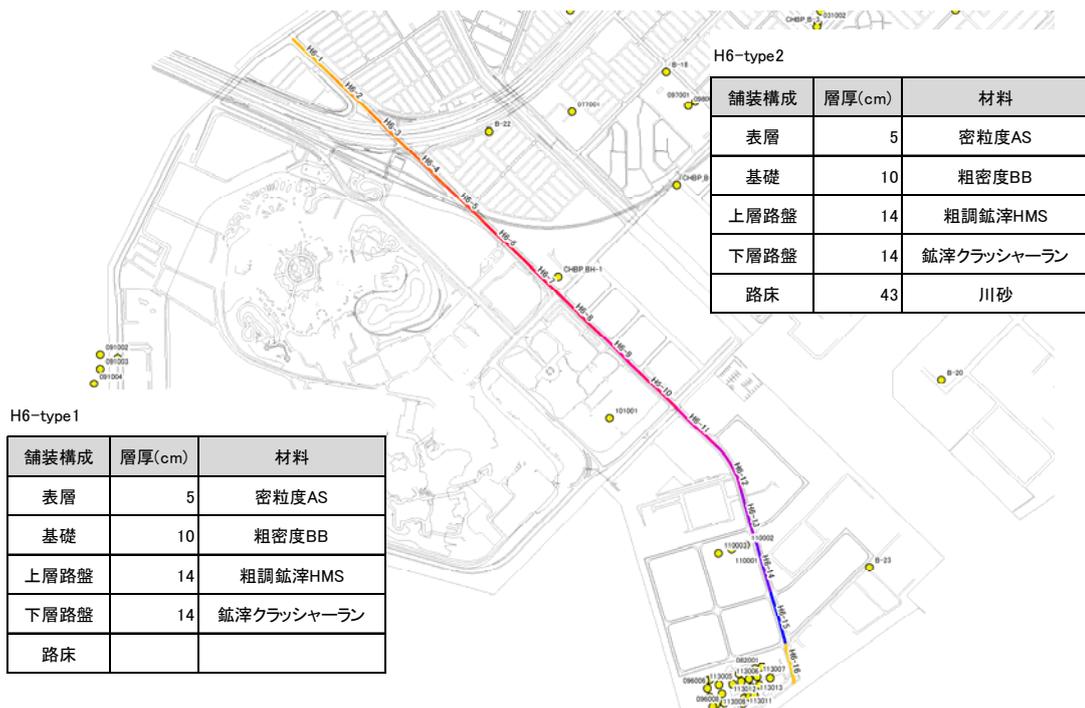
区間名	H4-13	H4-14	H4-15	H4-16	H4-17	H4-18
延長区間	2400-2600	2600-2800	2800-3000	3000-3200	3200-3400	3400-3436
延長(m)	200	200	200	200	200	36
舗装タイプ	H4-type1	H4-type1	H4-type1	H4-type1	H4-type1	H4-type1
舗装厚(m)	0.55	0.55	0.55	0.55	0.55	0.55
路床改良有無	×	×	×	×	×	×
液状化被害有無	○(ただし、被災箇所的位置は不明)					
被害数						
被害程度	側溝の沈下 (2箇所)					
噴砂発生有無						
被害ランク	-					
最大水平変位(cm)						
最大鉛直変位(cm)						
液状化層厚(m) (FL値)	3.6	5.2	6.3	4.5	1.5	0.0
非液状化層厚(m) (FL値)	9.9	7.3	6.6	4.8	3.0	2.6
地下水位(m)	3.3	1.7	0.8	0.3	1.1	1.5
PL値	3.10	10.30	15.70	18.90	11.60	5.80
液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	3.61	5.23	6.27	4.50	1.50	0.00
非液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	9.93	7.29	6.61	4.79	2.95	2.55
液状化層/非液状化層厚 (舗装構成、地下水位を考慮)	0.4	0.7	0.9	0.9	0.5	0.0
埋立地	×	×	○	○	○	○
埋立造成年(西暦)			1967	1967	1967	1967
下水道直上被害有無						
下水道直上被害数						
下水道直上被害の 最大鉛直変位(cm)						



資図 2.5-10 幹線 5 号線

資表 2.5-15 整理表 (幹線 5 号線)

区間名	H5-1	H5-2	H5-3	H5-4	H5-5	H5-6	H5-7	H5-8	H5-9	H5-10	H5-11
延長区間	0-200	200-400	400-600	600-800	800-1000	1000-1200	1200-1400	1400-1600	1600-1800	1800-2000	2000-2008
延長(m)	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	8
舗装タイプ	H5-type1	H5-type1	H5-type1	H5-type1	H5-type2	H5-type2	H5-type2	H5-type3	H5-type3	H5-type3	H5-type3
舗装厚(m)	0.85	0.85	0.85	0.85	0.56	0.56	0.56	0.56	0.56	0.56	0.56
路床改良有無	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
液化化被害有無	○(ただし、被災箇所的位置は不明)										
被害数											
被害程度	ひび割れ (13箇所)										
噴砂発生有無											
被害ランク	-										
最大水平変位(cm)											
最大鉛直変位(cm)											
液化化層厚(m) (FL値)	0.30	0.40	0.60	1.30	2.00	1.60	1.10	1.70	7.00	4.10	1.80
非液化化層厚(m) (FL値)	15.30	14.00	12.00	9.60	7.20	5.30	4.00	4.00	5.20	6.60	7.30
地下水位(m)	2.2	3.3	3.8	3.1	2.2	1.3	1	1.7	1.6	3.2	4
PL値	0.00	0.00	0.00	5.30	11.60	13.20	10.50	4.80	12.40	9.00	5.40
液化化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	0.30	0.40	0.60	1.30	2.00	1.60	1.10	1.70	7.00	4.10	1.80
非液化化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	15.3	14	12	9.6	7.2	5.3	4	4	5.2	6.6	7.3
液化化層/非液化化層厚 (舗装構成、地下水位を考慮)	0.0	0.0	0.1	0.1	0.3	0.3	0.3	0.4	1.3	0.6	0.2
埋立地	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
埋立造成年(西暦)			1967	1967	1967	1967	1967	1967	1967	1967	1967
下水道直上被害有無	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
下水道直上被害数											
下水道直上被害の 最大鉛直変位(cm)											



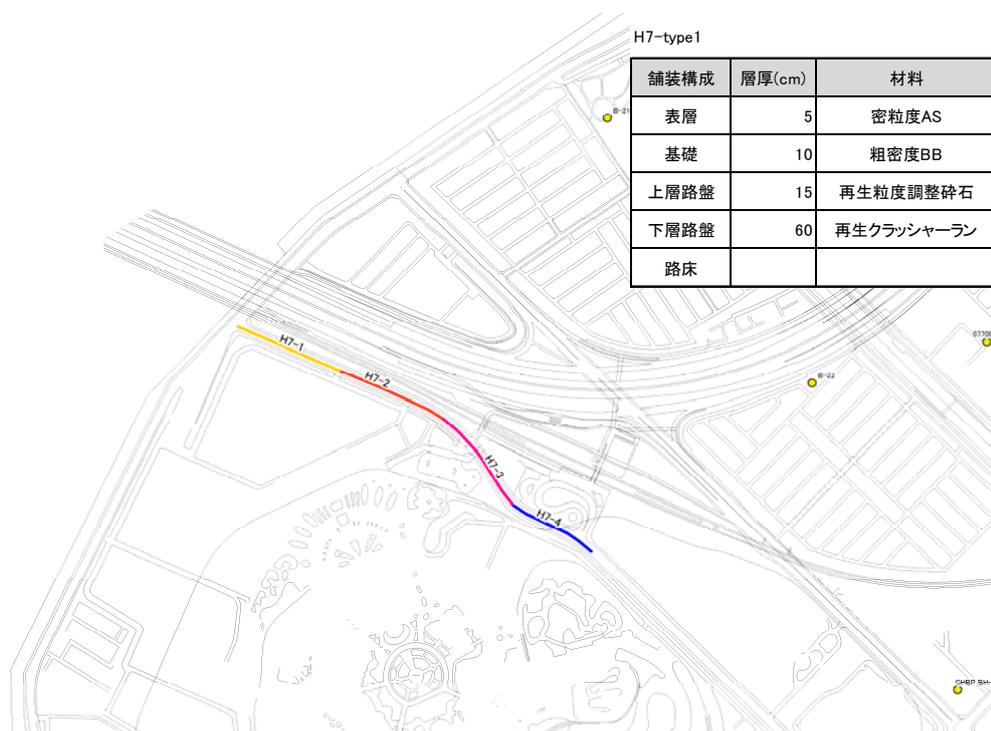
資図 2.5-11 幹線 6 号線

資表 2.5-16 整理表 (幹線 6 号線) (その 1)

区間名	H6-1	H6-2	H6-3	H6-4	H6-5	H6-6	H6-7	H6-8	H6-9	H6-10
延長区間	0-200	200-400	400-600	600-800	800-1000	1000-1200	1200-1400	1400-1600	1600-1800	1800-2000
延長(m)	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200
舗装タイプ	H6-type1	H6-type1	H6-type1	H6-type1	H6-type1	H6-type1	H6-type1	H6-type2	H6-type2	H6-type2
舗装厚(m)	0.43	0.43	0.43	0.43	0.43	0.43	0.43	0.86	0.86	0.86
路床改良有無	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
液状化被害有無	○(ただし、被災箇所的位置は不明)									
被害数										
被害程度	噴砂(道路全面)、ひび割れ、沈下・段差(最大6cm)(38箇所)									
噴砂発生有無										
被害ランク	小									
最大水平変位(cm)										
最大鉛直変位(cm)										
液状化層厚(m) (FL値)	8.00	8.70	9.40	9.80	8.40	5.00	1.00	0.00	0.00	0.00
非液状化層厚(m) (FL値)	0.00	0.00	0.00	1.30	1.40	0.60	0.00	1.20	3.10	4.50
地下水位(m)	3.1	2.8	2.8	3	2.7	2	1.4	1.4	1.5	1.7
PL値	0.00	0.00	0.30	0.00	1.00	4.40	6.10	5.50	4.80	4.90
液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	4.90	5.90	6.60	8.10	7.10	3.60	0.00	0.00	0.00	0.00
非液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	3.1	2.8	2.8	3	2.7	2	1.4	1.4	3.1	4.5
液状化層/非液状化層厚 (舗装構成、地下水位を考慮)	1.6	2.1	2.4	2.7	2.6	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0
埋立地	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
埋立造成年(西暦)	1970	1970	1975	1975	1975	1975	1975	1975	1975	1975
下水道直上被害有無	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
下水道直上被害数										
下水道直上被害の 最大鉛直変位(cm)										

資表 2.5-17 整理表 (幹線 6 号線) (その 2)

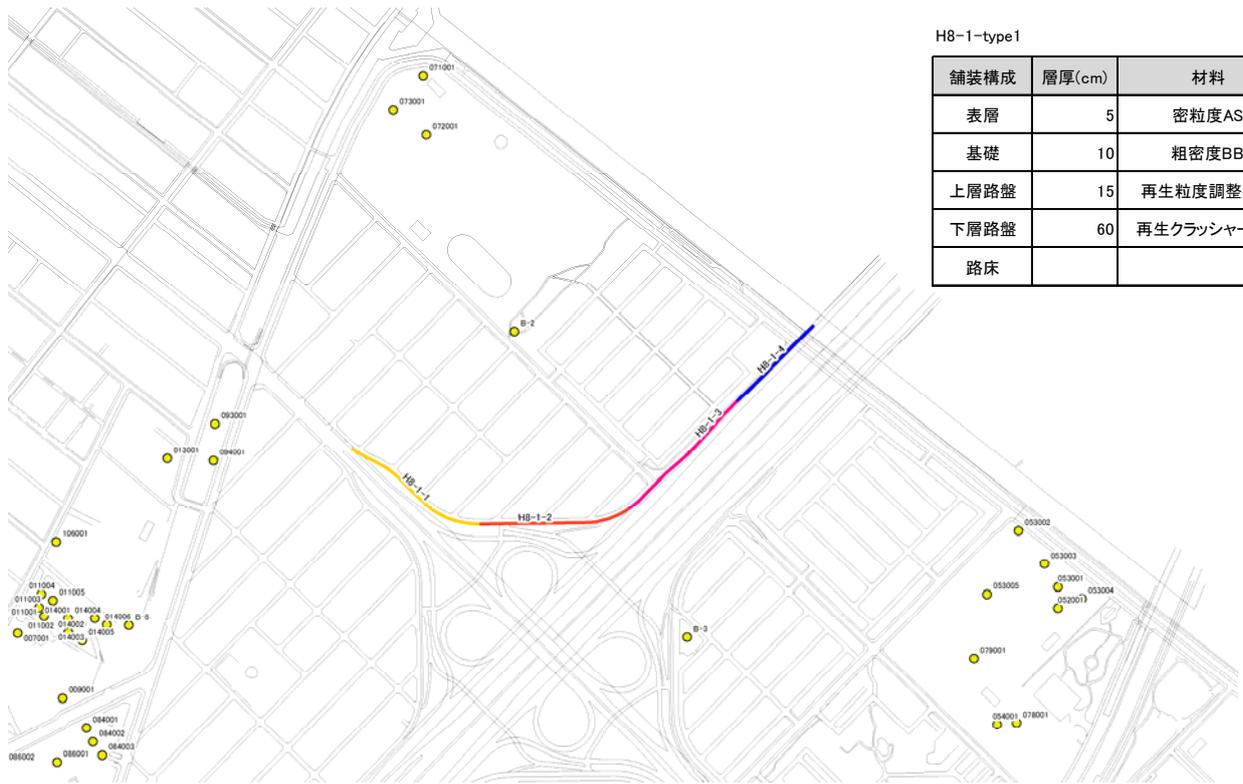
区間名	H6-11	H6-12	H6-13	H6-14	H6-15	H6-16
延長区間	2000-2200	2200-2400	2400-2600	2600-2800	2800-3000	3000-3147
延長(m)	200	200	200	200	200	147
舗装タイプ	H6-type2	H6-type2	H6-type2	H6-type2	H6-type2	H6-type2
舗装厚(m)	0.86	0.86	0.86	0.86	0.86	0.86
路床改良有無	×	×	×	×	×	×
液状化被害有無	○					
被害数						
被害程度	緊急工事施工					
噴砂発生有無						
被害ランク	中					
最大水平変位(cm)						
最大鉛直変位(cm)						
液状化層厚(m) (FL値)	0.80	2.50	4.70	7.10	9.00	8.60
非液状化層厚(m) (FL値)	4.50	3.80	2.30	0.00	0.00	0.40
地下水位(m)	1	0.7	0.7	1.2	2.2	3.3
PL値	5.60	7.80	11.10	14.20	14.20	12.20
液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	0.80	2.50	4.70	5.90	6.80	5.70
非液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	4.5	3.8	2.3	1.2	2.2	3.3
液状化層/非液状化層厚 (舗装構成、地下水位を考慮)	0.2	0.7	2.0	4.9	3.1	1.7
埋立地	○	○	○	○	○	○
埋立造成年(西暦)	1980	1980	1980	1980	1980	1980
下水道直上被害有無	×	×	×	×	×	×
下水道直上被害数						
下水道直上被害の 最大鉛直変位(cm)						



資図 2.5-12 幹線7号線

資表 2.5-18 整理表 (幹線7号線)

区間名	H7-1	H7-2	H7-3	H7-4
延長区間	0-200	200-400	400-600	600-761
延長(m)	200	200	200	161
舗装タイプ	H7-type1	H7-type1	H7-type1	H7-type1
舗装厚(m)	0.9	0.9	0.9	0.9
路床改良有無	×	×	×	×
液状化被害有無	○(ただし、被災箇所的位置は不明)			
被害数				
被害程度	ひび割れ (1箇所)			
噴砂発生有無				
被害ランク	-			
最大水平変位(cm)				
最大鉛直変位(cm)				
液状化層厚(m) (FL値)	9.70	11.50	12.50	12.80
非液状化層厚(m) (FL値)	0.00	0.00	0.00	0.00
地下水位(m)	3.5	3.9	4	4.1
PL値	1.10	0.00	0.00	0.00
液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	6.20	7.60	8.50	8.70
非液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	3.5	3.9	4	4.1
液状化層/非液状化層厚 (舗装構成、地下水位を考慮)	1.8	1.9	2.1	2.1
埋立地	○	○	○	○
埋立造成年(西暦)	1975	1975	1975	1975
下水道直上被害有無				
下水道直上被害数				
下水道直上被害の 最大鉛直変位(cm)				



H8-1-type1

舗装構成	層厚(cm)	材料
表層	5	密粒度AS
基礎	10	粗粒度BB
上層路盤	15	再生粒度調整碎石
下層路盤	60	再生クラッシャーラン
路床		

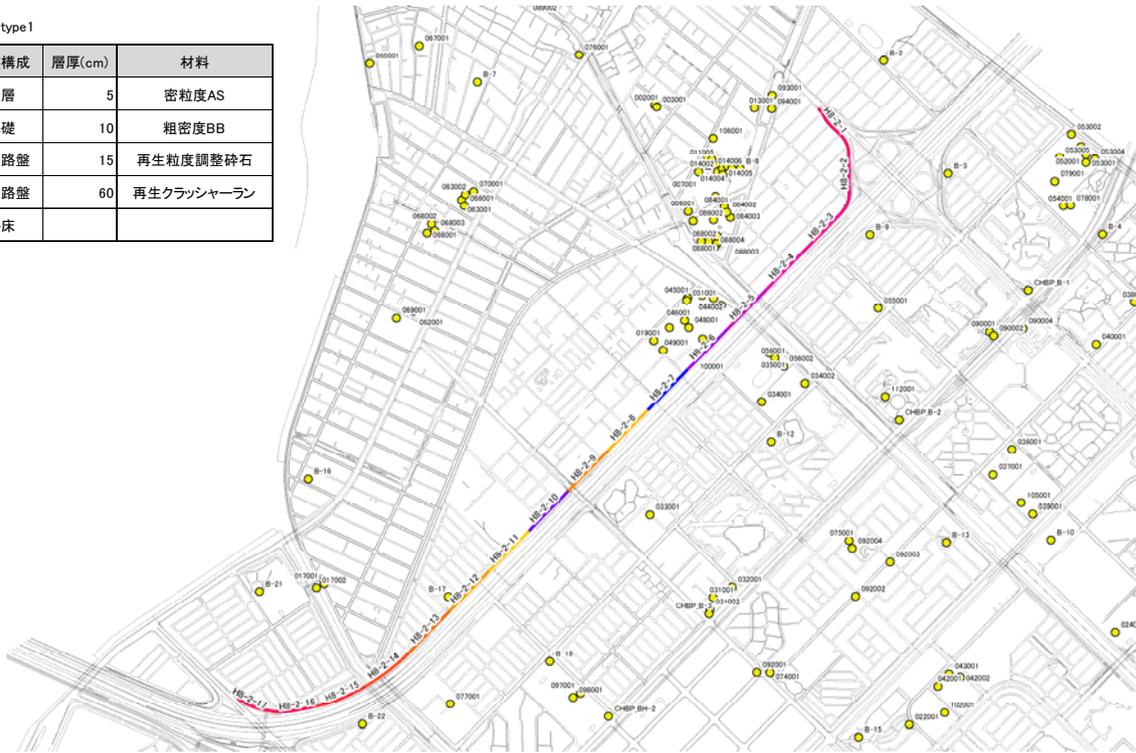
資図 2.5-13 幹線 8-1 号線

資表 2.5-19 整理表 (幹線 8-1 号線)

区間名	H8-1-1	H8-1-2	H8-1-3	H8-1-4
延長区間	0-200	200-400	400-600	600-740
延長(m)	200	200	200	140
舗装タイプ	H8-1-type1	H8-1-type1	H8-1-type1	H8-1-type1
舗装厚(m)	0.9	0.9	0.9	0.9
路床改良有無	×	×	×	×
液状化被害有無	×	×	×	×
被害数				
被害程度	—	—	—	—
噴砂発生有無				
被害ランク	—	—	—	—
最大水平変位(cm)				
最大鉛直変位(cm)				
液状化層厚(m) (FL値)	1.00	2.90	2.60	1.80
非液状化層厚(m) (FL値)	4.90	5.10	5.70	7.20
地下水位(m)	1.7	1.6	2.2	3.1
PL値	8.50	6.90	1.30	0.00
液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	1.00	2.90	2.60	1.80
非液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	4.9	5.1	5.7	7.2
液状化層/非液状化層厚 (舗装構成、地下水位を考慮)	0.2	0.6	0.5	0.3
埋立地	○	○	○	○
埋立造成年(西暦)	1970	1970	1970	1970
下水道直上被害有無				
下水道直上被害数				
下水道直上被害の 最大鉛直変位(cm)				

H8-2-type1

舗装構成	層厚(cm)	材料
表層	5	密粒度AS
基礎	10	粗粒度BB
上層路盤	15	再生粒度調整碎石
下層路盤	60	再生クラッシャーラン
路床		



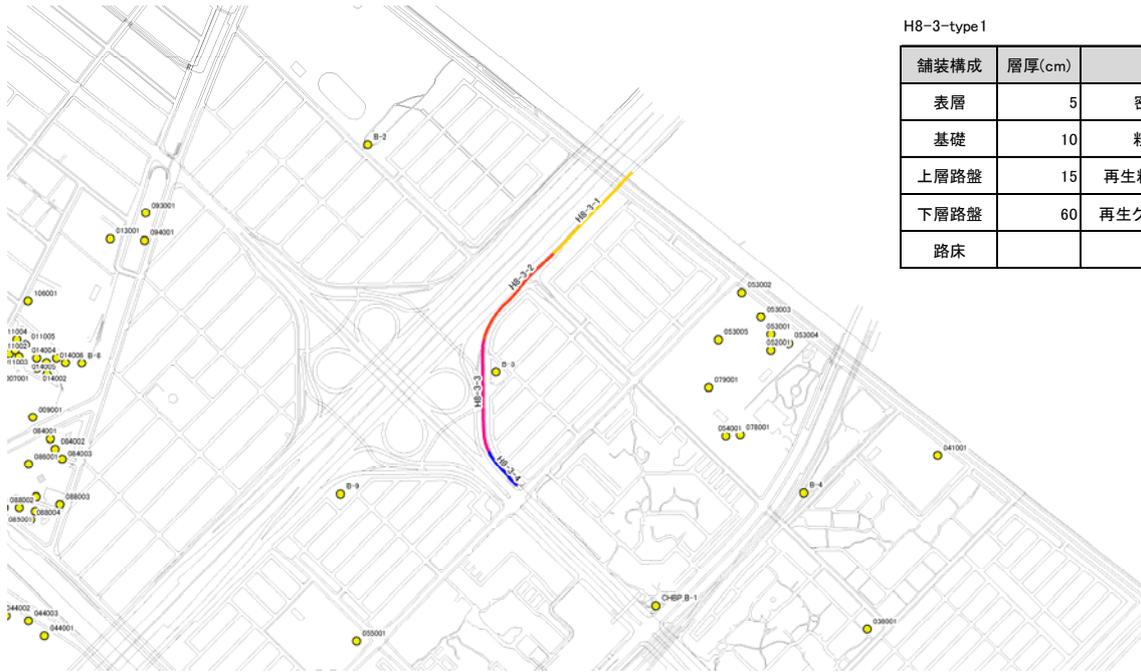
資図 2.5-14 幹線 8-2 号線

資表 2.5-20 整理表 (幹線 8-2 号線) (その 1)

区間名	H8-2-1	H8-2-2	H8-2-3	H8-2-4	H8-2-5	H8-2-6	H8-2-7	H8-2-8	H8-2-9	H8-2-10	H8-2-11	H8-2-12
延長区間	0-200	200-400	400-600	600-800	800-1000	1000-1200	1200-1400	1400-1600	1600-1800	1800-2000	2000-2200	2200-2400
延長(m)	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200
舗装タイプ	H8-2-type1											
舗装厚(m)	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9
路床改良有無	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
液状化被害有無	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
被害数												
被害程度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
噴砂発生有無												
被害ランク	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
最大水平変位(cm)												
最大鉛直変位(cm)												
液状化層厚(m) (FL値)	1.10	2.30	1.80	1.50	0.70	0.30	0.10	1.50	1.90	0.50	0.00	0.50
非液状化層厚(m) (FL値)	4.70	4.90	4.70	4.30	3.90	4.30	5.20	6.70	8.40	9.80	10.50	10.40
地下水位(m)	1.6	1.2	1.7	2.5	2.7	0.9	1	2.2	2.8	3.2	3.6	3.4
PL値	9.30	9.30	8.30	5.70	0.00	6.30	11.10	10.90	8.80	3.10	0.00	0.00
液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	1.10	2.30	1.80	1.50	0.70	0.30	0.10	1.50	1.90	0.50	0.00	0.50
非液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	4.7	4.9	4.7	4.3	3.9	4.3	5.2	6.7	8.4	9.8	10.5	10.4
液状化層/非液状化層厚 (舗装構成、地下水位を考慮)	0.2	0.5	0.4	0.3	0.2	0.1	0.0	0.2	0.2	0.1	0.0	0.0
埋立地	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
埋立造成年(西暦)	1970	1970	1970	1970	1970	1967	1967	1967	1967	1967	1967	1967
下水道直上被害有無												
下水道直上被害数												
下水道直上被害の 最大鉛直変位(cm)												

資表 2.5-21 整理表（幹線 8-2 号線）（その 2）

区間名	H8-2-13	H8-2-14	H8-2-15	H8-2-16	H8-2-17
延長区間	2400-2600	2600-2800	2800-3000	3000-3200	3200-3270
延長(m)	200	200	200	200	70
舗装タイプ	H8-2-type1	H8-2-type1	H8-2-type1	H8-2-type1	H8-2-type1
舗装厚(m)	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9
路床改良有無	×	×	×	×	×
液状化被害有無	×	×	×	×	×
被害数					
被害程度	-	-	-	-	-
噴砂発生有無					
被害ランク	-	-	-	-	-
最大水平変位(cm)					
最大鉛直変位(cm)					
液状化層厚(m) (FL値)	3.20	5.50	7.00	8.20	8.70
非液状化層厚(m) (FL値)	9.30	7.50	5.10	1.70	0.00
地下水位(m)	2.4	1.5	1.8	2.2	2.6
PL値	7.60	11.20	5.90	2.70	1.30
液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	3.20	5.50	7.00	7.70	6.10
非液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	9.3	7.5	5.1	2.2	2.6
液状化層/非液状化層厚 (舗装構成、地下水位を考慮)	0.3	0.7	1.4	3.5	2.3
埋立地	○	○	○	○	○
埋立造成年(西暦)	1967	1967	1970	1970	1970
下水道直上被害有無					
下水道直上被害数					
下水道直上被害の 最大鉛直変位(cm)					



H8-3-type1

舗装構成	層厚(cm)	材料
表層	5	密粒度AS
基礎	10	粗粒度BB
上層路盤	15	再生粒度調整碎石
下層路盤	60	再生クラッシャーラン
路床		

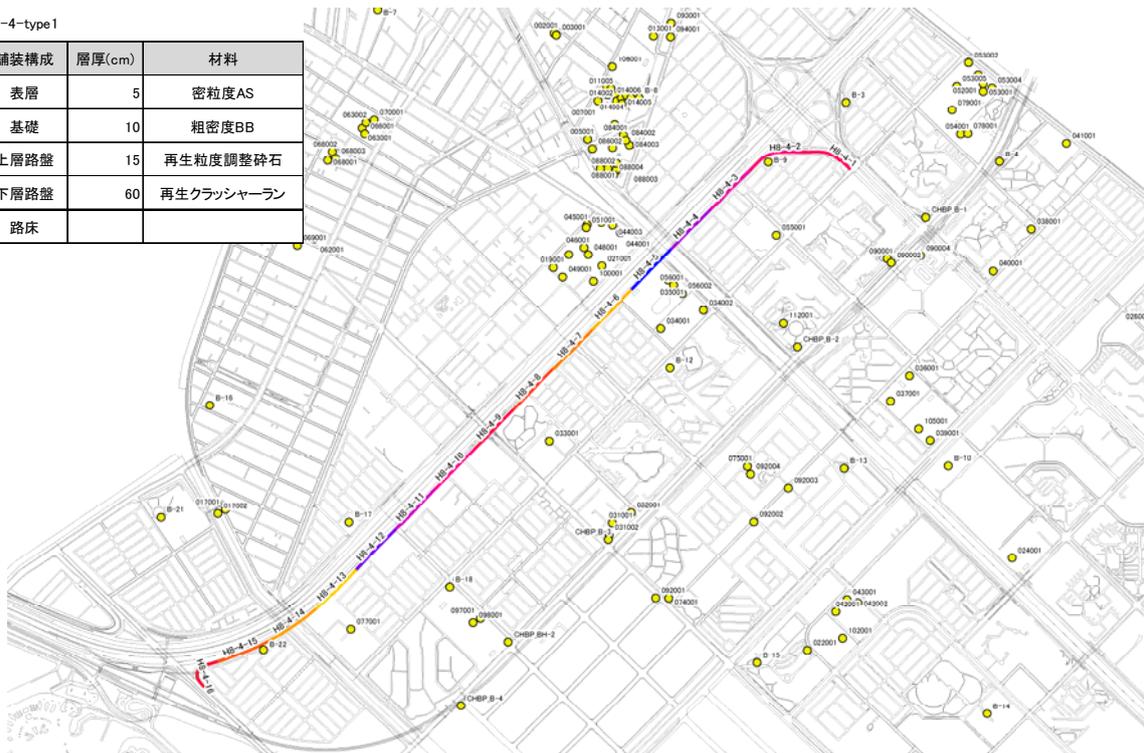
資図 2.5-15 幹線 8-3 号線

資表 2.5-22 整理表 (幹線 8-3 号線)

区間名	H8-3-1	H8-3-2	H8-3-3	H8-3-4
延長区間	0-200	200-400	400-600	600-676
延長(m)	200	200	200	76
舗装タイプ	H8-3-type1	H8-3-type1	H8-3-type1	H8-3-type1
舗装厚(m)	0.9	0.9	0.9	0.9
路床改良有無	×	×	×	×
液化化被害有無	×	×	×	×
被害数				
被害程度	-	-	-	-
噴砂発生有無				
被害ランク	-	-	-	-
最大水平変位(cm)				
最大鉛直変位(cm)				
液化化層厚(m) (FL値)	1.80	3.60	4.80	3.10
非液化化層厚(m) (FL値)	6.60	4.80	3.50	2.90
地下水位(m)	2.6	2	1.9	2.1
PL値	0.00	4.90	11.00	10.10
液化化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	1.80	3.60	4.80	3.10
非液化化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	6.6	4.8	3.5	2.9
液化化層/非液化化層厚 (舗装構成、地下水位を考慮)	0.3	0.8	1.4	1.1
埋立地	○	○	○	○
埋立造成年(西暦)	1970	1970	1970	1970
下水道直上被害有無				
下水道直上被害数				
下水道直上被害の 最大鉛直変位(cm)				

H8-4-type1

舗装構成	層厚(cm)	材料
表層	5	密粒度AS
基礎	10	粗粒度BB
上層路盤	15	再生粒度調整碎石
下層路盤	60	再生クラッシャーラン
路床		



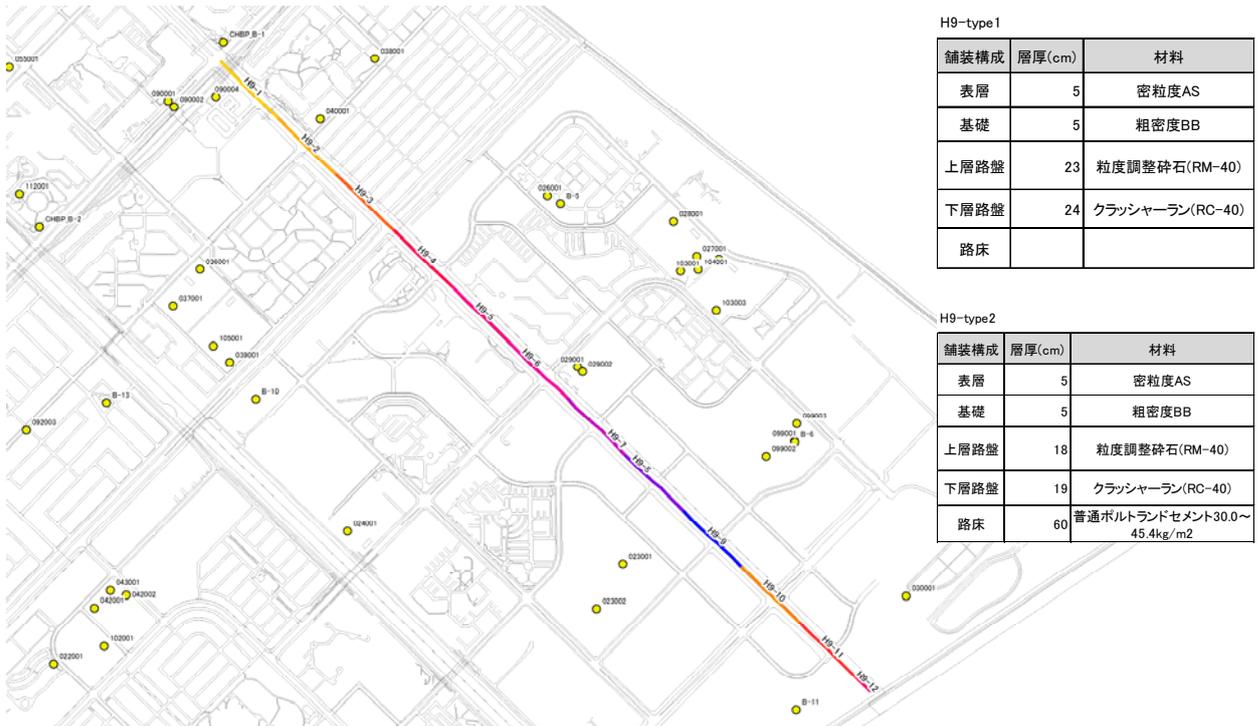
資図 2.5-16 幹線 8-4 号線

資表 2.5-23 整理表 (幹線 8-4 号線) (その 1)

区間名	H8-4-1	H8-4-2	H8-4-3	H8-4-4	H8-4-5	H8-4-6	H8-4-7	H8-4-8	H8-4-9	H8-4-10	H8-4-11	H8-4-12
延長区間	0-200	200-400	400-600	600-800	800-1000	1000-1200	1200-1400	1400-1600	1600-1800	1800-2000	2000-2200	2200-2400
延長(m)	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200
舗装タイプ	H8-4-type1											
舗装厚(m)	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9
路床改良有無	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
液状化被害有無	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
被害数												
被害程度	-											
噴砂発生有無												
被害ランク	-											
最大水平変位(cm)												
最大鉛直変位(cm)												
液状化層厚(m) (FL値)	3.60	3.00	2.20	2.00	0.00	0.00	1.20	2.70	1.90	0.00	0.00	1.10
非液状化層厚(m) (FL値)	3.50	4.70	4.40	4.00	3.40	3.80	4.80	6.30	7.80	8.90	9.30	9.00
地下水位(m)	1.9	1.7	2.4	2.9	2.5	0.7	1.1	1.9	2.4	2.9	3.2	2.5
PL値	9.70	7.00	5.80	2.50	0.00	9.80	13.20	13.90	10.30	2.70	0.00	4.30
液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	3.60	3.00	2.20	2.00	0.00	0.00	1.20	2.70	1.90	0.00	0.00	1.10
非液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	3.5	4.7	4.4	4	3.4	3.8	4.8	6.3	7.8	8.9	9.3	9
液状化層/非液状化層厚 (舗装構成、地下水位を考慮)	1.0	0.6	0.5	0.5	0.0	0.0	0.3	0.4	0.2	0.0	0.0	0.1
埋立地												
埋立造成年(西暦)	1970	1970	1970	1970	1967	1967	1967	1967	1967	1967	1967	1967
下水道直上被害有無												
下水道直上被害数												
下水道直上被害の 最大鉛直変位(cm)												

資表 2.5-24 整理表（幹線 8-4 号線）（その 2）

区間名	H8-4-13	H8-4-14	H8-4-15	H8-4-16
延長区間	2400-2600	2600-2800	2800-3000	3000-3136
延長(m)	200	200	200	136
舗装タイプ	H8-4-type1	H8-4-type1	H8-4-type1	H8-4-type1
舗装厚(m)	0.9	0.9	0.9	0.9
路床改良有無	×	×	×	×
液状化被害有無	×	×	×	×
被害数				
被害程度	—	—	—	—
噴砂発生有無				
被害ランク	—	—	—	—
最大水平変位(cm)				
最大鉛直変位(cm)				
液状化層厚(m) (FL値)	4.40	6.60	8.20	9.30
非液状化層厚(m) (FL値)	8.00	6.70	4.50	1.80
地下水位(m)	1.1	1.3	2.3	2.7
PL値	15.00	11.80	2.90	0.20
液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	4.40	6.60	8.20	8.40
非液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	8	6.7	4.5	2.7
液状化層/非液状化層厚 (舗装構成、地下水位を考慮)	0.6	1.0	1.8	3.1
埋立地				
埋立造成年(西暦)	1967	1967	1975	1975
下水道直上被害有無				
下水道直上被害数				
下水道直上被害の 最大鉛直変位(cm)				



H9-type1

舗装構成	層厚(cm)	材料
表層	5	密粒度AS
基礎	5	粗密度BB
上層路盤	23	粒度調整砕石(RM-40)
下層路盤	24	クラッシャーラン(RC-40)
路床		

H9-type2

舗装構成	層厚(cm)	材料
表層	5	密粒度AS
基礎	5	粗密度BB
上層路盤	18	粒度調整砕石(RM-40)
下層路盤	19	クラッシャーラン(RC-40)
路床	60	普通ポルトランドセメント30.0~45.4kg/m <sup>2</sup>

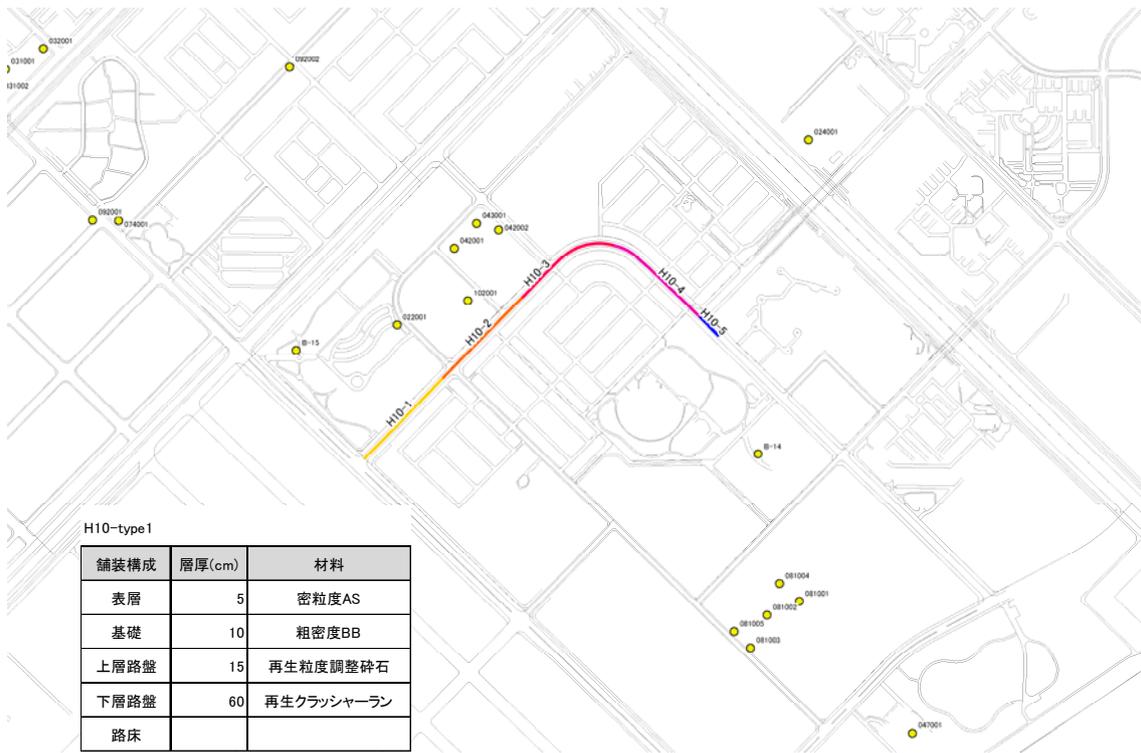
資図 2.5-17 幹線 9 号線

資表 2.5-25 整理表 (幹線 9 号線) (その 1)

区間名	H9-1	H9-2	H9-3	H9-4	H9-5	H9-6	H9-7	H9-8	H9-9	H9-10	H9-11
延長区間	0-200	200-400	400-600	600-800	800-1000	1000-1200	1200-1400	1400-1600	1600-1800	1800-2000	2000-2200
延長(m)	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200
舗装タイプ	H9-type1	H9-type1	H9-type1	H9-type1	H9-type1	H9-type1	H9-type2	H9-type2	H9-type1	H9-type1	H9-type1
舗装厚(m)	0.57	0.57	0.57	0.57	0.57	0.57	1.07	1.07	0.57	0.57	0.57
路床改良有無	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×
液状化被害有無	○	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×
被害数				4	4	6	3	9			
被害程度	緊急工事施工	-	-	舗装隆起 縁石破壊 噴砂(緊急 工事)	舗装隆起	舗装隆起 縁石隆起	舗装隆起・ 沈下・ひび 割れ	舗装ひび割 れ 縁石隆起	-	-	-
噴砂発生有無											
被害ランク	中	-	-	中	小	小	小	小	-	-	-
最大水平変位(cm)											
最大鉛直変位(cm)											
液状化層厚(m) (FL値)	2.90	5.10	6.00	7.80	10.80	11.00	5.40	2.60	3.00	3.80	4.40
非液状化層厚(m) (FL値)	0.30	0.40	0.70	1.00	1.20	1.50	1.80	2.80	4.90	6.30	5.70
地下水位(m)	1	0.5	0	0	0	0	0.7	1.2	1.5	1.7	1.9
PL値	12.20	15.20	15.30	14.50	15.10	14.90	14.40	21.00	16.80	7.90	5.20
液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	2.20	4.93	6.00	7.80	10.80	11.00	5.40	2.60	3.00	3.80	4.40
非液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	1	0.57	0.7	1	1.2	1.5	1.8	2.8	4.9	6.3	5.7
液状化層/非液状化層厚 (舗装構成、地下水位を考慮)	2.2	8.6	8.6	7.8	9.0	7.3	3.0	0.9	0.6	0.6	0.8
埋立地	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
埋立造成年(西暦)	1970	1970	1970	1970	1980	1980	1980	1980	1980	1980	1980
下水道直上被害有無	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
下水道直上被害数											
下水道直上被害の 最大鉛直変位(cm)											

資表 2.5-26 整理表 (幹線 9 号線) (その 2)

区間名	H9-12
延長区間	2200-2242
延長(m)	42
舗装タイプ	H9-type1
舗装厚(m)	0.57
路床改良有無	×
液状化被害有無	×
被害数	
被害程度	—
噴砂発生有無	
被害ランク	—
最大水平変位(cm)	
最大鉛直変位(cm)	
液状化層厚(m) (FL値)	4.50
非液状化層厚(m) (FL値)	4.40
地下水位(m)	2.2
PL値	4.90
液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	4.50
非液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	4.4
液状化層/非液状化層厚 (舗装構成、地下水位を考慮)	1.0
埋立地	○
埋立造成年(西暦)	1980
下水道直上被害有無	×
下水道直上被害数	
下水道直上被害の 最大鉛直変位(cm)	



資図 2.5-18 幹線 10 号線

資表 2.5-27 整理表 (幹線 10 号線)

区間名	H10-1	H10-2	H10-3	H10-4	H10-5
延長区間	0-200	200-400	400-600	600-800	800-844
延長(m)	200	200	200	200	44
舗装タイプ	H10-type1	H10-type1	H10-type1	H10-type1	H10-type1
舗装厚(m)	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9
路床改良有無	×	×	×	×	×
液状化被害有無	○(ただし、被災箇所的位置は不明)				
被害数					
被害程度	噴砂、ひび割れ、段差(最大7cm) (15箇所)				
噴砂発生有無					
被害ランク	小				
最大水平変位(cm)					
最大鉛直変位(cm)					
液状化層厚(m) (FL値)	0.10	4.50	7.50	8.63	8.50
非液状化層厚(m) (FL値)	5.30	2.00	0.70	0.60	1.20
地下水位(m)	1.8	1	1.2	1.6	1.6
PL値	15.70	34.00	30.30	25.80	21.60
液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	0.10	4.50	7.00	7.63	8.10
非液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	5.3	2	1.2	1.6	1.6
液状化層/非液状化層厚 (舗装構成、地下水位を考慮)	0.0	2.3	5.8	4.8	5.1
埋立地	○	○	○	○	○
埋立造成年(西暦)	1980	1980	1980	1980	1980
下水道直上被害有無					
下水道直上被害数					
下水道直上被害の 最大鉛直変位(cm)					

H11-type1

舗装構成	層厚(cm)	材料
表層	5	密粒度AS
基礎	5	粗粒度BB
上層路盤	23	粒度調整砕石(RM-40)
下層路盤	24	クラッシャーラン(RC-40)
路床		



資図 2.5-19 幹線11号線

資表 2.5-28 整理表 (幹線11号線) (その1)

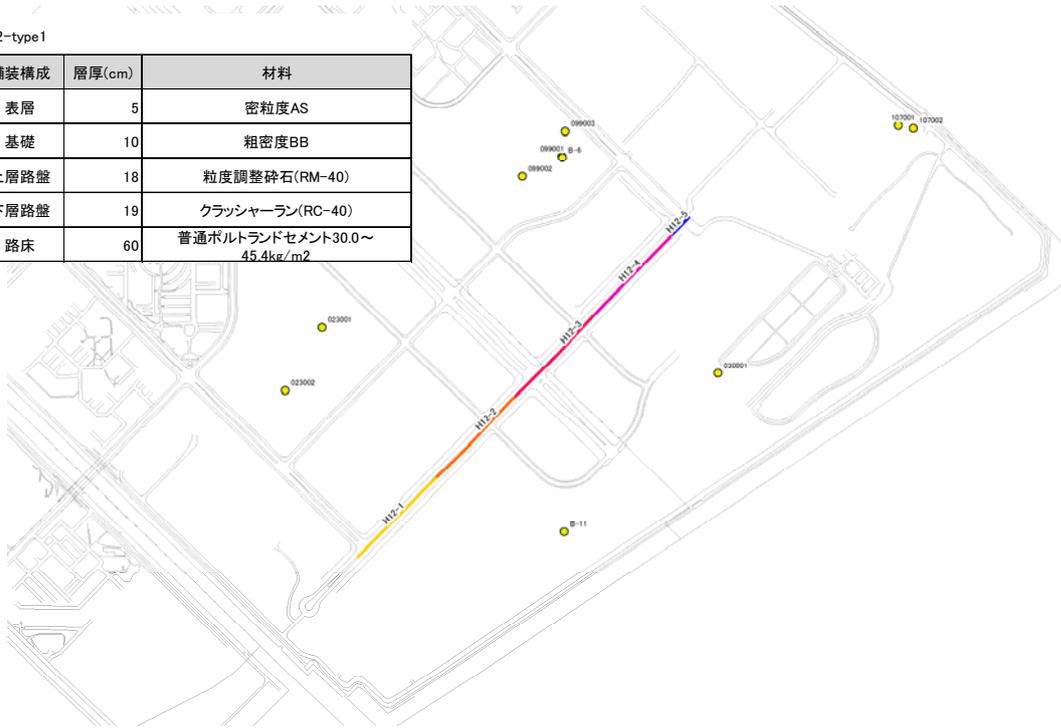
区間名	H11-1	H11-2	H11-3	H11-4	H11-5	H11-6	H11-7	H11-8	H11-9	H11-10
延長区間	0-200	200-400	400-600	600-800	800-1000	1000-1200	1200-1400	1400-1600	1600-1800	1800-2000
延長(m)	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200
舗装タイプ	H11-type1	H11-type1	H11-type1	H11-type1	H11-type1	H11-type1	H11-type1	H11-type1	H11-type1	H11-type1
舗装厚(m)	0.57	0.57	0.57	0.57	0.57	0.57	0.57	0.57	0.57	0.57
路床改良有無	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
液状化被害有無	×	×	○	○	○	○	×	×	○	×
被害数			7	9	10				11	
被害程度	—	—	隆起 (5cm)、ひび 割れ、損壊	隆起・沈下 (3cm)、ひび 割れ、緑石 隆起沈下	隆起 (9cm)、沈 下、ひび割 れ	緑石変状 (傾き)	—	—	隆起 (8cm)、沈 下、ひび割 れ、緑石隆 起	—
噴砂発生有無										
被害ランク	—	—	小	小	小	小	—	—	小	—
最大水平変位(cm)										
最大鉛直変位(cm)			5	3	9				8	
液状化層厚(m) (FL値)	9.40	10.00	9.10	8.60	10.00	9.80	9.30	9.30	4.00	2.80
非液状化層厚(m) (FL値)	0.90	0.80	1.20	1.20	1.40	1.80	2.70	2.00	5.00	9.50
地下水位(m)	1.7	1.7	0.9	0	0	2	2.7	1.5	1.5	1.4
PL値	18.10	10.00	6.30	7.30	11.80	21.20	31.30	32.30	26.40	1.80
液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	8.60	9.10	9.10	8.60	10.00	9.60	9.30	9.30	4.00	2.80
非液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	1.7	1.7	1.2	1.2	1.4	2	2.7	2	5	9.5
液状化層/非液状化層厚 (舗装構成、地下水位を考慮)	5.1	5.4	7.6	7.2	7.1	4.8	3.4	4.7	0.8	0.3
埋立地	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
埋立造成年(西暦)	1980	1980	1980	1980	1980	1980	1980	1980	1980	1980
下水道直上被害有無	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
下水道直上被害数										
下水道直上被害の 最大鉛直変位(cm)										

資表 2.5-29 整理表（幹線 11 号線）（その 2）

区間名	H11-11
延長区間	2000-2123
延長(m)	123
舗装タイプ	H11-type1
舗装厚(m)	0.57
路床改良有無	×
液状化被害有無	×
被害数	
被害程度	—
噴砂発生有無	
被害ランク	—
最大水平変位(cm)	
最大鉛直変位(cm)	
液状化層厚(m) (FL値)	4.80
非液状化層厚(m) (FL値)	11.60
地下水位(m)	1.3
PL値	0.00
液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	4.80
非液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	11.6
液状化層/非液状化層厚 (舗装構成、地下水位を考慮)	0.4
埋立地	○
埋立造成年(西暦)	1980
下水道直上被害有無	×
下水道直上被害数	
下水道直上被害の 最大鉛直変位(cm)	

H12-type1

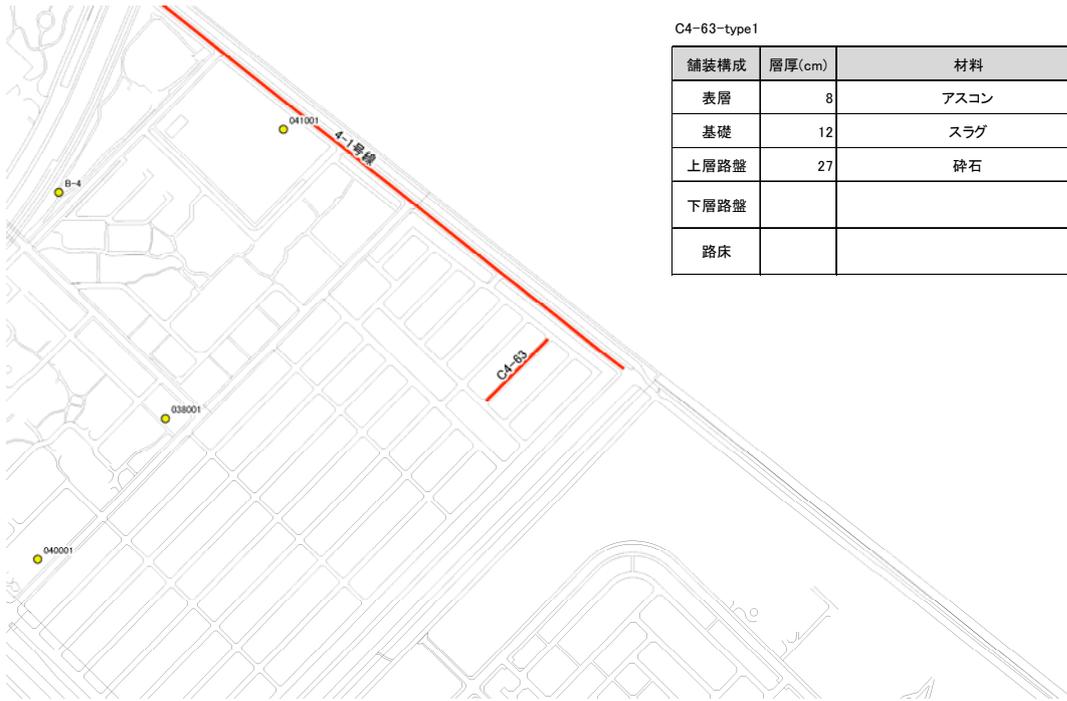
舗装構成	層厚(cm)	材料
表層	5	密粒度AS
基礎	10	粗密度BB
上層路盤	18	粒度調整碎石(RM-40)
下層路盤	19	クラッシャーラン(RC-40)
路床	60	普通ポルトランドセメント30.0～ 45.4kg/m <sup>2</sup>



資図 2.5-20 幹線12号線

資表 2.5-30 整理表 (幹線12号線)

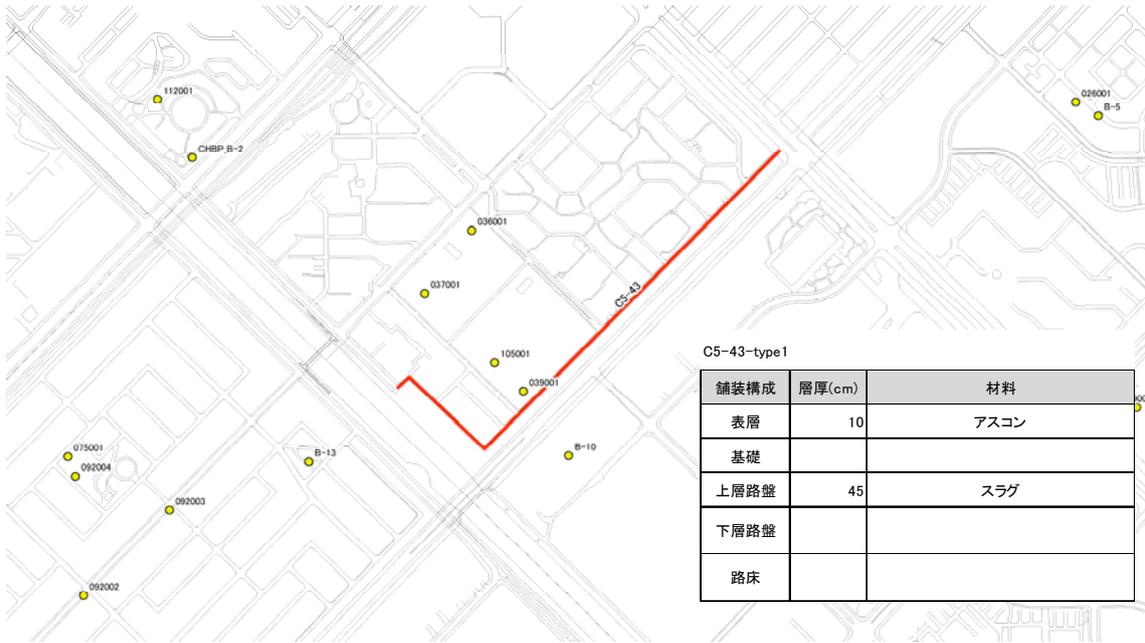
区間名	H12-1	H12-2	H12-3	H12-4	H12-5
延長区間	0-200	200-400	400-600	600-800	800-839
延長(m)	200	200	200	200	39
舗装タイプ	H12-type1	H12-type1	H12-type1	H12-type1	H12-type1
舗装厚(m)	1.12	1.12	1.12	1.12	1.12
路床改良有無	○	○	○	○	○
液状化被害有無	×	×	×	×	×
被害数					
被害程度	-	-	-	-	-
噴砂発生有無					
被害ランク	-	-	-	-	-
最大水平変位(cm)					
最大鉛直変位(cm)					
液状化層厚(m) (FL値)	0.50	2.00	4.50	5.60	5.20
非液状化層厚(m) (FL値)	4.40	5.40	6.90	9.40	11.40
地下水位(m)	2	1.9	1.6	1.7	1.7
PL値	2.20	6.00	7.00	0.00	0.00
液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	0.50	2.00	4.50	5.60	5.20
非液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	4.4	5.4	6.9	9.4	11.4
液状化層/非液状化層厚 (舗装構成、地下水位を考慮)	0.1	0.4	0.7	0.6	0.5
埋立地	○	○	○	○	○
埋立造成年(西暦)	1980	1980	1980	1980	1980
下水道直上被害有無					
下水道直上被害数					
下水道直上被害の 最大鉛直変位(cm)					



資図 2.5-21 4-63号線

資表 2.5-31 整理表 (4-63号線)

区間名	C4-63
延長区間	0-94
延長(m)	94
舗装タイプ	C4-63-type1
舗装厚(m)	0.47
路床改良有無	×
液状化被害有無	○
被害数	
被害程度	舗装せり上がり(被災直後通行止め)
噴砂発生有無	
被害ランク	大
最大水平変位(cm)	
最大鉛直変位(cm)	
液状化層厚(m) (FL値)	3.60
非液状化層厚(m) (FL値)	5.30
地下水位(m)	0.7
PL値	2.50
液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	3.60
非液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	5.3
液状化層/非液状化層厚 (舗装構成、地下水位を考慮)	0.7
埋立地	○
埋立造成年(西暦)	1975
下水道直上被害有無	
下水道直上被害数	
下水道直上被害の 最大鉛直変位(cm)	



資図 2.5-22 5-43 号線

資表 2.5-32 整理表 (5-43 号線)

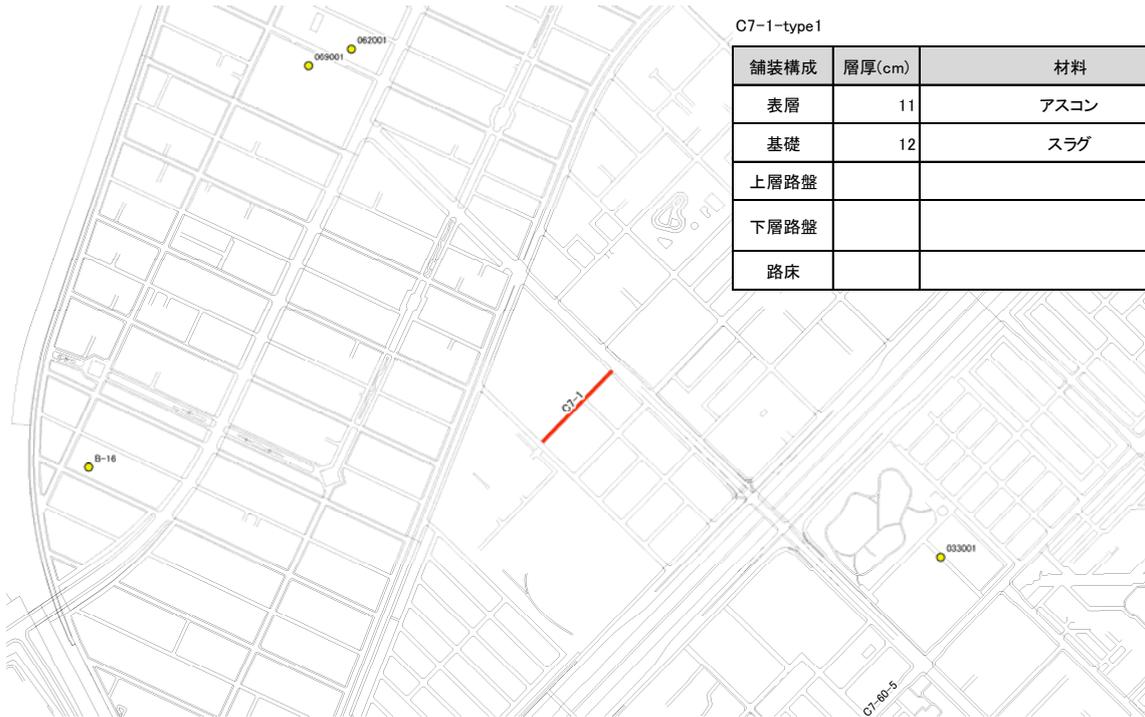
区間名	C5-43
延長区間	0-771
延長(m)	771
舗装タイプ	C5-43-type1
舗装厚(m)	0.55
路床改良有無	×
液状化被害有無	○
被害数	
被害程度	舗装せり上がり(被災直後通行止め)
噴砂発生有無	
被害ランク	大
最大水平変位(cm)	
最大鉛直変位(cm)	
液状化層厚(m) (FL値)	3.80
非液状化層厚(m) (FL値)	2.10
地下水位(m)	0.5
PL値	13.00
液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	3.80
非液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	2.1
液状化層/非液状化層厚 (舗装構成、地下水位を考慮)	1.8
埋立地	○
埋立造成年(西暦)	1970
下水道直上被害有無	
下水道直上被害数	
下水道直上被害の 最大鉛直変位(cm)	



資図 2.5-23 6-49号線

資表 2.5-33 整理表 (6-49号線)

区間名	C6-49
延長区間	0-238
延長(m)	238
舗装タイプ	C6-49-type1
舗装厚(m)	0.1
路床改良有無	×
液状化被害有無	○
被害数	14
被害程度	鉛直変位(13cm)、ひび割れ
噴砂発生有無	
被害ランク	小
最大水平変位(cm)	
最大鉛直変位(cm)	13
液状化層厚(m) (FL値)	3.50
非液状化層厚(m) (FL値)	4.60
地下水位(m)	1.4
PL値	15.30
液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	3.50
非液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	4.6
液状化層/非液状化層厚 (舗装構成、地下水位を考慮)	0.8
埋立地	○
埋立造成年(西暦)	1967
下水道直上被害有無	×
下水道直上被害数	
下水道直上被害の 最大鉛直変位(cm)	



C7-1-type1

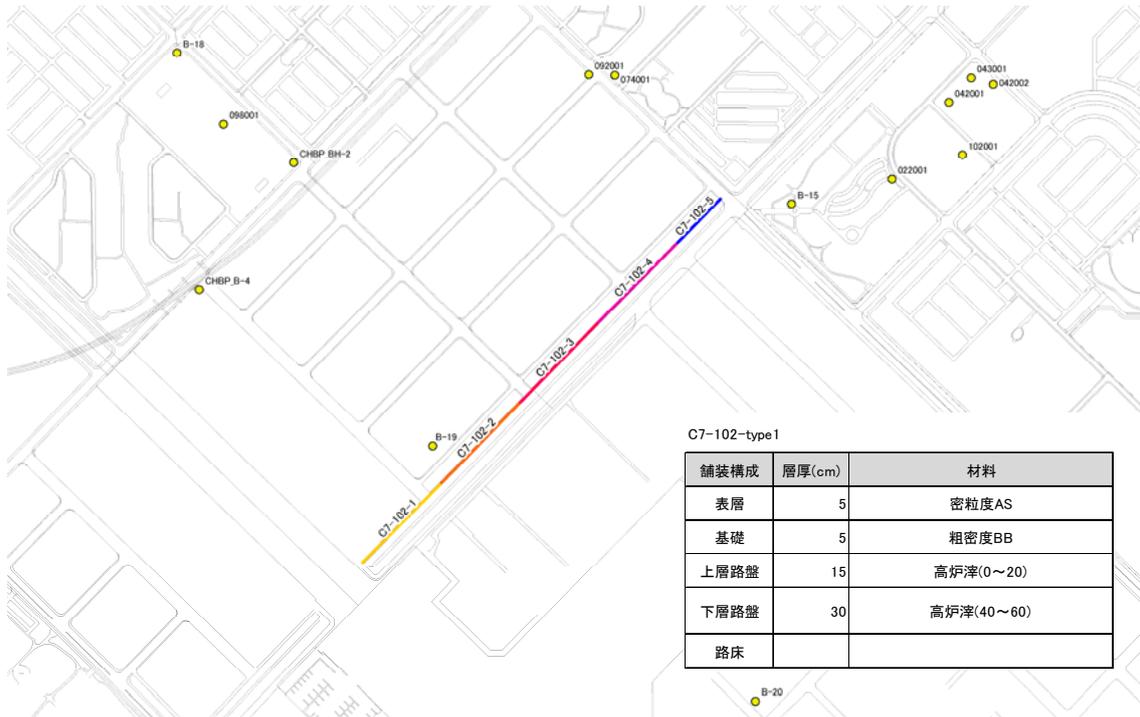
舗装構成	層厚(cm)	材料
表層	11	アスコン
基礎	12	スラグ
上層路盤		
下層路盤		
路床		

資図 2.5-24 7-1 号線

資表 2.5-34 整理表 (7-1 号線)

区間名	C7-1
延長区間	0-142
延長(m)	142
舗装タイプ	C7-1-type1
舗装厚(m)	0.23
路床改良有無	×
液状化被害有無	○
被害数	
被害程度	舗装せり上がり(被災後通行止め)
噴砂発生有無	
被害ランク	大
最大水平変位(cm)	
最大鉛直変位(cm)	
液状化層厚(m) (FL値)	0.80
非液状化層厚(m) (FL値)	12.80
地下水位(m)	3.8
PL値	0.00
液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	0.80
非液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	12.8
液状化層/非液状化層厚 (舗装構成、地下水位を考慮)	0.1
埋立地	○
埋立造成年(西暦)	1967
下水道直上被害有無	×
下水道直上被害数	
下水道直上被害の 最大鉛直変位(cm)	





資図 2.5-26 7-102 号線

資表 2.5-36 整理表 (7-102 号線)

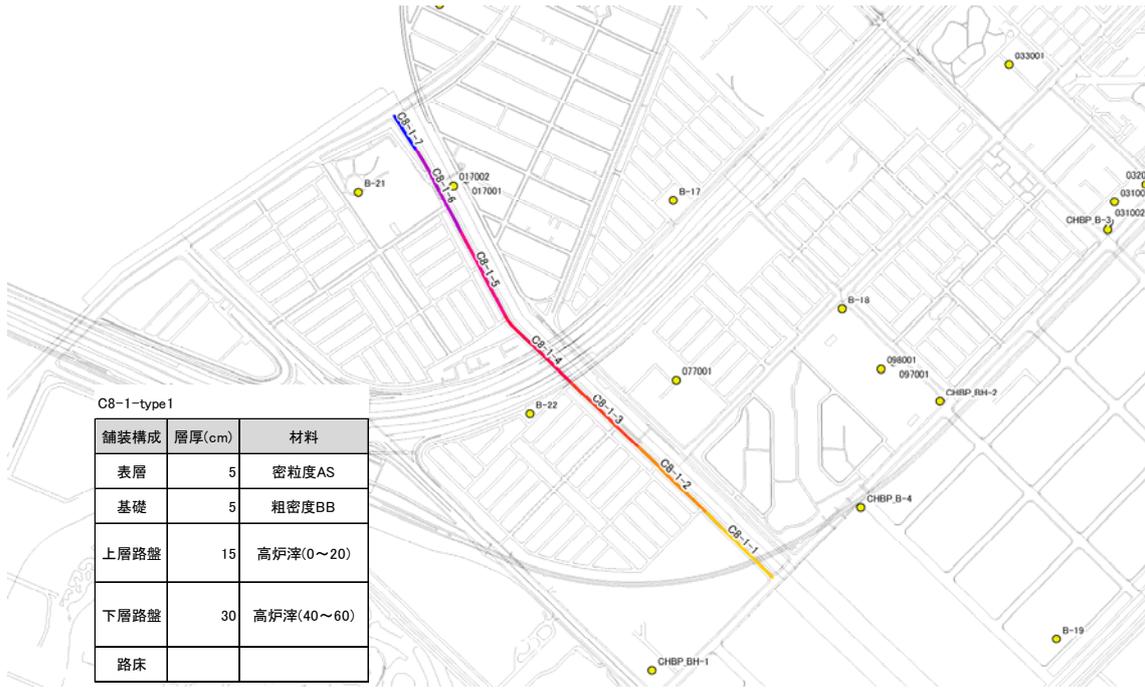
区間名	C7-102-1	C7-102-2	C7-102-3	C7-102-4	C7-102-5
延長区間	0-200	200-400	400-600	600-800	800-909
延長(m)	200	200	200	200	109
舗装タイプ	C7-102-type1	C7-102-type1	C7-102-type1	C7-102-type1	C7-102-type1
舗装厚(m)	0.55	0.55	0.55	0.55	0.55
路床改良有無	×	×	×	×	×
液状化被害有無	×	○	×	×	×
被害数		2	4		
被害程度	—	沈下(10cm)、ひび割れ	ひび割れ	側溝破壊	側溝隆起・沈下
噴砂発生有無					
被害ランク	—	小	小	小	小
最大水平変位(cm)					
最大鉛直変位(cm)		10			
液状化層厚(m) (FL値)	0.00	0.50	1.30	1.90	1.10
非液状化層厚(m) (FL値)	4.50	5.10	6.00	7.00	7.40
地下水位(m)	1.2	1.6	2.4	3.3	3.9
PL値	1.40	1.30	1.90	3.90	5.50
液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	0.00	0.50	1.30	1.90	1.10
非液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	4.5	5.1	6	7	7.4
液状化層/非液状化層厚 (舗装構成、地下水位を考慮)	0.0	0.1	0.2	0.3	0.1
埋立地	○	○	○	○	○
埋立造成年(西暦)	1967	1967	1967	1967	1967
下水道直上被害有無	×	×	×	×	×
下水道直上被害数					
下水道直上被害の 最大鉛直変位(cm)					



資図 2.5-27 7-105 号線

資表 2.5-37 整理表 (7-105 号線)

区間名	C7-105-1	C7-105-2	C7-105-3
延長区間	0-200	200-400	400-561
延長(m)	200	200	161
舗装タイプ	C7-105-type1	C7-105-type1	C7-105-type1
舗装厚(m)	0.49	0.49	0.49
路床改良有無	×	×	×
液状化被害有無	○	○	○
被害数	2	2	2
被害程度	段差(5cm)、側溝破壊	路面変状、ひび割れ、側溝沈下	路面沈下、側溝沈下
噴砂発生有無			
被害ランク	小	小	小
最大水平変位(cm)			
最大鉛直変位(cm)	5		
液状化層厚(m) (FL値)	0.00	0.00	0.00
非液状化層厚(m) (FL値)	3.00	3.40	4.20
地下水位(m)	2	1.8	1.4
PL値	0.00	0.00	0.40
液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	0.00	0.00	0.00
非液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	3	3.4	4.2
液状化層/非液状化層厚 (舗装構成、地下水位を考慮)	0.0	0.0	0.0
埋立地	○	○	○
埋立造成年(西暦)	1967	1967	1967
下水道直上被害有無	×	×	×
下水道直上被害数			
下水道直上被害の最大鉛直変位(cm)			



資図 2.5-28 8-1 号線

資表 2.5-38 整理表 (8-1 号線)

区間名	C8-1-1	C8-1-2	C8-1-3	C8-1-4	C8-1-5	C8-1-6	C8-1-7
延長区間	0-200	200-400	400-600	600-800	800-1000	1000-1200	1200-1281
延長(m)	200	200	200	200	200	200	81
舗装タイプ	C8-1-type1						
舗装厚(m)	0.55	0.55	0.55	0.55	0.55	0.55	0.55
路床改良有無	×	×	×	×	×	×	×
液状化被害有無	×	×	×	×	○	○	○
被害数					2	3	
被害程度	-	-	-	-	沈下	隆起	ひび割れ
噴砂発生有無							
被害ランク	-	-	-	-	小	小	小
最大水平変位(cm)							
最大鉛直変位(cm)							
液状化層厚(m) (FL値)	1.30	4.80	6.70	6.20	3.40	0.00	1.60
非液状化層厚(m) (FL値)	2.60	4.00	6.00	6.60	6.40	6.30	9.00
地下水位(m)	1.1	0.6	0.9	1.6	1	0	1.5
PL値	9.50	15.90	14.00	9.00	12.40	18.50	6.50
液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	1.30	4.80	6.70	6.20	3.40	0.00	1.60
非液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	2.6	4	6	6.6	6.4	6.3	9
液状化層/非液状化層厚 (舗装構成、地下水位を考慮)	0.5	1.2	1.1	0.9	0.5	0.0	0.2
埋立地	○	○	○	○	○	○	○
埋立造成年(西暦)	1970	1970	1970	1970	1970	1970	1970
下水道直上被害有無	×	×	×	×	×	×	×
下水道直上被害数							
下水道直上被害の 最大鉛直変位(cm)							

C8-2-type1

舗装構成	層厚(cm)	材料
表層	5	浸透式AS工
基礎		
上層路盤	25	鉱滓(0~20)
下層路盤		
路床	70	カーバイトカス10% 路床安定処理



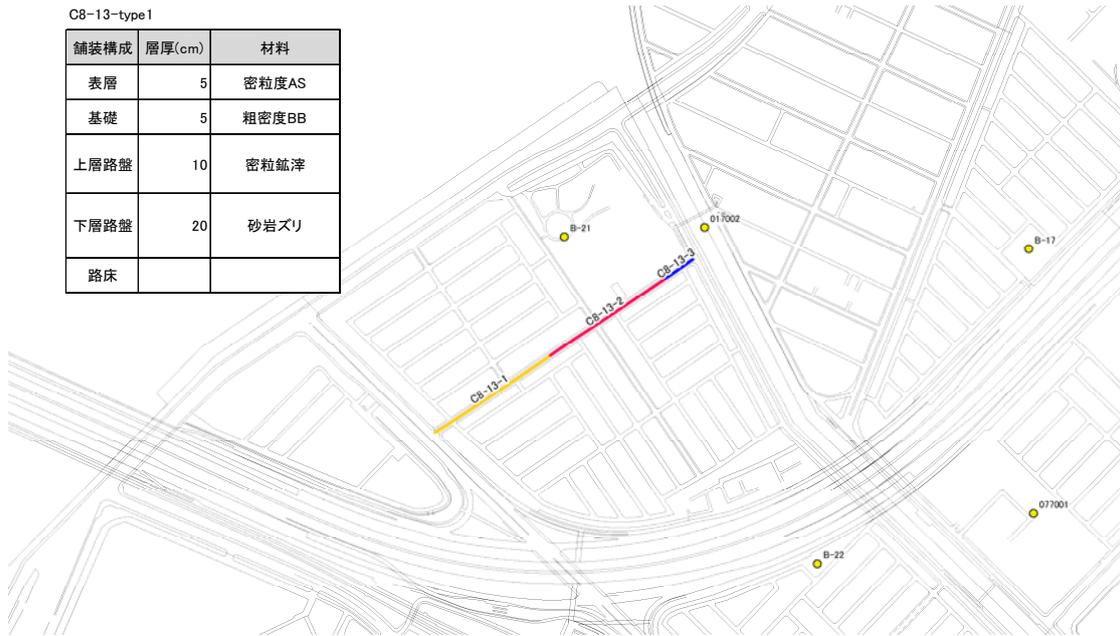
資図 2.5-29 8-2 号線

資表 2.5-39 整理表 (8-2 号線)

区間名	C8-2-1	C8-2-2
延長区間	0-200	200-304
延長(m)	200	104
舗装タイプ	C8-2-type1	C8-2-type1
舗装厚(m)	1	1
路床改良有無	○	○
液状化被害有無	○	×
被害数	4	
被害程度	ひび割れ	—
噴砂発生有無		
被害ランク	小	—
最大水平変位(cm)		
最大鉛直変位(cm)		
液状化層厚(m) (FL値)	1.50	3.50
非液状化層厚(m) (FL値)	8.20	5.00
地下水位(m)	1.3	2
PL値	7.40	1.60
液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	1.50	3.50
非液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	8.2	5
液状化層/非液状化層厚 (舗装構成、地下水位を考慮)	0.2	0.7
埋立地	○	○
埋立造成年(西暦)	1970	1967
下水道直上被害有無	×	×
下水道直上被害数		
下水道直上被害の 最大鉛直変位(cm)		

C8-13-type1

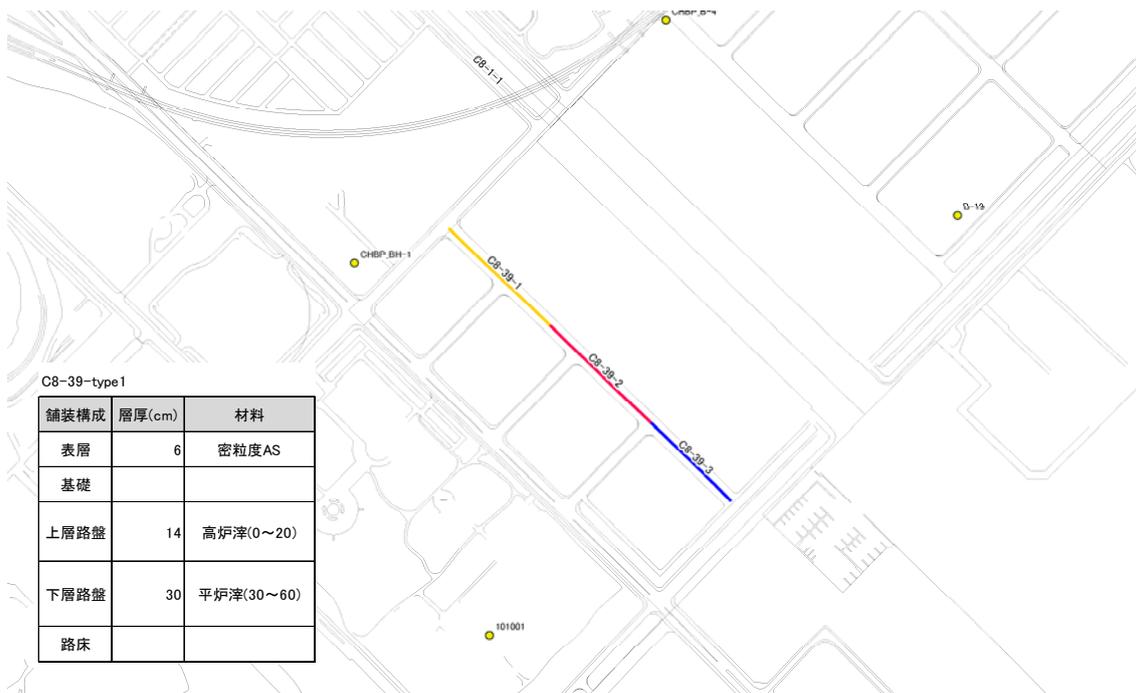
舗装構成	層厚(cm)	材料
表層	5	密粒度AS
基礎	5	粗粒度BB
上層路盤	10	密粒鉱滓
下層路盤	20	砂岩ズリ
路床		



資図 2.5-30 8-13号線

資表 2.5-40 整理表 (8-13号線)

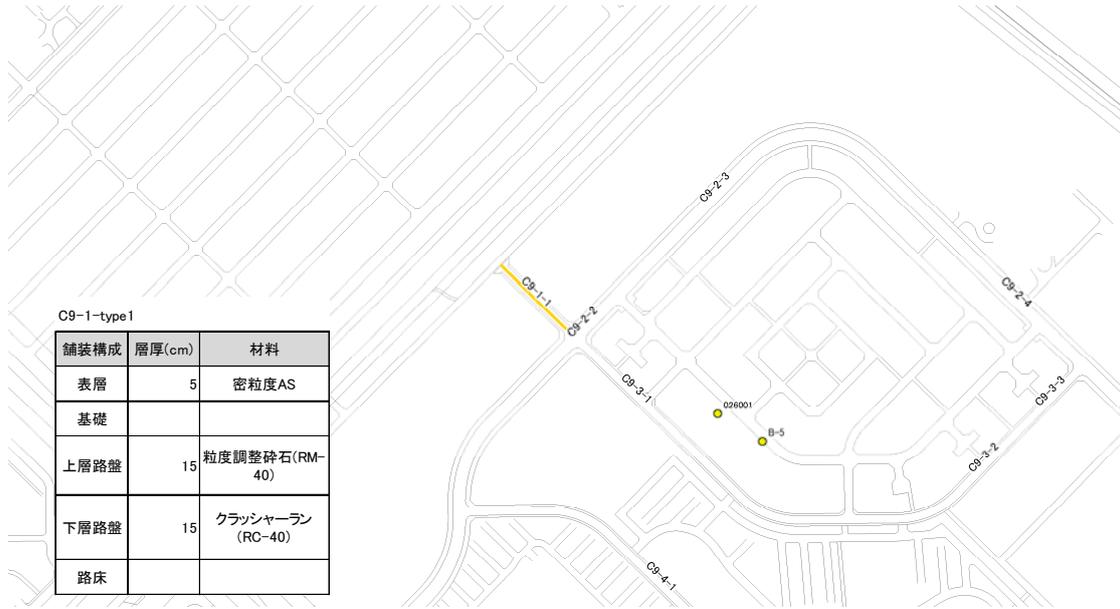
区間名	C8-13-1	C8-13-2	C8-13-3
延長区間	0-200	200-400	400-446
延長(m)	200	200	46
舗装タイプ	C8-13-type1	C8-13-type1	C8-13-type1
舗装厚(m)	0.4	0.4	0.4
路床改良有無	×	×	×
液状化被害有無	○	○	×
被害数	4	4	
被害程度	ひび割れ、歩道の変状	ひび割れ	—
噴砂発生有無			
被害ランク	小	小	—
最大水平変位(cm)			
最大鉛直変位(cm)			
液状化層厚(m) (FL値)	7.00	2.90	0.10
非液状化層厚(m) (FL値)	0.00	3.20	6.20
地下水位(m)	2.3	0.5	0
PL値	1.90	11.80	18.80
液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	4.70	2.90	0.10
非液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	2.3	3.2	6.2
液状化層/非液状化層厚 (舗装構成、地下水位を考慮)	2.0	0.9	0.0
埋立地	○	○	○
埋立造成年(西暦)	1970	1970	1970
下水道直上被害有無	×	×	×
下水道直上被害数			
下水道直上被害の 最大鉛直変位(cm)			



資図 2.5-31 8-39号線

資表 2.5-41 整理表 (8-39号線)

区間名	C8-39-1	C8-39-2	C8-39-3
延長区間	0-200	200-400	400-556
延長(m)	200	200	156
舗装タイプ	C8-39-type1	C8-39-type1	C8-39-type1
舗装厚(m)	0.5	0.5	0.5
路床改良有無	×	×	×
液状化被害有無	○	○	○
被害数	7	4	10
被害程度	変状、沈下	変状	ひび割れ、変状
噴砂発生有無			
被害ランク	小	小	小
最大水平変位(cm)			
最大鉛直変位(cm)			
液状化層厚(m) (FL値)	0.00	0.00	0.00
非液状化層厚(m) (FL値)	1.50	2.90	3.60
地下水位(m)	1.3	1.2	1.2
PL値	4.70	3.10	3.30
液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	0.00	0.00	0.00
非液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	1.5	2.9	3.6
液状化層/非液状化層厚 (舗装構成、地下水位を考慮)	0.0	0.0	0.0
埋立地	○	○	○
埋立造成年(西暦)	1967	1967	1967
下水道直上被害有無	×	○	○
下水道直上被害数		1	1
下水道直上被害の 最大鉛直変位(cm)			



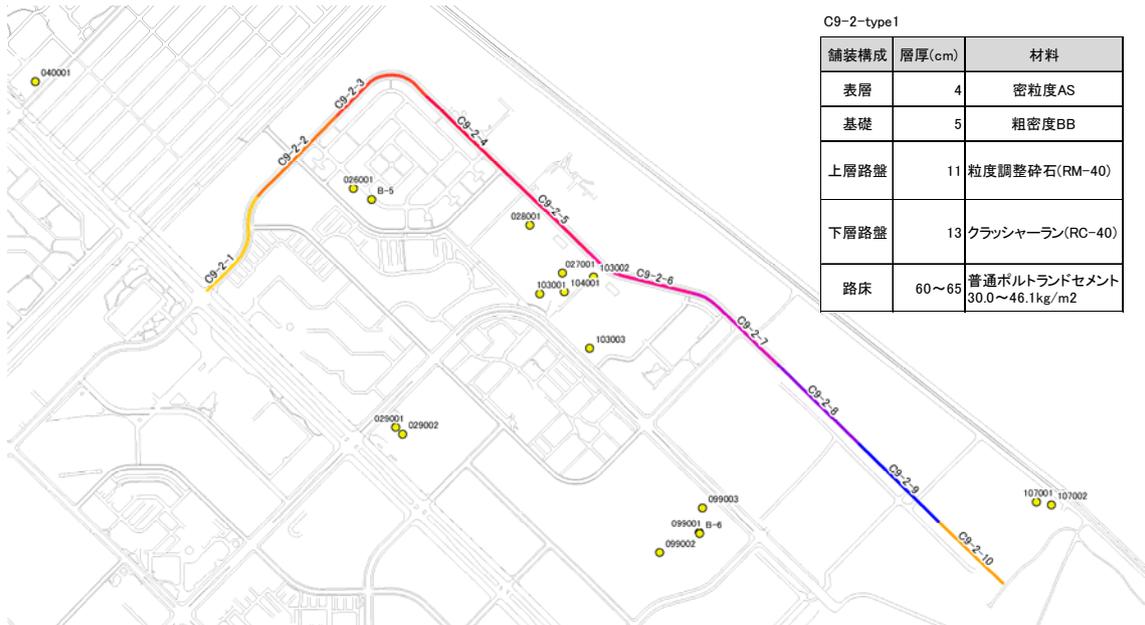
C9-1-type1

舗装構成	層厚(cm)	材料
表層	5	密粒度AS
基礎		
上層路盤	15	粒度調整碎石(RM-40)
下層路盤	15	クラッシャーラン(RC-40)
路床		

資図 2.5-32 9-1 号線

資表 2.5-42 整理表 (9-1 号線)

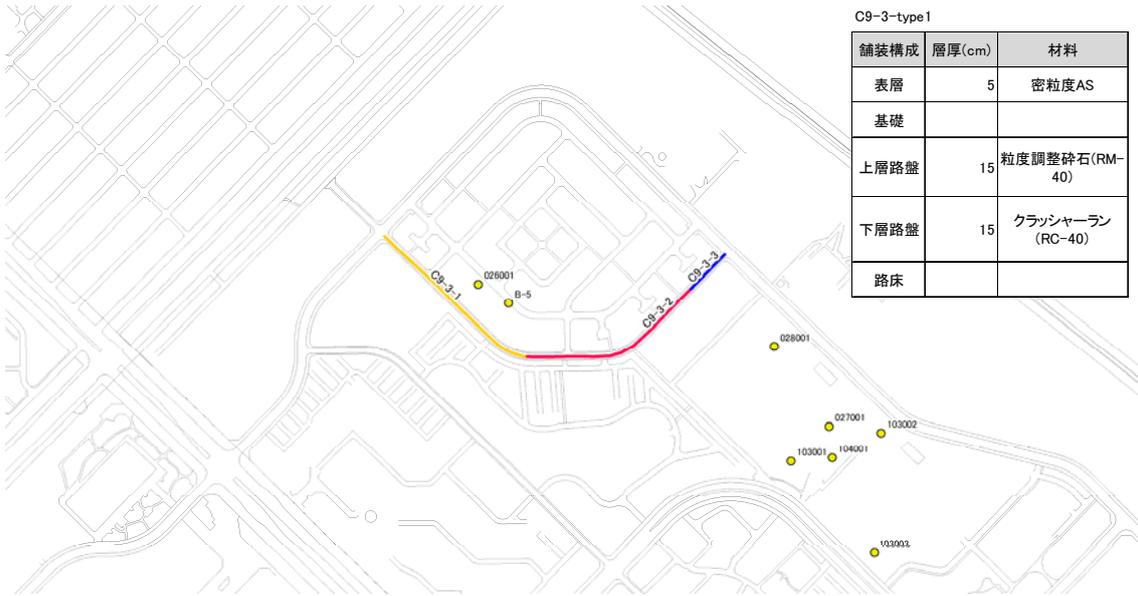
区間名	C9-1-1
延長区間	0-69
延長(m)	69
舗装タイプ	C9-1-type1
舗装厚(m)	0.35
路床改良有無	×
液状化被害有無	○
被害数	4
被害程度	隆起、舗装破壊、噴砂
噴砂発生有無	
被害ランク	小
最大水平変位(cm)	
最大鉛直変位(cm)	
液状化層厚(m) (FL値)	5.00
非液状化層厚(m) (FL値)	1.90
地下水位(m)	0
PL値	11.00
液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	5.00
非液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	1.9
液状化層/非液状化層厚 (舗装構成、地下水位を考慮)	2.6
埋立地	○
埋立造成年(西暦)	1970
下水道直上被害有無	×
下水道直上被害数	
下水道直上被害の 最大鉛直変位(cm)	



資図 2.5-33 9-2 号線

資表 2.5-43 整理表 (9-2 号線)

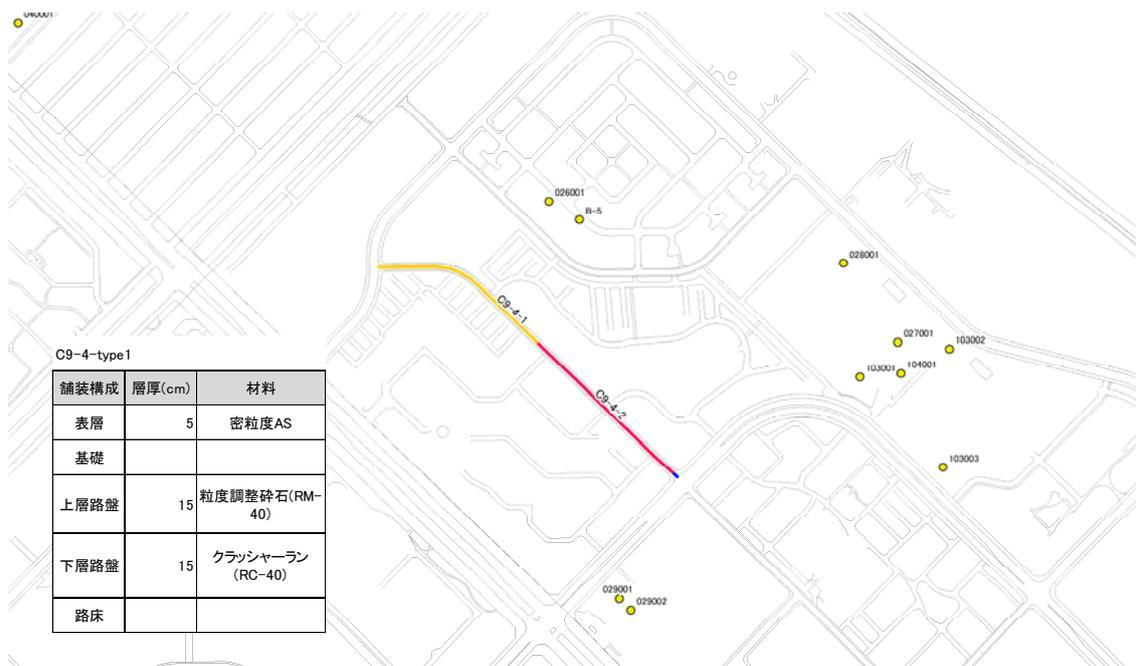
区間名	C9-2-1	C9-2-2	C9-2-3	C9-2-4	C9-2-5	C9-2-6	C9-2-7	C9-2-8	C9-2-9	C9-2-10
延長区間	0-200	200-400	400-600	600-800	800-1000	1000-1200	1200-1400	1400-1600	1600-1800	1800-1956
延長(m)	200	200	200	200	200	200	200	200	200	156
舗装タイプ	C9-2-type1	C9-2-type1	C9-2-type1	C9-2-type1	C9-2-type1	C9-2-type1	C9-2-type1	C9-2-type1	C9-2-type1	C9-2-type1
舗装厚(m)	0.93	0.93	0.93	0.93	0.93	0.93	0.93	0.93	0.93	0.93
路床改良有無	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
液状化被害有無	○	○	×	○	×	×	×	×	×	×
被害数	3	8		12						
被害程度	沈下、隆起 (3cm)、舗装 打ち替え	隆起 (20cm)、舗 装打ち替え	—	段差(3cm)	—	—	—	—	—	—
噴砂発生有無										
被害ランク	小	小	—	小	—	—	—	—	—	—
最大水平変位(cm)										
最大鉛直変位(cm)	3	20		3						
液状化層厚(m) (FL値)	8.00	5.40	3.90	4.50	4.90	11.00	8.30	4.70	5.20	6.60
非液状化層厚(m) (FL値)	1.30	1.90	2.60	4.10	4.70	4.50	8.10	12.50	14.00	11.90
地下水位(m)	0	0	0	0.2	1	3.3	2.8	2.1	1.5	1.4
PL値	14.30	11.60	8.70	14.10	12.70	15.00	10.20	2.30	0.00	0.00
液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	8.00	5.40	3.90	4.50	4.90	11.00	8.30	4.70	5.20	6.60
非液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	1.3	1.9	2.6	4.1	4.7	4.5	8.1	12.5	14	11.9
液状化層/非液状化層厚 (舗装構成、地下水位を考慮)	6.2	2.8	1.5	1.1	1.0	2.4	1.0	0.4	0.4	0.6
埋立地	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
埋立造成年(西暦)	1977	1977	1977	1977	1977	1977	1977	1977	1977	1977
下水道直上被害有無	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
下水道直上被害数										
下水道直上被害の 最大鉛直変位(cm)										



資図 2.5-34 9-3 号線

資表 2.5-44 整理表 (9-3 号線)

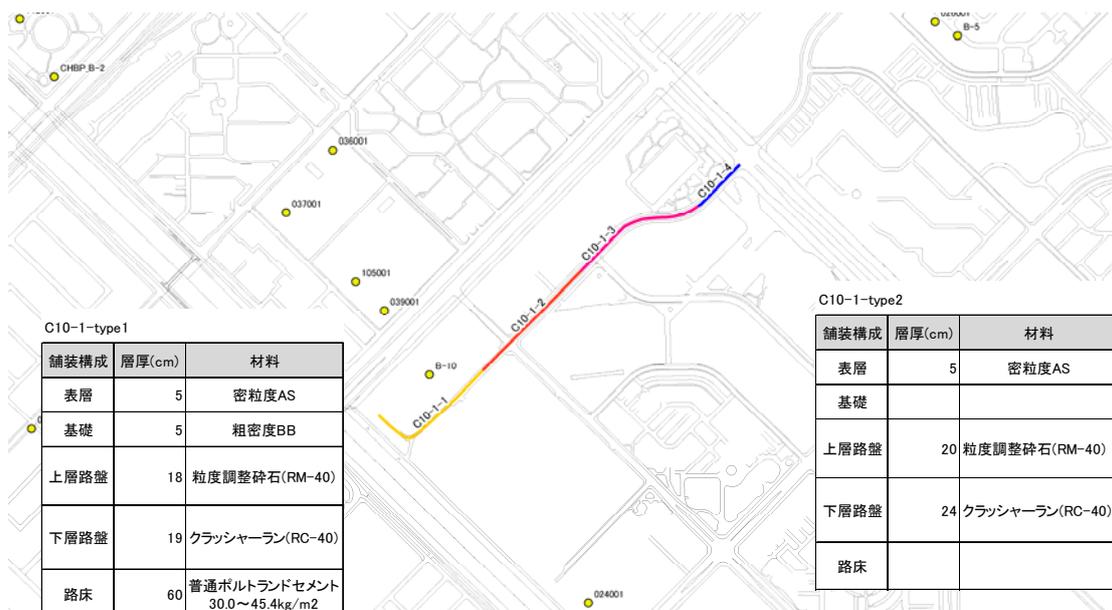
区間名	C9-3-1	C9-3-2	C9-3-3
延長区間	0-200	200-400	400-450
延長(m)	200	200	50
舗装タイプ	C9-3-type1	C9-3-type1	C9-3-type1
舗装厚(m)	0.35	0.35	0.35
路床改良有無	×	×	×
液状化被害有無	○	○	○
被害数	6	8	4
被害程度	沈下・隆起 (2cm)	沈下・隆起 (8cm)、ひび 割れ	隆起・沈下 (10cm)、ひび 割れ
噴砂発生有無			
被害ランク	小	小	小
最大水平変位(cm)			
最大鉛直変位(cm)	2	8	10
液状化層厚(m) (FL値)	6.60	6.70	4.90
非液状化層厚(m) (FL値)	1.80	2.70	4.10
地下水位(m)	0.3	1.7	0.4
PL値	13.60	21.30	18.70
液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	6.60	6.70	4.90
非液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	1.8	2.7	4.1
液状化層/非液状化層厚 (舗装構成、地下水位を考慮)	3.7	2.5	1.2
埋立地	○	○	○
埋立造成年(西暦)	1977	1977	1977
下水道直上被害有無	○		○
下水道直上被害数	1		2
下水道直上被害の 最大鉛直変位(cm)			5



資図 2.5-35 9-4 号線

資表 2.5-45 整理表 (9-4 号線)

区間名	C9-4-1	C9-4-2	C9-4-3
延長区間	0-200	200-400	400-405
延長(m)	200	200	5
舗装タイプ	C9-4-type1	C9-4-type1	C9-4-type1
舗装厚(m)	0.35	0.35	0.35
路床改良有無	×	×	×
液状化被害有無	×	×	×
被害数			
被害程度	-	-	-
噴砂発生有無			
被害ランク	-	-	-
最大水平変位(cm)			
最大鉛直変位(cm)			
液状化層厚(m) (FL値)	7.90	10.10	9.70
非液状化層厚(m) (FL値)	1.70	1.90	1.90
地下水位(m)	0.3	2.1	2.5
PL値	14.70	22.20	25.80
液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	7.90	9.90	9.10
非液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	1.7	2.1	2.5
液状化層/非液状化層厚 (舗装構成、地下水位を考慮)	4.6	4.7	3.6
埋立地	○	○	○
埋立造成年(西暦)	1980	1980	1980
下水道直上被害有無			
下水道直上被害数			
下水道直上被害の 最大鉛直変位(cm)			



C10-1-type1

舗装構成	層厚(cm)	材料
表層	5	密粒度AS
基礎	5	粗密度BB
上層路盤	18	粒度調整砕石(RM-40)
下層路盤	19	クラッシャーラン(RC-40)
路床	60	普通ポルトランドセメント 30.0~45.4kg/m <sup>2</sup>

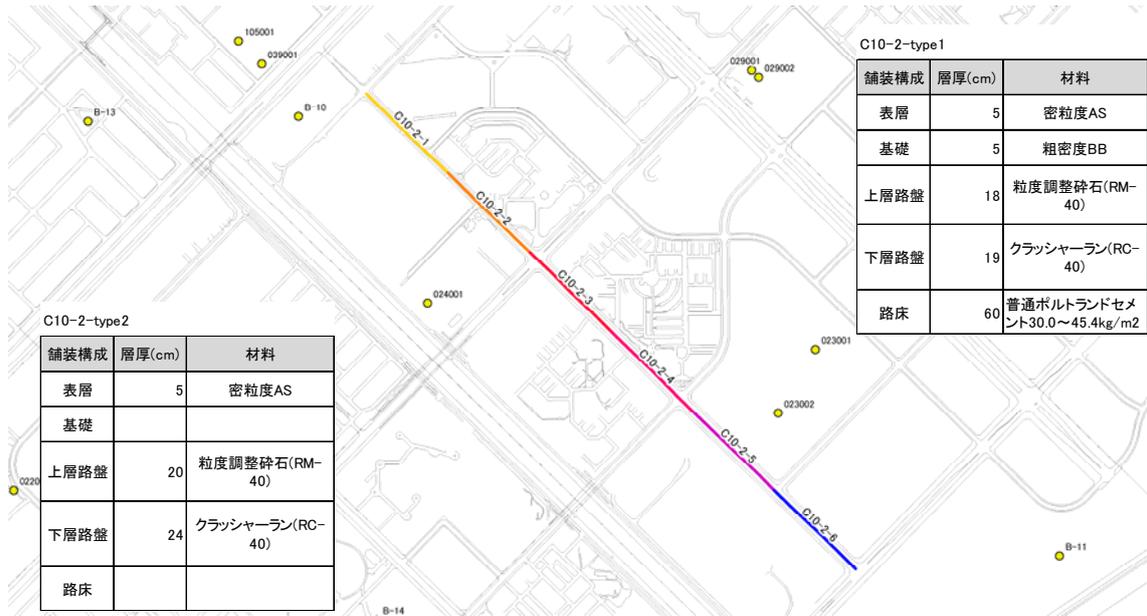
C10-1-type2

舗装構成	層厚(cm)	材料
表層	5	密粒度AS
基礎		
上層路盤	20	粒度調整砕石(RM-40)
下層路盤	24	クラッシャーラン(RC-40)
路床		

資図 2.5-36 10-1号線

資表 2.5-46 整理表 (10-1号線)

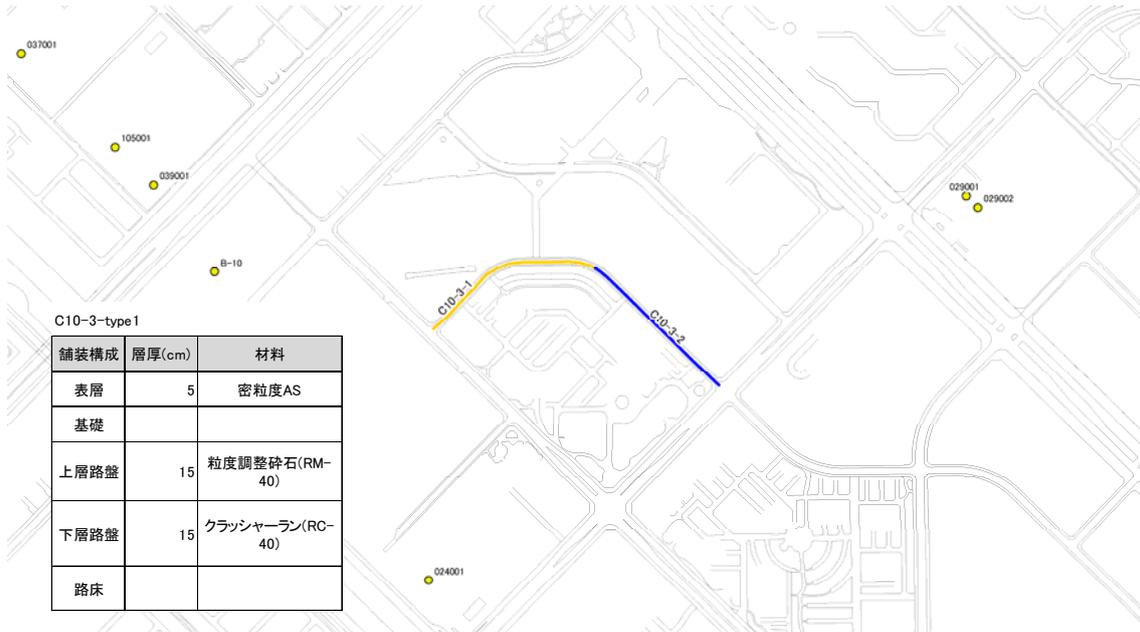
区間名	C10-1-1	C10-1-2	C10-1-3	C10-1-4
延長区間	0-200	200-400	400-600	600-681
延長(m)	200	200	200	81
舗装タイプ	C10-1-type1	C10-1-type2	C10-1-type2	C10-1-type2
舗装厚(m)	1.07	0.49	0.49	0.49
路床改良有無	○	×	×	×
液状化被害有無	×	×	○	○
被害数			5	3
被害程度	—	—	隆起(7cm)、ひび割れ	ひび割れ
噴砂発生有無				
被害ランク	—	—	小	小
最大水平変位(cm)				
最大鉛直変位(cm)			7	
液状化層厚(m) (FL値)	1.00	3.00	6.80	8.40
非液状化層厚(m) (FL値)	1.10	1.50	1.10	1.30
地下水位(m)	1.4	0.2	0	0
PL値	9.20	10.00	13.30	14.10
液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	0.70	3.00	6.80	8.40
非液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	1.4	1.5	1.1	1.3
液状化層/非液状化層厚 (舗装構成、地下水位を考慮)	0.5	2.0	6.2	6.5
埋立地	○	○	○	○
埋立造成年(西暦)	1980	1980	1980	1980
下水道直上被害有無	×	×	×	×
下水道直上被害数				
下水道直上被害の 最大鉛直変位(cm)				



資図 2.5-37 10-2 号線

資表 2.5-47 整理表 (10-2 号線)

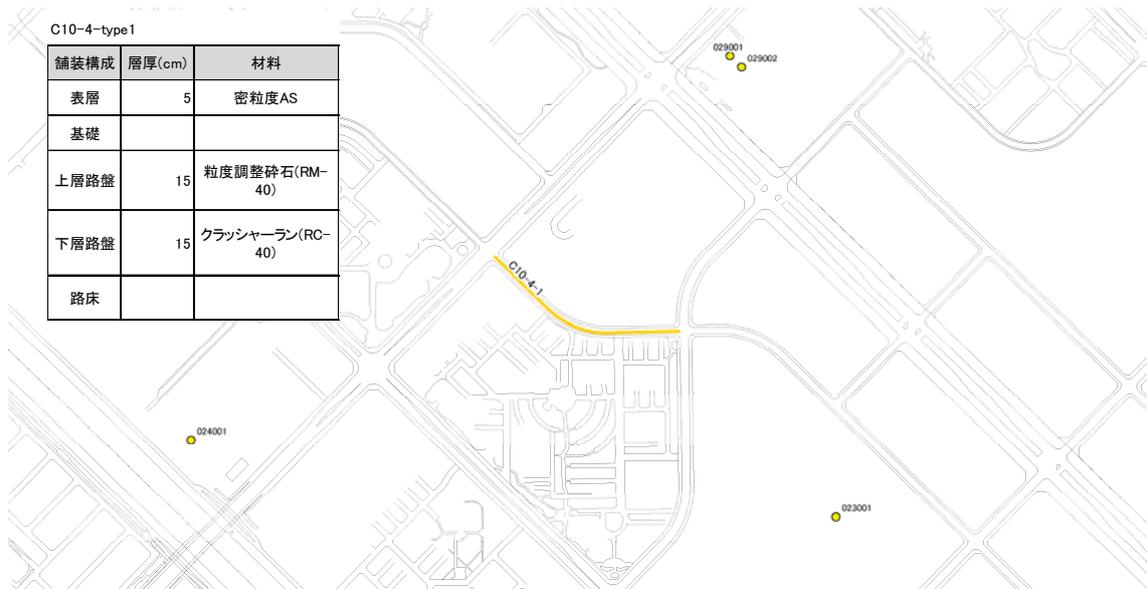
区間名	C10-2-1	C10-2-2	C10-2-3	C10-2-4	C10-2-5	C10-2-6
延長区間	0-200	200-400	400-600	600-800	800-1000	1000-1198
延長(m)	200	200	200	200	200	198
舗装タイプ	C10-2-type1	C10-2-type1	C10-2-type1	C10-2-type1	C10-2-type2	C10-2-type2
舗装厚(m)	1.07	1.07	1.07	1.07	0.49	0.49
路床改良有無	○	○	○	○	×	×
液状化被害有無	○	○	○	×	×	×
被害数	2	8	4			
被害程度	ひび割れ	隆起・沈下(3cm)、ひび割れ	隆起・沈下	—	—	—
噴砂発生有無						
被害ランク	小	小	小	—	—	—
最大水平変位(cm)						
最大鉛直変位(cm)		3				
液状化層厚(m)(FL値)	4.20	8.40	8.00	4.20	1.00	0.20
非液状化層厚(m)(FL値)	1.00	1.00	1.20	1.90	3.00	3.70
地下水位(m)	0.4	0.5	0.7	1.1	1.5	1.8
PL値	8.70	7.10	5.60	4.20	2.80	2.10
液状化層厚(m)(舗装構成、地下水位を考慮)	4.13	8.33	8.00	4.20	1.00	0.20
非液状化層厚(m)(舗装構成、地下水位を考慮)	1.07	1.07	1.2	1.9	3	3.7
液状化層/非液状化層厚(舗装構成、地下水位を考慮)	3.9	7.8	6.7	2.2	0.3	0.1
埋立地	○	○	○	○	○	○
埋立造成年(西暦)	1980	1980	1980	1980	1980	1980
下水道直上被害有無	×	×	×	×	×	×
下水道直上被害数						
下水道直上被害の最大鉛直変位(cm)						



資図 2.5-38 10-3 号線

資表 2.5-48 整理表 (10-3 号線)

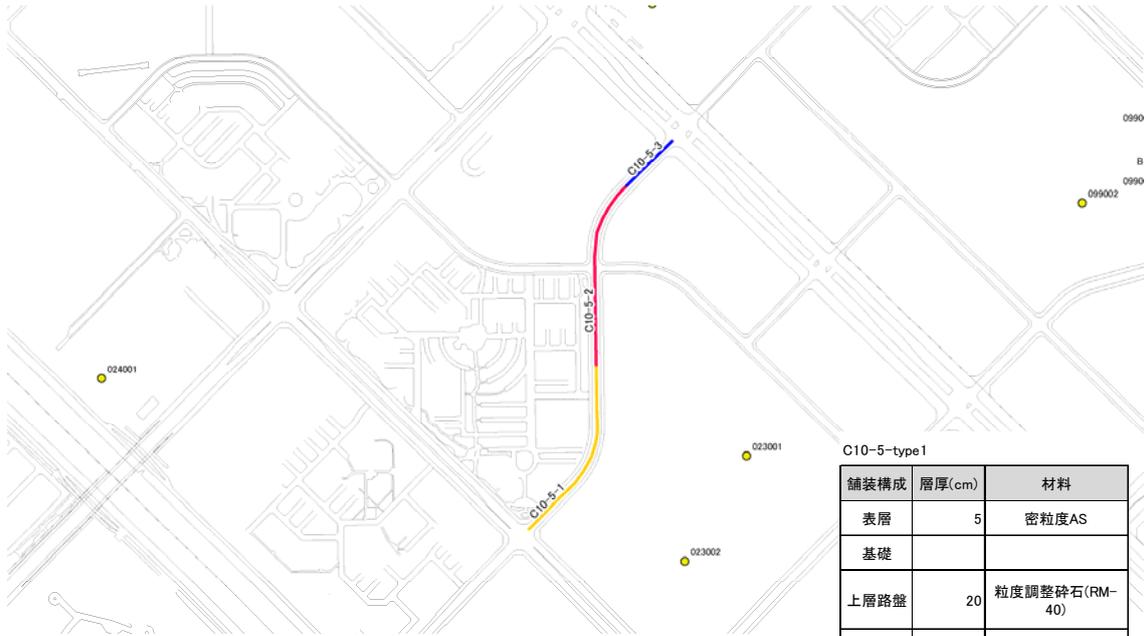
区間名	C10-3-1	C10-3-2
延長区間	0-200	200-381
延長(m)	200	181
舗装タイプ	C10-3-type1	C10-3-type1
舗装厚(m)	0.35	0.35
路床改良有無	×	×
液状化被害有無	○	○
被害数	4	2
被害程度	隆起・沈下、ひび割れ	隆起・沈下
噴砂発生有無		
被害ランク	小	小
最大水平変位(cm)		
最大鉛直変位(cm)		
液状化層厚(m) (FL値)	6.70	9.30
非液状化層厚(m) (FL値)	0.90	1.10
地下水位(m)	0	0
PL値	9.20	8.50
液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	6.70	9.30
非液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	0.9	1.1
液状化層/非液状化層厚 (舗装構成、地下水位を考慮)	7.4	8.5
埋立地	○	○
埋立造成年(西暦)	1980	1980
下水道直上被害有無	×	×
下水道直上被害数		
下水道直上被害の 最大鉛直変位(cm)		



資図 2.5-39 10-4 号線

資表 2.5-49 整理表 (10-4 号線)

区間名	C10-4-1
延長区間	0-224
延長(m)	224
舗装タイプ	C10-4-type1
舗装厚(m)	0.35
路床改良有無	×
液状化被害有無	○
被害数	2
被害程度	変状
噴砂発生有無	
被害ランク	小
最大水平変位(cm)	
最大鉛直変位(cm)	
液状化層厚(m) (FL値)	6.60
非液状化層厚(m) (FL値)	1.50
地下水位(m)	
PL値	7.10
液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	6.60
非液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	1.5
液状化層/非液状化層厚 (舗装構成、地下水位を考慮)	4.4
埋立地	○
埋立造成年(西暦)	1980
下水道直上被害有無	×
下水道直上被害数	
下水道直上被害の 最大鉛直変位(cm)	



資図 2.5-40 10-5 号線

C10-5-type1

舗装構成	層厚(cm)	材料
表層	5	密粒度AS
基礎		
上層路盤	20	粒度調整砕石(RM-40)
下層路盤	24	クラッシャーラン(RC-40)
路床		

資表 2.5-50 整理表 (10-5 号線)

区間名	C10-5-1	C10-5-2	C10-5-3
延長区間	0-200	200-400	400-467
延長(m)	200	200	67
舗装タイプ	C10-5-type1	C10-5-type1	C10-5-type1
舗装厚(m)	0.49	0.49	0.49
路床改良有無	×	×	×
液状化被害有無	○	○	○
被害数	1	5	3
被害程度	隆起	隆起・沈下、ひび割れ	隆起・沈下、ひび割れ、変状
噴砂発生有無			
被害ランク	小	小	小
最大水平変位(cm)			
最大鉛直変位(cm)			
液状化層厚(m) (FL値)	2.00	4.40	5.00
非液状化層厚(m) (FL値)	2.20	1.70	1.70
地下水位(m)	1.1	0.3	0.3
PL値	5.70	9.40	12.40
液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	2.00	4.40	5.00
非液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	2.2	1.7	1.7
液状化層/非液状化層厚 (舗装構成、地下水位を考慮)	0.9	2.6	2.9
埋立地	○	○	○
埋立造成年(西暦)	1980	1980	1980
下水道直上被害有無	×	×	×
下水道直上被害数			
下水道直上被害の 最大鉛直変位(cm)			



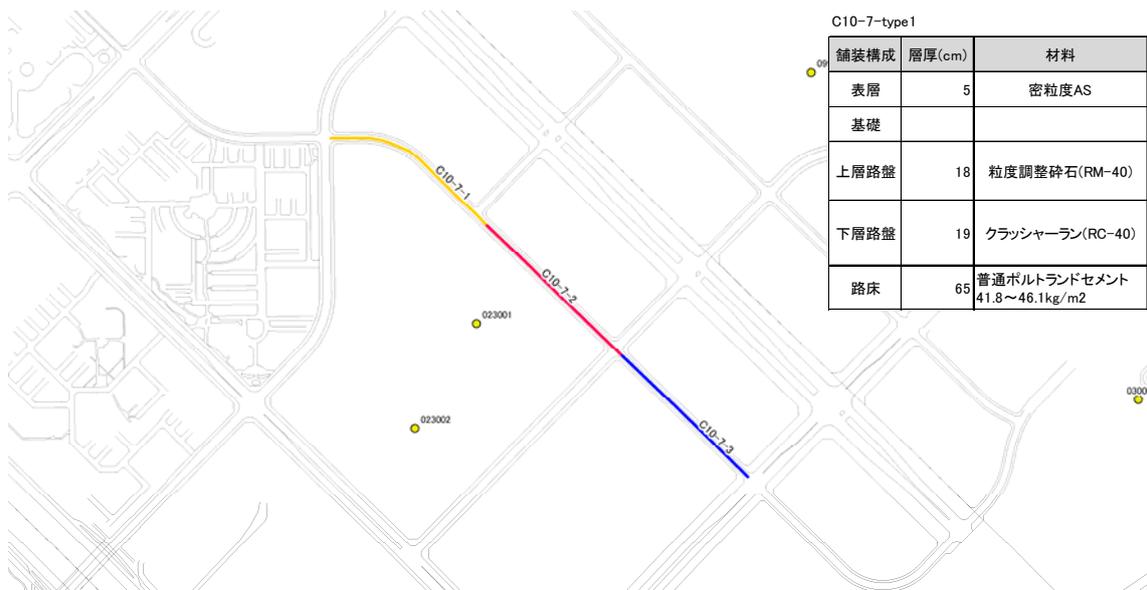
資図 2.5-41 10-6 号線

C10-6-type1

舗装構成	層厚(cm)	材料
表層	5	密粒度AS
基礎		
上層路盤	20	粒度調整碎石(RM-40)
下層路盤	24	クラッシャーラン(RC-40)
路床		

資表 2.5-51 整理表 (10-6 号線)

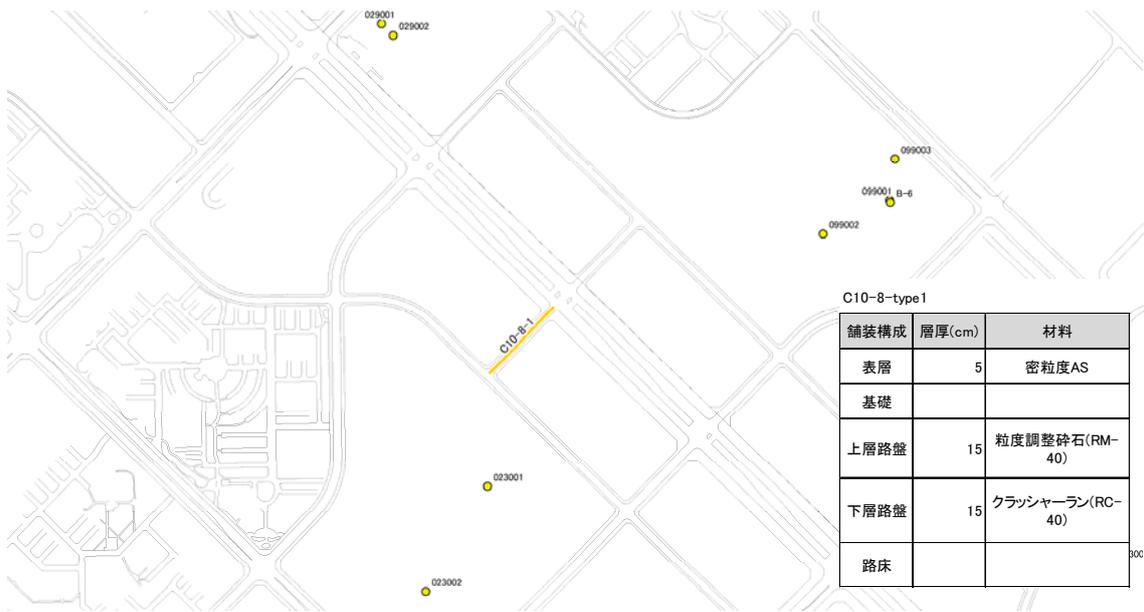
区間名	C10-6-1
延長区間	0-224
延長(m)	224
舗装タイプ	C10-6-type1
舗装厚(m)	0.49
路床改良有無	×
液状化被害有無	×
被害数	
被害程度	—
噴砂発生有無	
被害ランク	—
最大水平変位(cm)	
最大鉛直変位(cm)	
液状化層厚(m) (FL値)	4.00
非液状化層厚(m) (FL値)	2.20
地下水位(m)	1.3
PL値	4.00
液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	4.00
非液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	2.2
液状化層/非液状化層厚 (舗装構成、地下水位を考慮)	1.8
埋立地	○
埋立造成年(西暦)	1980
下水道直上被害有無	×
下水道直上被害数	
下水道直上被害の 最大鉛直変位(cm)	



資図 2.5-42 10-7号線

資表 2.5-52 整理表 (10-7号線)

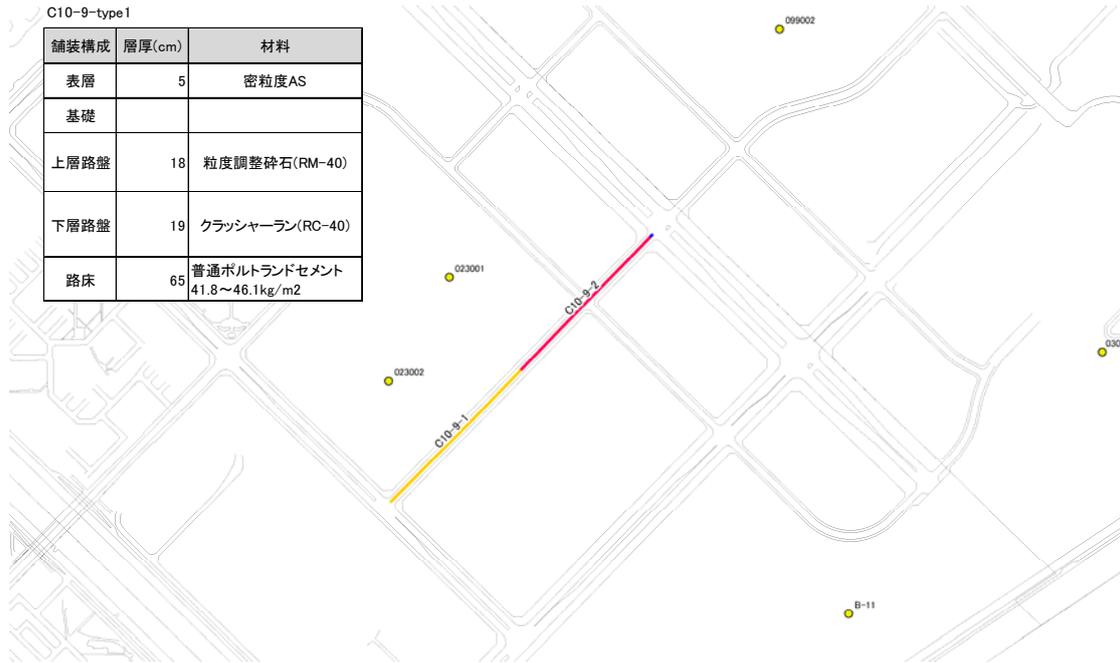
区間名	C10-7-1	C10-7-2	C10-7-3
延長区間	0-200	200-400	400-585
延長(m)	200	200	185
舗装タイプ	C10-7-type1	C10-7-type1	C10-7-type1
舗装厚(m)	1.07	1.07	1.07
路床改良有無	○	○	○
液状化被害有無	○	×	×
被害数	8		
被害程度	段差、ひび割れ	—	—
噴砂発生有無			
被害ランク	小	—	—
最大水平変位(cm)			
最大鉛直変位(cm)			
液状化層厚(m) (FL値)	2.60	0.90	1.70
非液状化層厚(m) (FL値)	2.00	3.70	5.00
地下水位(m)	0.8	1.5	1.7
PL値	13.20	14.40	9.40
液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	2.60	0.90	1.70
非液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	2	3.7	5
液状化層/非液状化層厚 (舗装構成、地下水位を考慮)	1.3	0.2	0.3
埋立地	○	○	○
埋立造成年(西暦)	1980	1980	1980
下水道直上被害有無	×	×	×
下水道直上被害数			
下水道直上被害の 最大鉛直変位(cm)			



資図 2.5-43 10-8 号線

資表 2.5-53 整理表 (10-8 号線)

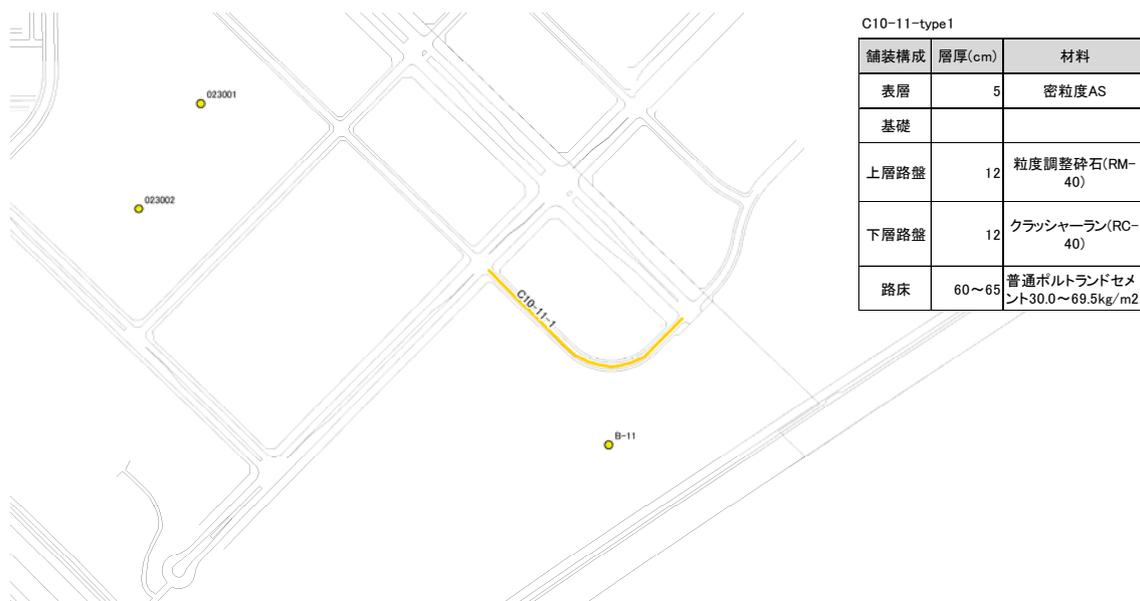
区間名	C10-8-1
延長区間	0-95
延長(m)	95
舗装タイプ	C10-8-type1
舗装厚(m)	0.35
路床改良有無	×
液状化被害有無	○
被害数	5
被害程度	変状、ひび割れ
噴砂発生有無	
被害ランク	小
最大水平変位(cm)	
最大鉛直変位(cm)	
液状化層厚(m) (FL値)	1.90
非液状化層厚(m) (FL値)	2.80
地下水位(m)	1.2
PL値	17.50
液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	1.90
非液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	2.8
液状化層/非液状化層厚 (舗装構成、地下水位を考慮)	0.7
埋立地	○
埋立造成年(西暦)	1980
下水道直上被害有無	×
下水道直上被害数	
下水道直上被害の 最大鉛直変位(cm)	



資図 2.5-44 10-9 号線

資表 2.5-54 整理表 (10-9 号線)

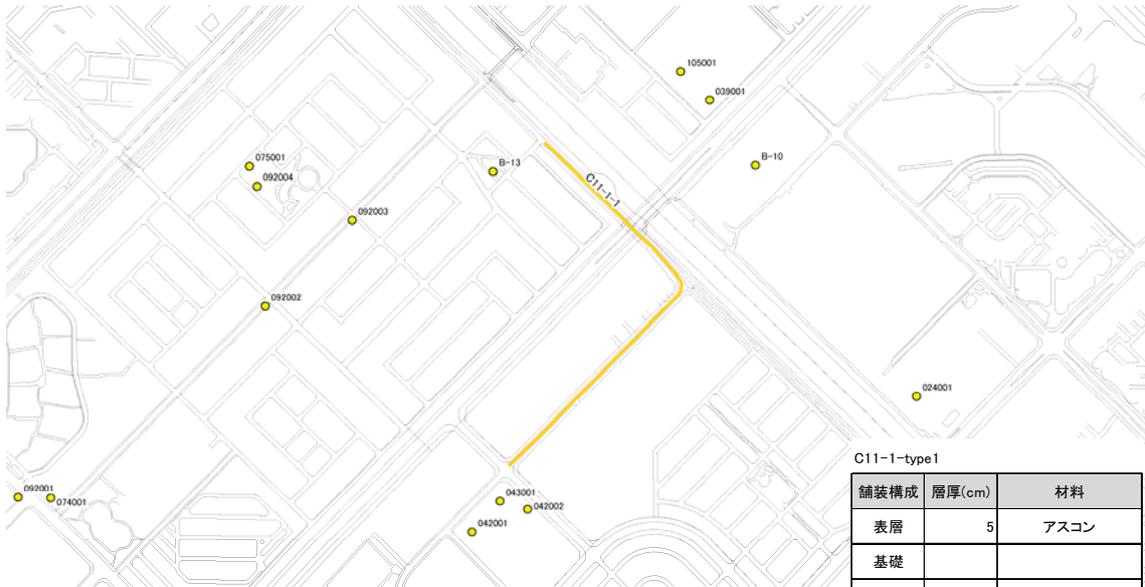
区間名	C10-9-1	C10-9-2
延長区間	0-200	200-402
延長(m)	200	202
舗装タイプ	C10-9-type1	C10-9-type1
舗装厚(m)	1.07	1.07
路床改良有無	○	○
液状化被害有無	○	○
被害数	2	2
被害程度	ひび割れ	ひび割れ
噴砂発生有無		
被害ランク	小	小
最大水平変位(cm)		
最大鉛直変位(cm)		
液状化層厚(m) (FL値)	0.00	1.10
非液状化層厚(m) (FL値)	3.70	4.40
地下水位(m)	1.7	1.6
PL値	4.30	12.40
液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	0.00	1.10
非液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	3.7	4.4
液状化層/非液状化層厚 (舗装構成、地下水位を考慮)	0.0	0.3
埋立地	○	○
埋立造成年(西暦)	1980	1980
下水道直上被害有無	×	×
下水道直上被害数		
下水道直上被害の 最大鉛直変位(cm)		



資図 2.5-45 10-11 号線

資表 2.5-55 整理表 (10-11 号線)

区間名	C10-11-1
延長区間	0-262
延長(m)	262
舗装タイプ	C10-11-type1
舗装厚(m)	0.89
路床改良有無	×
液状化被害有無	○
被害数	3
被害程度	沈下
噴砂発生有無	
被害ランク	小
最大水平変位(cm)	
最大鉛直変位(cm)	
液状化層厚(m) (FL値)	3.00
非液状化層厚(m) (FL値)	5.30
地下水位(m)	2
PL値	4.00
液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	3.00
非液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	5.3
液状化層/非液状化層厚 (舗装構成、地下水位を考慮)	0.6
埋立地	○
埋立造成年(西暦)	1980
下水道直上被害有無	×
下水道直上被害数	
下水道直上被害の 最大鉛直変位(cm)	



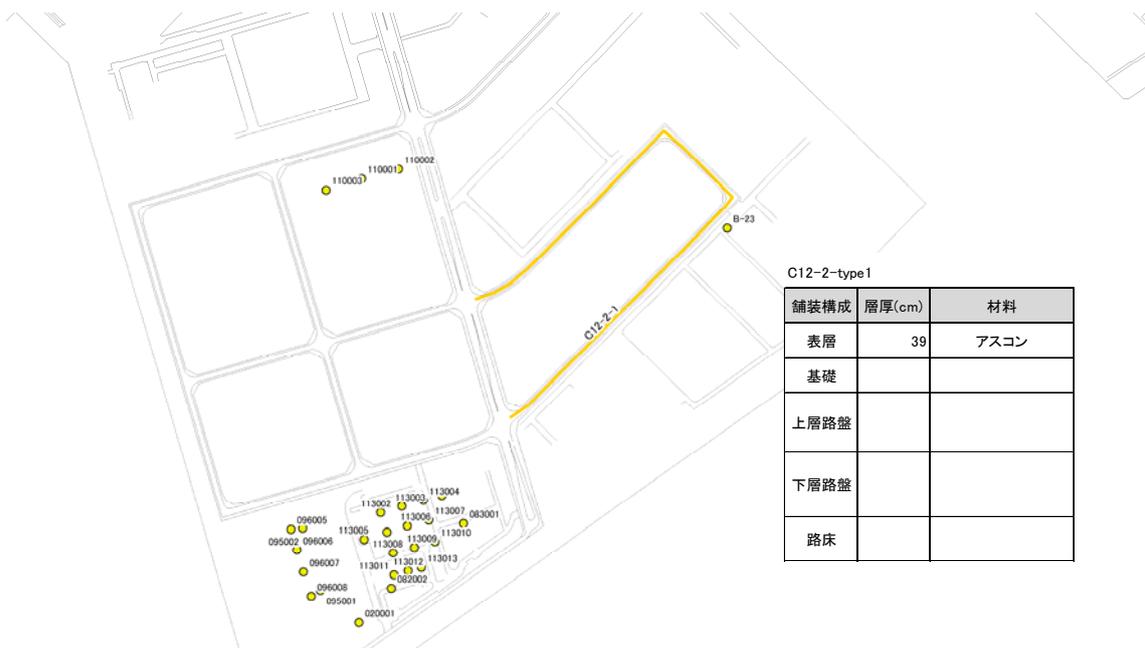
資図 2.5-46 11-1 号線

C11-1-type1

舗装構成	層厚(cm)	材料
表層	5	アスコン
基礎		
上層路盤	34	碎石
下層路盤		
路床		

資表 2.5-56 整理表 (11-1 号線)

区間名	C11-1-1
延長区間	0-634
延長(m)	634
舗装タイプ	C11-1-type1
舗装厚(m)	0.39
路床改良有無	×
液状化被害有無	○
被害数	
被害程度	噴砂(被災後通行止め)
噴砂発生有無	
被害ランク	大
最大水平変位(cm)	
最大鉛直変位(cm)	
液状化層厚(m) (FL値)	4.40
非液状化層厚(m) (FL値)	0.20
地下水位(m)	1.8
PL値	12.70
液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	2.80
非液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	1.8
液状化層/非液状化層厚 (舗装構成、地下水位を考慮)	1.6
埋立地	○
埋立造成年(西暦)	1977
下水道直上被害有無	×
下水道直上被害数	
下水道直上被害の 最大鉛直変位(cm)	



資図 2.5-47 12-2号線

資表 2.5-57 整理表 (12-2号線)

区間名	C12-2-1
延長区間	0-931
延長(m)	931
舗装タイプ	C12-2-type1
舗装厚(m)	0.39
路床改良有無	×
液状化被害有無	○
被害数	
被害程度	噴砂(被災後通行止め)
噴砂発生有無	
被害ランク	大
最大水平変位(cm)	
最大鉛直変位(cm)	
液状化層厚(m) (FL値)	6.70
非液状化層厚(m) (FL値)	2.30
地下水位(m)	1.5
PL値	16.00
液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	6.70
非液状化層厚(m) (舗装構成、地下水位を考慮)	2.3
液状化層/非液状化層厚 (舗装構成、地下水位を考慮)	2.9
埋立地	○
埋立造成年(西暦)	1980
下水道直上被害有無	×
下水道直上被害数	
下水道直上被害の 最大鉛直変位(cm)	